MN50025-02
Mar.2016

ダイレクト アドレス プリンター
DA1500

ユーザーズマニュアル

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも使用できるように
大切に保管してください。

TNK株式会社

まえがき

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用くださいますようお願い致します。
また、常にこの説明書を手元におかれて作業される事をお勧め致します。

内容について、不断の研究の結果、この取扱説明書の内容がお買い上げ頂いた製品と詳細において異なる場合が有ります。

お買い上げの製品または、この取扱説明書の内容につきましてのご質問等がお有りの場合は、各営業所までご遠慮なくお問い合わせ下さい。

安全に関する注意

安全にご使用して頂くためには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。
この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまでは、作業を行わないで下さい。

この取扱説明書に示されている操作方法及び安全に関する注意事項は、指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に書かれていない使用方法で操作する場合、安全に対する配慮は、すべて作業者の責任においてお考え下さい。

当社の書面から許可なく製品を改造する事を禁止します。

無断改造に起因する人身事故、物的損害について、当社は、一切責任を負いません。

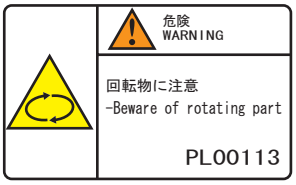
安全ラベルの確認が出来なくなった場合について

機械の整備、清掃を行う場合は、安全ラベルの貼られている部分は、溶剤で拭かないで下さい。
また、安全ﾗﾍﾞﾙの貼り替えが必要となった場合は当社までご請求の上、所定の場所に貼って下さい。

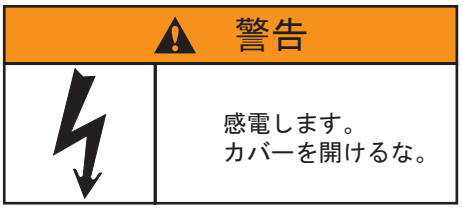
安全ラベルの種類

機械の整備、清掃を行なう場合は、安全ﾗﾍﾞﾙの貼られている部分は、溶剤で拭かないで下さい。
また、安全ﾗﾍﾞﾙの貼る替えが必要となった場合は弊社までご請求の上所定の場所に貼って下さい。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または、重症などを追う危険性が切迫して生じることが想定されること」を示します。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または、傷害などを追う危険性が切迫して生じることが想定されること」を示します。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生が推定される。」を示します。



危険
回転物に注意
注文番号　PL00113



警告

感電します。
ｶﾊﾞｰを開けるな。
注文番号　PL00113

注意

感電注意
注文番号　PL00113

注意

手、顔、髪、衣類を近付けるな。
巻き込まれます。
注文番号　T009682

注意

カッターが有ります。
カッターに触れると指を切ります。
注文番号　T009682

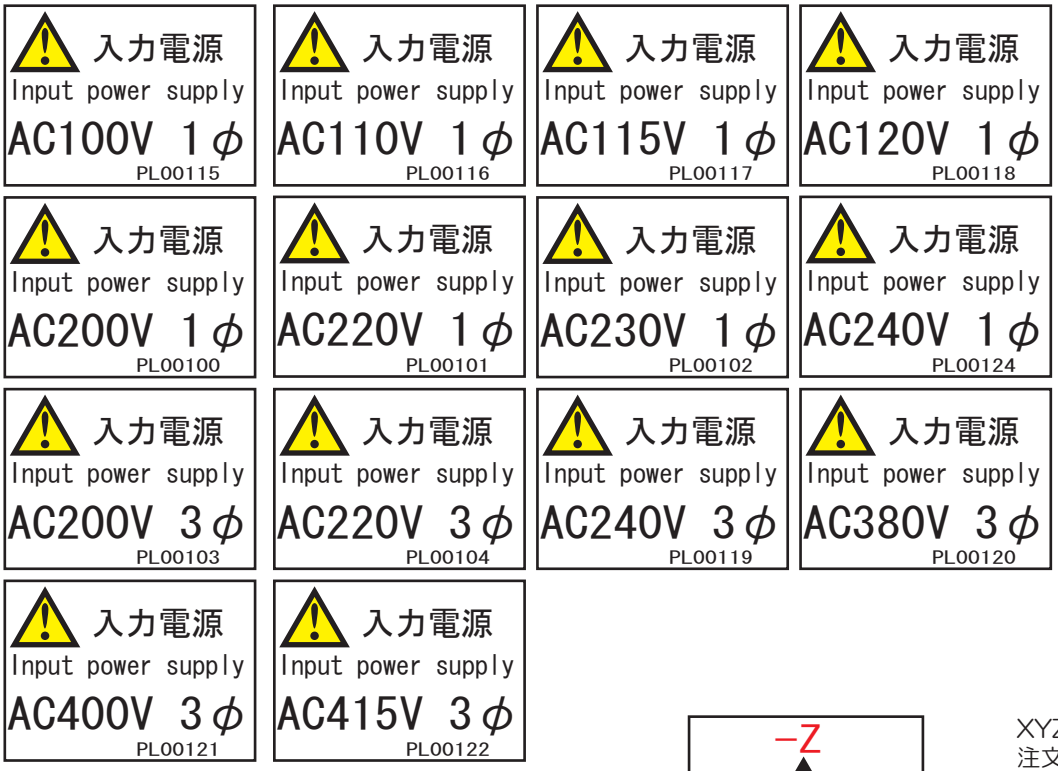
注意

高温触るな。
火傷します。
注文番号　T009687

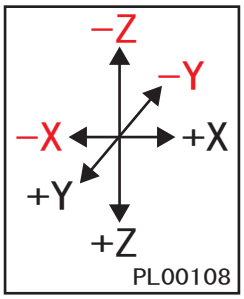
注意

回転します。
手､顔を近づけるな。
注文番号　T009680

安全ラベルの種類



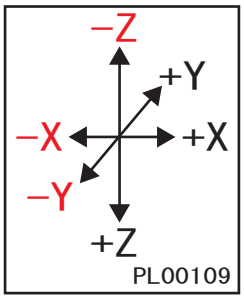
注文番号
PL00115 (AC100V 1φ)
PL00116 (AC110V 1φ)
PL00117 (AC115V 1φ)
PL00118 (AC120V 1φ)
PL00100 (AC200V 1φ)
PL00101 (AC220V 1φ)
PL00102 (AC230V 1φ)
PL00124 (AC240V 1φ)
PL00103 (AC200V 3φ)
PL00104 (AC220V 3φ)
PL00119 (AC240V 3φ)
PL00120 (AC380V 3φ)
PL00121 (AC400V 3φ)
PL00122 (AC415V 3φ)



XYZ方向
注文番号　PL00108

注意

手を挟まれる恐れあり
運転中は稼動部に手を出すな
注文番号
PL00105 (たて型)
PL00112 (よこ型)



XYZ方向
注文番号　PL00109

注意

エアー圧設定
注文番号　PL00110

注意

分解禁止
注文番号　PL00107

注意

電源コードのアース線を必ず接地せよ
注文番号　PL00111

商標

Microsoft、Windows、Windows　Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows の表記

Microsoft Windows XP operating system 日本語版
Microsoft Windows Vista operating system 日本語版
Microsoft Windows 7 operating system 日本語版
Microsoft Windows 8 operating system 日本語版
Microsoft Windows 10 operating system 日本語版
本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ
「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows 8」「Windows 10」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

知的財産権

This product incorporates intellectual property owned by Microsoft Corporation and cannot be made, used, sold, offered for sale, imported, or distributed without a license from Microsoft Corporation.　Making, using selling, offering for sale, importing or distributing such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft Corporation.
We don't grant any such license rights. To obtain license rights from Microsoft, Customer must contact Microsoft at the following web address: IPLG@microsoft.com, and reference 'WCN License.'
参考訳（本訳文は参考目的に作成したものであり、詳細は上記原文をご確認ください。
上記原文と本訳文との間に矛盾がある場合、上記原文の内容が優先します。）
本製品にはマイクロソフトコーポレーションが所有する知的財産権が組み込まれており、マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品を製作、販売、輸入または頒布等を行うことはできません。
マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品以外に当該技術を利用、輸入または頒布等を行うことは禁止されています。当社はこれらの権利に関して一切利用許諾は行いません。マイクロソフトコーポレーションより当該利用許諾を受けるには、お客様はマイクロソフトコーポレーションの WEB サイト（IPLG@microsoft.com）にアクセスし、〝WCN License〟を参照してください。

ご注意

・本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
・本書の内容は機械の改善などで予告なしに変更することがあります。
・本書の内容には万全を期していますが、ご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら各販売店までご連絡下さい。
・運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
・本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
・お買い上げの製品または、この取扱説明書の内容についてのご質問などがありましたら、各販売店まで遠慮なくお問合わせください。
・本書の内容の操作方法および安全に関する注意事項は、指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
・無断改造に起因する人身事故、物的損害について、当社は、一切責任を負いません。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止する為、必ずお守りいただくことを記載しています。

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

◆表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または、重症などを追う危険性が切迫して生じることが想定されること」を示します。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生が推定される。」を示します。

◆お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置上のご注意

⚠ 警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
プリンタ背面を壁や物などに近くになる様に設置しないでください。
壁やその他の近くへ設置する場合は、最低15ｃｍ以上は離し設置スペースを確保してください。

アルコールやシンナーなど、引火性溶剤の近くには置かないでください。
火災の原因になります。

⚠ 注意

本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で2人以上で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げるとケガをする恐れがあります。

本製品を移動する際は、左右の下部を両手で持ち、水平な状態で移動してください。
傾けたり倒したりすると、転倒して、けがをするおそれがあります。

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
火災や感電の原因になることがあります。
次の使用環境でお使いください。
動作温度 / 湿度：5℃～35℃　30～80%
保存温度 / 湿度：0℃～50℃　30～80%

本機は、外部からのノイズ等により正常に印字出来ない場合があります。
本機のそばには、ノイズを発生するような機械や電気機器を隣接しないでください。

電源に関するご注意

⚠ 警告

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電･火災のおそれがあります。
・電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
・電源コンセントのアース端子
・銅片などを65cm以上地中に埋めたもの
接地工事（D種）を行っている接地端子アース線の取り付け/取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。
アースが取れないときは、販売店にご相談ください

AC100V以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、販売店にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
・ 電源コードを加工しない
・ 電源コードに重いものを載せない
・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
・ 熱器具の近くに配線しない

次のような場所にアース線を接続しないでください。
・ ガス管（引火や爆発の危険があります）
・ 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
・ 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

付属の電源コード以外は使用しないでください。
また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります

⚠ 注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

プリントカートリッジに関するご注意

⚠ 注意

インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは
以下の処置をしてください。

・皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。
・目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。
・そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。
・異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。
・口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

プリントカートリッジは子供の手が届かない所へ保管して下さい。

プリントカートリッジを振ったり逆さにしたりしないでください。
内部に空気が入り、インク漏れや印字のかすれが発生するおそれがあります。
強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。

プリントカートリッジを分解しないで下さい。
分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着する恐れがあります。

取り扱い上のご注意

・プリントカートリッジは冷暗所で保管し、本体に印刷されている期限までに使用する事をお勧めします。
また、開封後は６ヵ月以内に使い切ってください。
・プリントカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。
・プリントカートリッジの金属部分には触らないでください。正常に印刷できなくなる恐れがあります。
接触不良やノズル部分をインク異物などでふさいで、インクが出なくなる場合があります。
また、印字後はノズル部分が熱くなっている場合、火傷の原因になることがあります。
・プリントカートリッジは生産工場、ロットの違いにより本体寸法に固体差が生じます。
脱着回数が多いプリントカートリッジも本体が擦り減り誤差が生じます。
交換後は必ず印字ズレの確認をし位置修正後してから印字をして下さい。
・本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように
設定されており、使用済みプリントカートリッジ内に多少のインクが残ります。
・プリントカートリッジ内のインク量は、使用状況により減る量が異なりますので、定期的にプリント
カートリッジの重量を測定してご使用ください。インクが少なくなると、インクが少量残っている場合
でも、印字途中で印字がかすれたりしますので、インクが少なくなりましたら早めの交換をお勧めします。

⚠ 警告

リサイクルインクの使用禁止、正規品のプリントカートリッジをご使用下さい。
リサイクルインクを使用した不具合報告が多数発生しております。
エンドユーザー様の責任ですので保証期間内でも、修理対応しません。

プリントカートリッジに関するご注意

取り扱い上のご注意

プリントカートリッジの清掃

・ヘッド部の清掃時は、絶対に振ったり逆さにしたりしないでください。
使用するウエス（汚れなどを拭き取ってきれいにする為の布）はメーカー指定の TexWipe、または同等品を使用して下さい。
（参考：同等品として日本製紙クレシア製 キッチンタオルボックスが市販されております。）
ウェットティッシュは、香料や溶剤が含まれています、インクとの相性が悪い場合があります。
また、細かな繊維が出ている物が多く、ノズルに入り込み、インクを噴き出さない場合がありますので使用しないでください。
・ヘッド部の清掃時は、ノズル面に対してあまり力を入れてこすらないようにしてください。
ノズル面を強くこすったりすると、付着していたインクがノズルを塞ぎ、インクが出なくなる場合がありますので、ヘッドを下向きにして軽く押す程度で、なぞるように清掃してください。

プリントカートリッジの保管

・使用後に機械から取り外し、横向きで保管してください。
プリントカートリッジ使用後、取り外さずにそのまま放置するとインクが漏れる場合がありますので、使用後はプリントカートリッジを取り外して保管することをお勧めします。
・使用途中のプリントカートリッジの保管
水を入れたコップや湿らせた布などと共に、タッパーウェア社のプラスティック容器に入れ物に入れ保管してください。 ノズル部分の乾燥を防ぐためにも、容器内を高湿度状態に保ってください。
また、高温になる場所での保管も避けて下さい。

使用済みプリントカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

・回収

使用済みのプリントカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
最寄の電気量販店等に HP 社の回収 BOX があればご利用下さい。

・廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費について

・プリントカートリッジのノズルを良好な状態に保つ為、印刷時以外にもクリーニング時の
　メンテナンス動作で少量ですがインクを消費されます。

・クリーニングサイクル
印字中のノズル部分の乾燥を防ぐ為に、設定したクリーニングサイクル毎に、プレスピットで設定されたインク量（回数）を噴射します。

・インクスピットセッテイ
ホームスピット：
印字する前に全ノズルからインクを空打ちしノズルの詰まりを解消する動作をしています。
インク量（回数）を設定します。
プレスピット：
クリーニングサイクル毎にスピットするインクの量（回数）を設定します。

電波障害規制について

この装置は、オフィスなどの環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビ受信機および磁気や高電源に近接して使用されると、受信障害を起こし正常に電波の受信が出来ない場合もあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

静電気について

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

はじめに

この度は、DA1500 型 ダイレクトアドレスプリンタをお買い求め頂まして
ありがとうございます。
この製品は郵送業務におけるラベル印刷、ラベル貼り付けの作業を省略し、
パーソナル コンピュータで管理されている 顧客のアドレス・データを直接はがきや
封筒に印字し、メール作業の大幅な合理化を目的に開発された製品です。

この製品はハード的には何処のメーカーのパーソナル コンピュータとも接続可能です。
ソフト的にも原則何処のソフトハウスのアプリケーションプログラムとも弊社が供給
するコンバージョンプログラム（有償）を介して接続する事ができます。

この製品の最大の特徴はインクジェット方式による静粛性と高速性に有ります。
従来のドットインパクト型のプリンターは印字動作に電磁石を用いた機械的運動を
伴うため、どうしても多少の騒音の発生は避ける事が出来ませんでした。

インクジェット方式はインクを急激に加熱し、その時発生する気泡の圧力でインク滴
を飛ばし印字する方式で、機械的運動を伴わな為、印字音の騒音の発生は皆無で、
しかも高速で印字出来るとゆう優れた印字方式です。この為、職場の環境を騒音で
妨げる事なく、短時間に作業処理をする事が出来ます。

また、オフラインでもご利用いただけます様に各種機器がオプションで用意されて
います。 ご使用する前に、この説明をお読み頂、正しくお使い下さいますよう
お願い申し上げます。

マニュアルの構成

目次

1章　構成と仕様
1-1 基本構成
1-2 各部の名称と機能
1-3 仕様
1-4 外形寸法

2章　設置と配線
2-1 設置環境
2-2 設置
2-3 配線 立ち上げ手順
2-4 各装置の調整方法
2-4-1 ゲートの調整方法
2-4-2 給紙装置の調整方法
2-4-3 用紙ガイドの調整方法
2-4-4 排出ピンチローラの調整方法
2-4-5 プリントカートリッジの位置補正の調整方法

3章　操作パネルの使い方
3-1 操作パネルの操作説明
3-2 基本メニュー
3-3 拡張メニュー

4章　パソコンからの印刷
4-1 ドライバーのインストール方法
4-2 使用できる印刷用紙
4-3 印刷用紙のセット
4-4 印刷してみよう！

5章　お手入れ
5-1 プリントカートリッジの交換
5-2 ノズルチエックとヘッドクリーニング
5-3 給油について
5-4 給紙ローラ交換方法

6章　困ったときは
6-1 用紙つまり
6-2 メッセージが表示されたら
6-2-1 エラーメッセージ一覧
6-2-2 トラブルと対応
6-3 こんなときはどうすの！

1章 構成と仕様 1
2章 設置と配線 2
3章 操作パネルの使い方 3
4章 パソコンからの印刷 4
5章 お手入れ 5
6章 困ったときは 6

MN50025
Ver 1.01
Mar.2016

1

構成と仕様

基本構成と仕様ついて説明します。

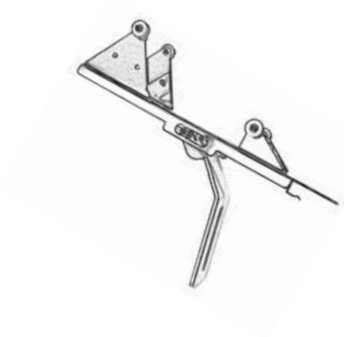
1-1 基本構成
1-2 各部の名称と機能
1-3 仕様
1-4 外形寸法

TNK株式会社
TNK CO.,LTD.

http://tnk-ltd.com

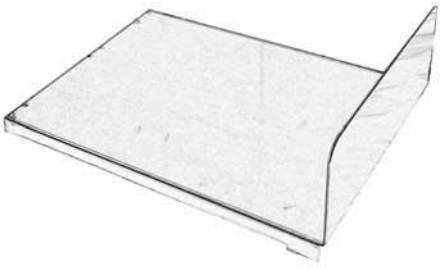
付属品を確認しょう

給紙装置



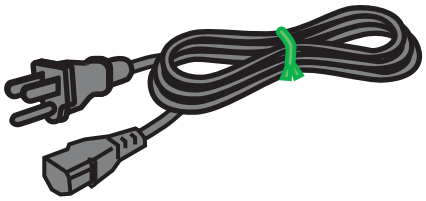
プリンター本体

排紙受け



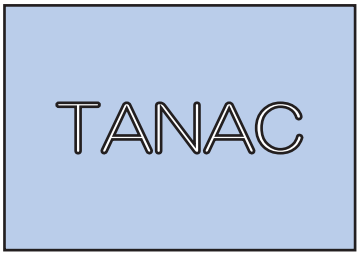
保証書

電源ケーブル

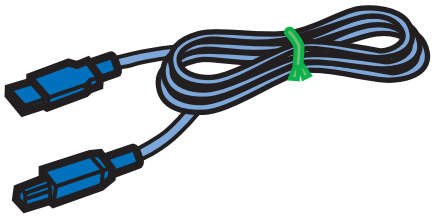


マニュアル一式

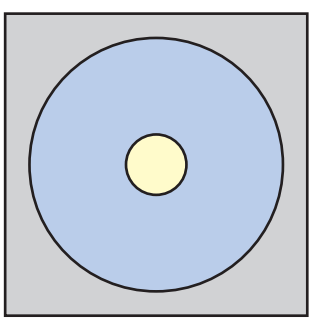
ビニールカバー



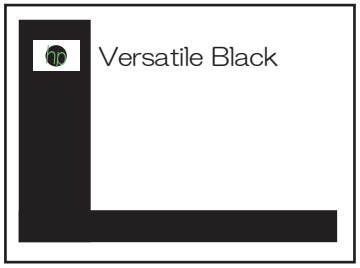
USBケーブル



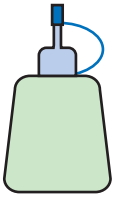
インストール用
ドライバー CD



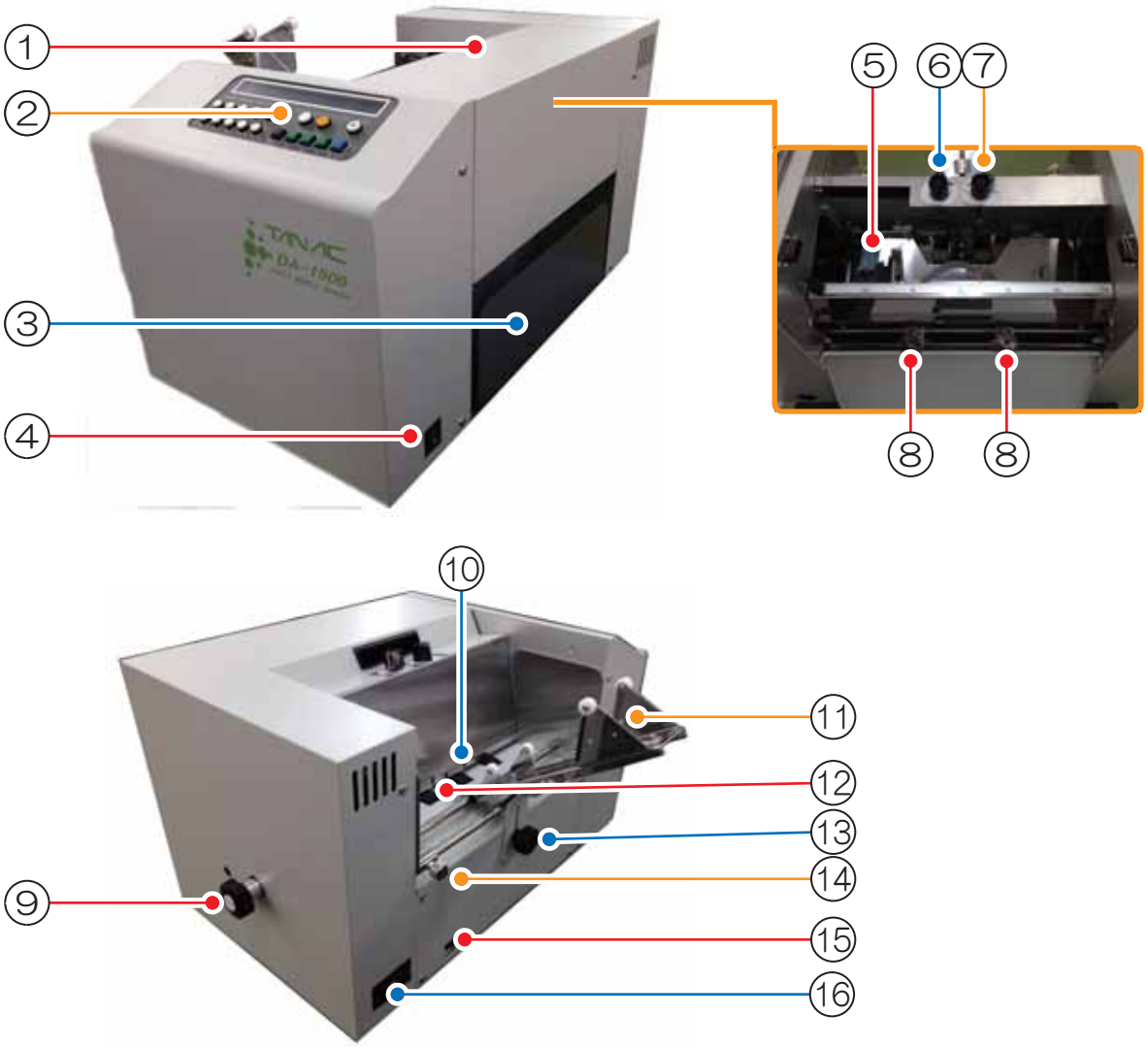
テスト用プリントカートリッジ



ミシン油



ダイレクトアドレスプリンタ　DA1500



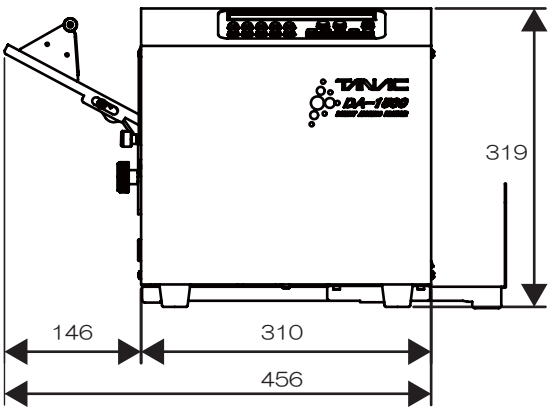
番号	名称	機能
①	カバー	内部で作業をする際に使用します。通常は閉めて下さい。
②	操作パネル	プリンターの設定及び情報表示する装置です。
③	排紙受け	印字された用紙の排紙受けです。
④	電源スイッチ	プリンターの主電源です。
⑤	プリントカートリッジ	印字用インクを交換します。
⑥	ゲート間隔調整ツマミ	供給ローラとゲート片のスキマを調整するツマミです。
⑦	ゲート間隔固定ツマミ	供給ローラとゲート片のスキマを固定するツマミです。
⑧	排出ピンチローラ	印字の際に用紙の印字範囲外を押さえるローラです。
⑨	ノブ	紙づまりの際に使用します。
⑩	ゲート片	給紙の際に用紙を１枚づつさばく為の装置です。
⑪	給紙装置	供給用紙の姿勢を補助する装置です。
⑫	給紙ローラ	給紙用紙を送る装置です。
⑬	給紙装置角度調整ノブ	供給用紙の角度を調整します。
⑭	給紙ガイド	供給用紙の側面を補助する装置です。
⑮	USB コネクタ	パソコンとの通信に使用します。
⑯	電源コンセント	プリンターに電源を供給します。入力はAC100Vです

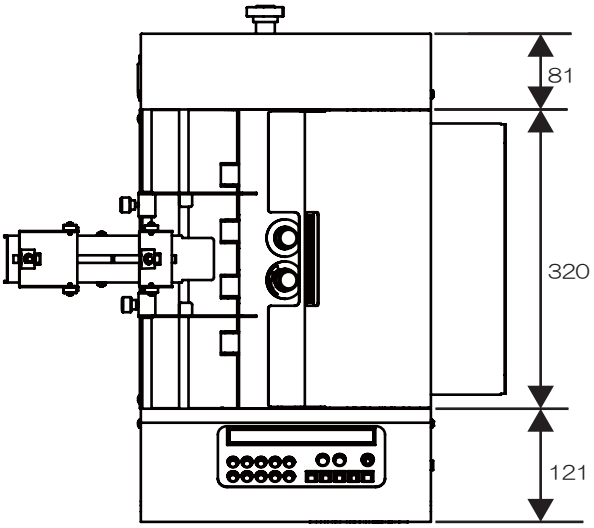
ダイレクトアドレスプリンタ DA1500

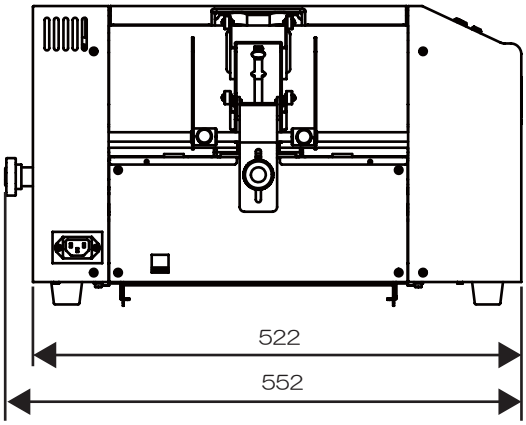
型式名称	DA1500
印字方式	インクジェット方式　(HP社製 インク使用)
用紙積載方式	縦積み積載方式
印刷用紙厚さ(mm)	最大 1.0
印刷用紙寸法(mm)	最少幅 x 最小寸法：幅　90 x 長さ　80 最大幅 x 最長寸法：幅 310 x 長さ 420
印刷範囲	横方向 センター振り分け　290mm 範囲
	縦方向 0mm －　420mm
プリンターインターフェイス	USB 2.0 (Full speed)
印字速度(枚/時) 処理枚数条件 クリーニングサイクル 50枚毎 ホームスピット 200 プレススピット10	はがき横流し（12p×15文字×3行 TANACテスト印字TANAC文字…1パス）
	速度レベル1　2200枚
	速度レベル2　3050枚（標準速度）
	はがき横流し（12p×15文字×3行 TANACテスト印字TANAC文字…2パス）
	速度レベル1　1950枚
	速度レベル2　2500枚（標準速度）
	はがき横流し（12p×15文字×3行 TANACテスト印字TANAC文字…3パス）
	速度レベル1　1690枚
	速度レベル2　2140枚（標準速度）
	はがき横流し（12p×15文字×3行 TANACテスト印字TANAC文字…4パス）
	速度レベル1　1530枚
	速度レベル2　1880枚（標準速度）
	はがき横流し（12p×15文字×3行 TANACテスト印字TANAC文字…5パス）
	速度レベル1　1390枚
	速度レベル2　1680枚（標準速度）
	はがき横流し（12p×15文字×3行 TANACテスト印字TANAC文字…6パス）
	速度レベル1　1250枚
	速度レベル2　1500枚（標準速度）
印字方式	HP社製1/2インチ巾シリアルスキャン方式
印字位置決め	リニアスケール方式（1200DPI）
印字位置ズレ	±1.0mm
LAN接続	オプションにてプリントサーバ使用可能
ヘッド用モータ	DCブラシレスモータ
用紙送りモータ	ステッピングモータ
プリンタドライバ	専用プリンタドライバ（WindowsXP～Windows10 32/64 bit対応）
給紙方式	自動給紙方式
用紙送り方式	ローラ搬送方式
用紙受け方式	用紙排出方式
文字フォント	Windos内蔵フォントを使用
給紙装置 積載量	はがき　500枚
排紙受け 積載量	はがき　500枚
外観寸法(mm)	幅310(突起部456、排出部は含まず)x 奥行き522(突起部552)x 高さ319
質量(Kg)	19
消費電力(W)	動作時：100W / 待機時：33W
電源電圧	φ1 AC100V (50/60Hz)
設置条件	水平度　3°以下
環境条件	動作環境 温度：5－35 ℃ 温度：30－80% RH 結露なきこと 保存温度 温度：0－50 ℃ 温度：30－80% RH 結露なきこと

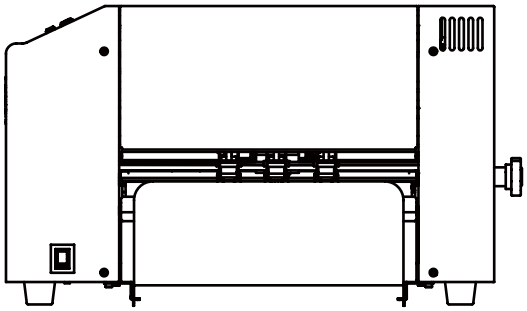
ダイレクトアドレスプリンタ　DA1500

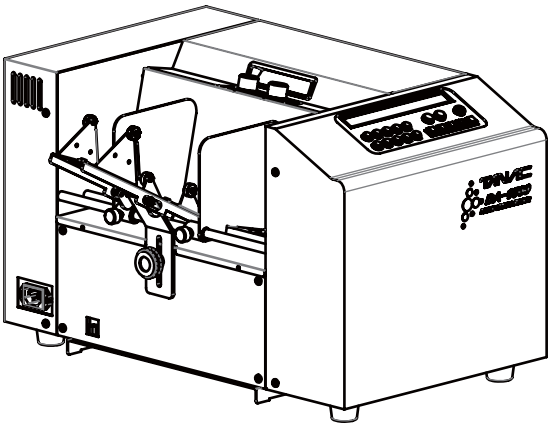
外形寸法図(mm)

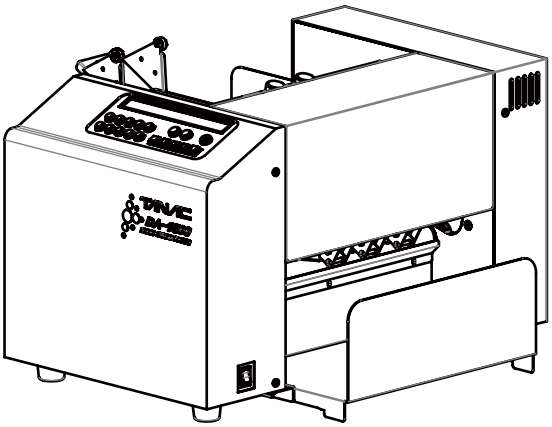












1
構成と仕様

MN50025
Ver 1.02
Mar.2016

2

セッティング

設置、配線の方法、各装置の調整方法 及び 注意事項ついて説明します。

2-1 設置環境
2-2 設置
2-3 配線
2-4 各装置の調整方法
 2-4-1 ゲートの調整方法
 2-4-2 給紙装置の調整方法
 2-4-3 用紙ガイドの調整方法
 2-4-4 排出ピンチローラの調整方法
 2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

TNK株式会社
TNK CO.,LTD.

http://tnk-ltd.com

設置環境

以下の条件を守って設置をして下さい。

・屋内に設置して下さい。

・周囲温度が 5℃ ～35℃の範囲の場所に設置して下さい。

・設置場所は機械重量も考慮し振動のない場所強固な床とし高温多湿、塵や埃、鉄粉等多い雰囲気は避けて下さい。

・腐食性ガスや可燃性ガスのある場所を避けて下さい。

・油煙、蒸気の多い場所を避けて下さい。

・水、油、薬品などのしぶきがかかる場所を避けて下さい。

・振動が激しい場所を避けて下さい。。

・結線や電源電圧を間違えないで下さい。また、電源コードのアース端子は必ず接地して下さい。感電防止になります。

・誤動作防止の為、ノイズ発生源から離しノイズの無い電源に接続して下さい。

2
セッティング

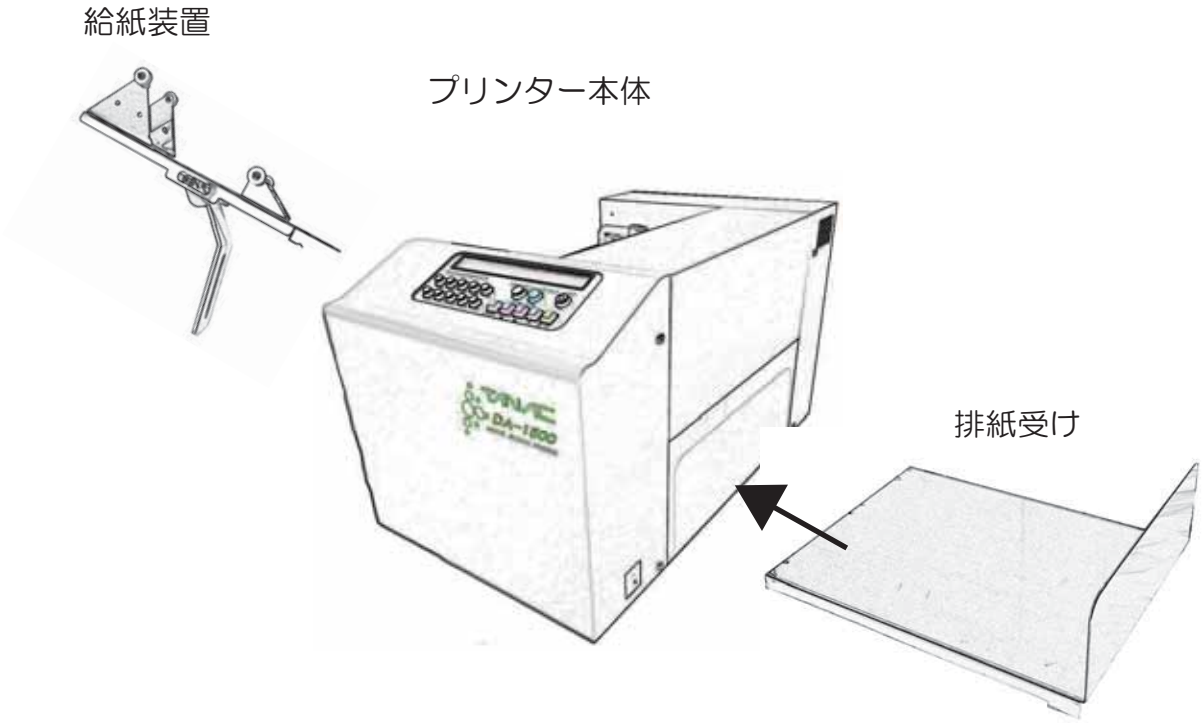
箱からの開梱について

1箱でプリンターが納品されます。
開梱する場合は、箱固定用のハリで手などをケガが無いよう注意して作業をして下さい
プリンターは、重いので1人での開梱作業は行なわず2人以上で作業をして下さい。

プリンター本体

開梱後の組み立てについて

付属の角度調整ノブでプリンター本体と給紙装置を(1箇所)固定して下さい。
排紙受けを挿入して下さい。

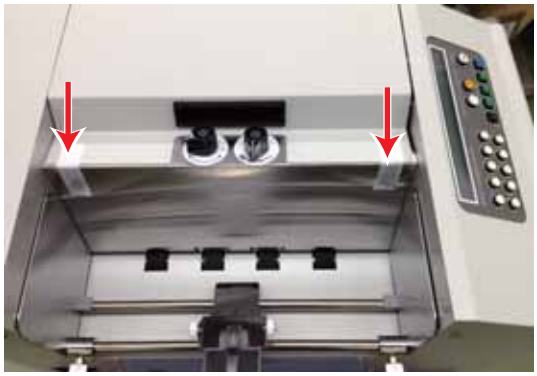


2
セッティング

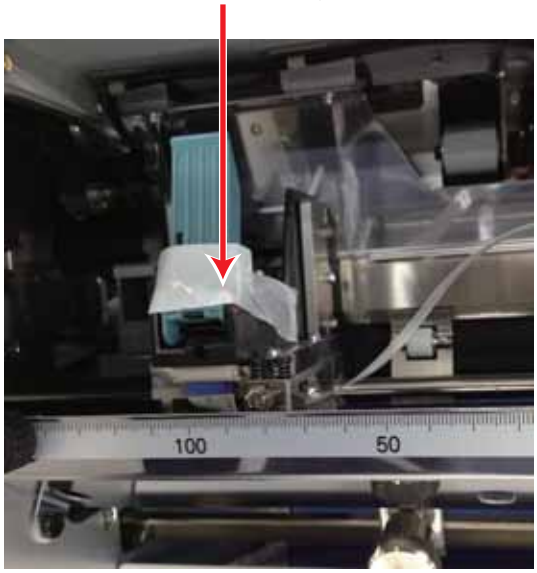
保護テープ・保護材の取り外し

保護テープや保護材をすべて取り外します。
プリントヘッドを固定している保護材は引っ越しや修理などの輸送時に必要となりますので、本製品内部に保管しておいてください。
保護材の形状や個数、貼付場所などは予告なく変更されることがあります。

プリンターの保護テープ

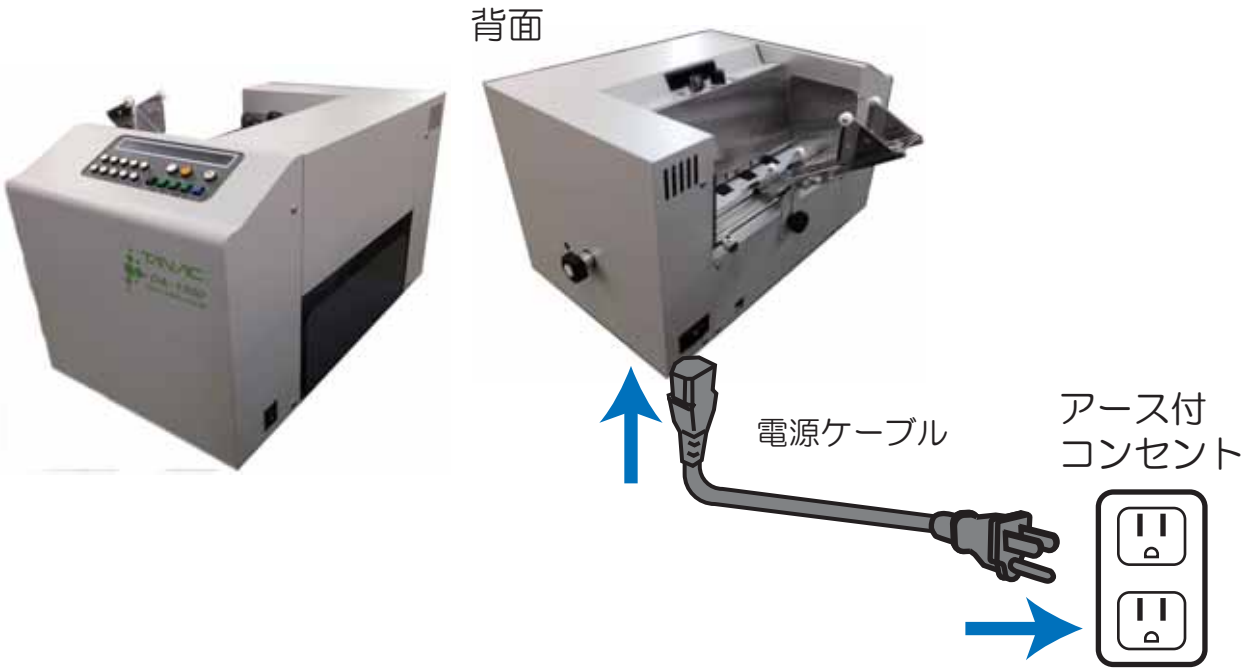


インクヘッドの保護テープ



2
セッティング

本製品の設置場所を決めて、電源を接続します。



⚠ **警告** 電源電圧はAC100V以外は使用しないで下さい。

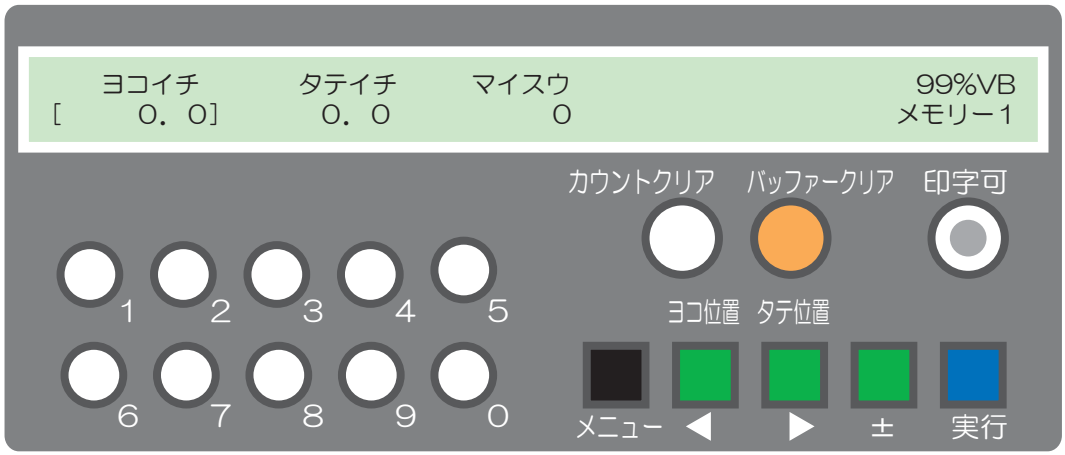
電源を投入します。

ON　　① 電源スイッチをONにします。

OFF

② 操作パネルが表示がされた事を確認してください。

起動後の画面表示



③ 特に問題がなければ上記の画面表示になります。

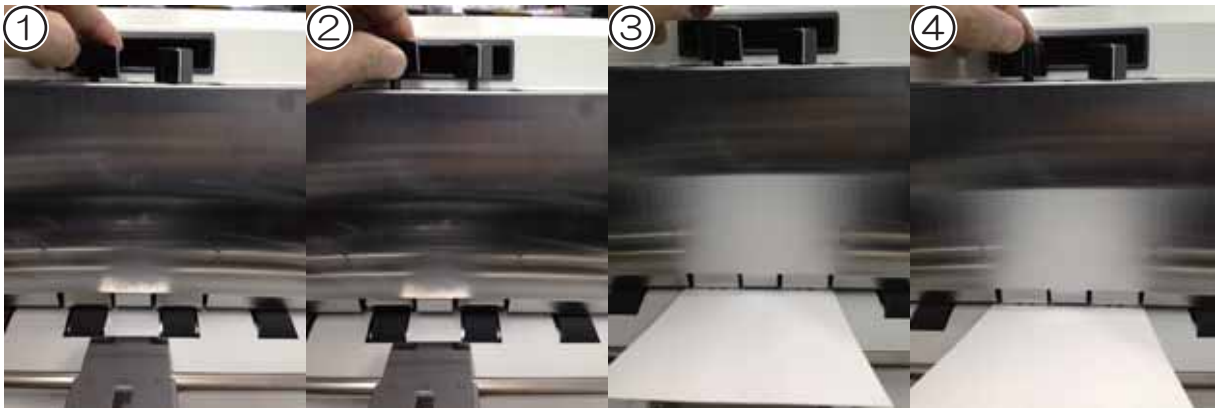
2 セッティング

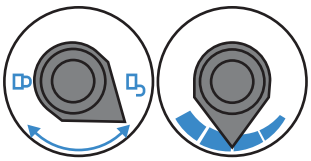
2-4-1 ゲートの調整方法

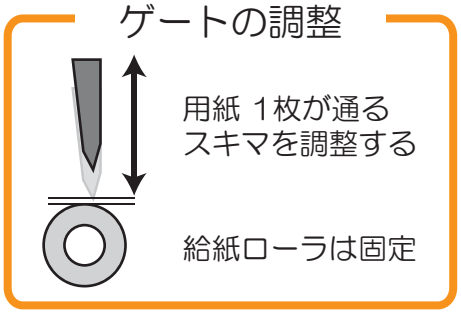
給紙装置の積載した用紙を1枚づつ給紙が出来るように給紙ローラとゲート片のスキマを調整します。

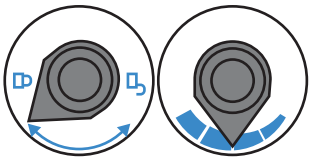
ゲートの調整手順

①：ゲート間隔固定ツマミを時計方向に回し、ロック解除します。
　ゲート間隔調整ツマミは、目盛の中央に設定します。
②：ゲート間隔固定ツマミを持ち上げて、ゲート片と給紙ローラに隙間を作ります。
③：隙間に印字する用紙を1枚挿入します。
④：ゲート間隔固定ツマミを反時計方向に回し、ロックします。
⑤：挿入した用紙を取り除きます。
⑥：隙間の微調整を行う場合は、ゲート間隔調整ツマミの目盛を調整します。
　時計方向に回すと隙間が広くなり、反時計方向に回すと隙間が狭くなります。
　微調整が必要な場合には1目盛づつ試して下さい。
　微調整で上手く行かない時は、再度 やり直して下さい。









ゲート間隔の調整は非常に重要です。
用紙で印刷した際に２枚送り、FEEDエラーが起こる場合はスキマの微調整が必要です。

不具合発生	スキマの幅	対策
紙の２枚送りが発生する場合	スキマが広い	ゲート間隔調整ツマミを1目盛 反時計方向に回し調整します。
FEEDエラーが発生する場合	スキマが狭い	ゲート間隔調整ツマミを1目盛 時計方向に回し調整します

微調整後も同様の現象が発生する場合、もう一度再調整して下さい。
給紙の不具合には、ゲートの調整方法以外にも用紙の積載方法、給紙装置のローラ位置、角度の調整、用紙のそり、用紙ガイドの調整など要因も考えられます。

2-4-2 給紙装置の調整方法

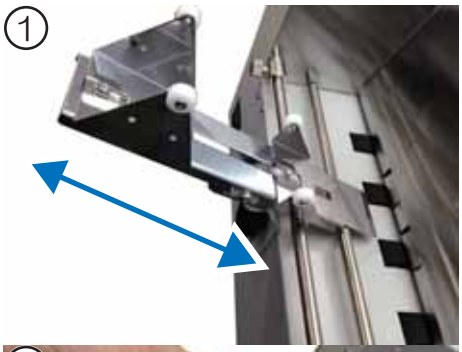
給紙装置の調整方法

①：給紙装置のローラー位置を用紙サイズに合わせ調整します。
ローラーは前後方向にスライドさせる事により位置を調整します。
調整目安 積載した用紙の最下用紙 1枚がローラよりすべり落ちる位置が基本です。

②：ローラには2種類の高さが違う物が付属しております。
取り外し用の穴位置と調整箇所が重なる場合は向きを変更して対処して下さい。

③：使用する用紙により給紙装置の角度が異なる場合があります。
使用する用紙毎に角度調整をして下さい。

①



2つのローラをスライドさせて調整して下さい。

②

ローラ取り外し用の穴が有ります。
向きの変更及び入替の時に使用します。

③ 角度 最大の時

角度調整用ノブを緩めて角度を調整し、調整終了後にはノブを閉めて固定して下さい。

③ 角度 最少の時

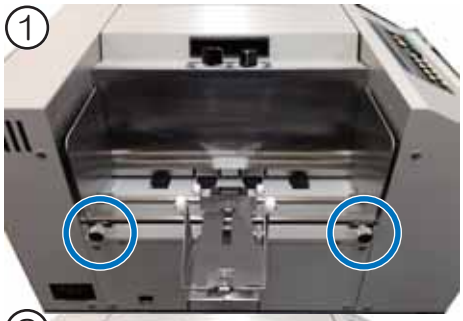
2 セッティング

2-4-3 用紙ガイドの調整方法

用紙ガイドの調整方法

用紙を安定供給する為に用紙ガイドを調整します。

①：用紙ガイドを左右いっぱいに開きます。
②：用紙の左右を揃えて給紙装置の中心にバランスよく置きます。
③：片方の用紙ガイドを用紙に触れる位置まで内側に移動しガイド固定ツマミでセットします。
④：もう片方の用紙ガイドを同じように移動し固定します。
この時、用紙とガイドの間に0.5～1mm程度のギャップがあるようにすると用紙がスムーズに流れます。ガイドで用紙を挟む状態にするとＦＥＥＤエラーの要因になります。



①

用紙ガイド 固定ノブを緩めます。

②

用紙を揃えてバランスよく積載して下さい。

③

片側の用紙ガイドを用紙基準に固定ノブで固定します。

④

もう片方の用紙ガイドを用紙基準に0.5-1mmの隙間を設け 固定ノブで固定します。

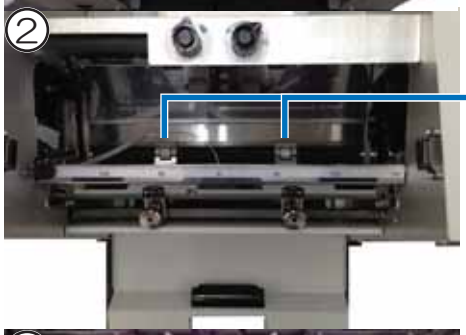
2 セッティング

2-4-4 排出ローラの調整方法

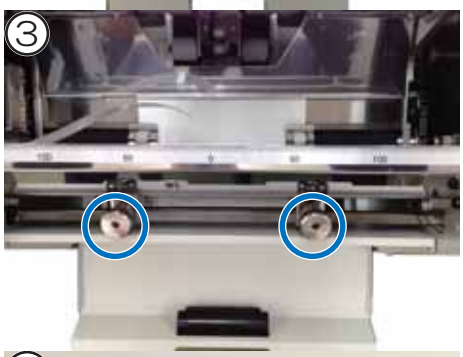
排出ローラの調整方法

①：印字部確認の為 カバーを開けます。
②：空けた内部です。
③：印字する用紙を1枚挿入し、手でノブを回し給紙ローラで送ります。
　　印字エリア外の両端を排出ピンチローラで押えます。
　　固定用ノブを緩め、スライドさせて調節して下さい。
④：排出側からも確認して下さい。
⑤：カバーを閉じて下さい。

マグネットで固定されていますので開け始めが少し硬めです。



カバーを開けた状態です。



ノブを回し緩め 印字エリア外で用紙を押られる所に調整します。 特に用紙の両端を押さえる必要はありません。
印字エリア外でローラが汚れない所に左右均等な位置に調整して下さい。 位置確認後 ノブを回し固定します。

排出針ローラの位置調整(オプション)
ノブを回し緩め 印字エリア内で 両端の排出ピンチローラの中間位置に調整して下さい。
位置確認後 ノブを回し固定します。

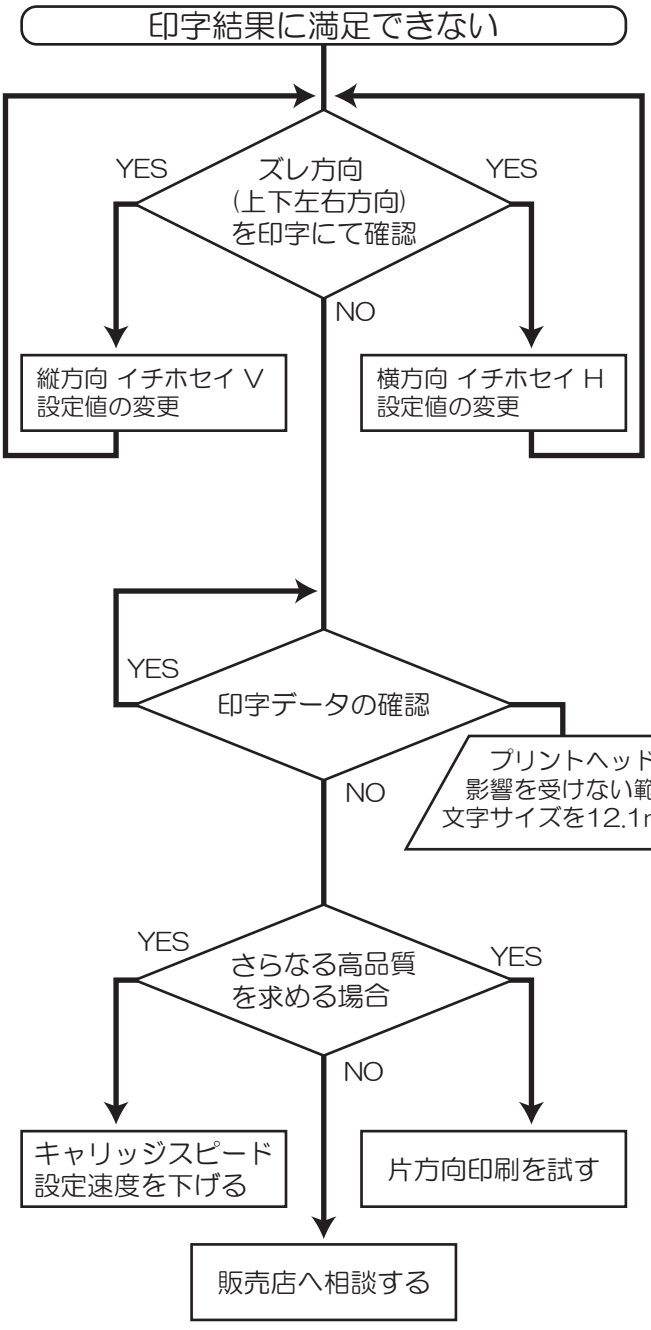
排出針ローラ(オプション)(中央部 印字エリア内用)
排出ピンチローラ　　(両端部 印字エリア外用)

インクジェット方式の為、印字直後のインクは乾いていません。
印字エリア内をローラで押さえると用紙とローラを汚します。
この為、中央部 印字エリアは汚れ防止用の排出針ローラ(オプション)を
両端部 印字エリア外は排出ピンチローラを使用します。
用紙の浮き防止の為に使用します。

2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

双方向印刷のとき 罫線がズレたり、印字結果が良くない場合は、プリントヘッド位置補正の設定値を変更し対応します。
プリントカートリッジの交換や、キャリッジスピードを変更した場合も(早くすると出やすい傾向があります。[3] デフォルト)ズレが生じます、印刷条件（プリントカートリッジの交換やプリンターの設定値の変更、印字データの変更）を変更した場合は必ず印字確認をして下さい。

プリンター側で修正する：プリントヘッド位置補正の値を変更し調整して下さい。
調整しても満足がいかない：パソコン側の印字するデータ位置を変更しプリントヘッドの改行で影響を受けない範囲内でかつ、文字サイズを12.1mm以下で印字するようにプリンターにやさしいデータを作成して下さい。
しかしながら、さらなる高品質を求める場合は、印字速度が遅くなりますがキャリッジスピードの設定を遅くする 又は、片方向印刷をお勧めいたします。
(片方向印刷は位置補正の設定値に影響されない印字方法です。)



ズレ方向の確認

プリントヘッド位置補正の値を調整して下さい。
横方向の時：拡張メニュー 21:イチホセイH
縦方向の時：拡張メニュー 22:イチホセイV

3章操作パネルの使い方を参照

印字データの確認

アプリケーションソフトの印字データ及び印字範囲との位置を変更しプリントヘッドの改行で影響を受けない範囲内にデータを設定
印字文字サイズをプリントカートリッジのノズル幅に合わせ12.1mm以下で印字するようにプリンターにやさしいデータを作成して下さい。

プリンターの特性を理解する

さらなる高品質を求める場合は、印字速度が遅くなりますが下記を試して下さい。

双方向印刷から片方向印刷へ変更を試す。
基本メニュー 6:プリントホウコウ：カタホウコウ

キャリッジスピードの設定変更
拡張メニュー 23:キャリッジスピード
キャリッジ イドウ ソクド [3] デフォルト
設定値を遅くします。1,2,3で試す。

新品のプリントカートリッジへ交換
HP社製のプリントカートリッジは生産工場及びロッドにより個体差があります。

販売店へ ご相談して下さい。

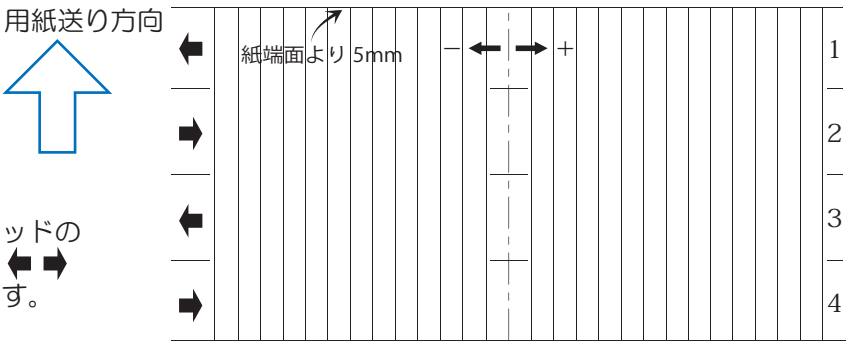
2 セッティング

2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

ズレ方向の確認

プリントヘッド位置補正の変更する為に、現在のズレの傾向を確認します。
5-2 ノズルチエックヘッドクリーニングを参考に調整用の縦線を印字します。

印字結果の目標



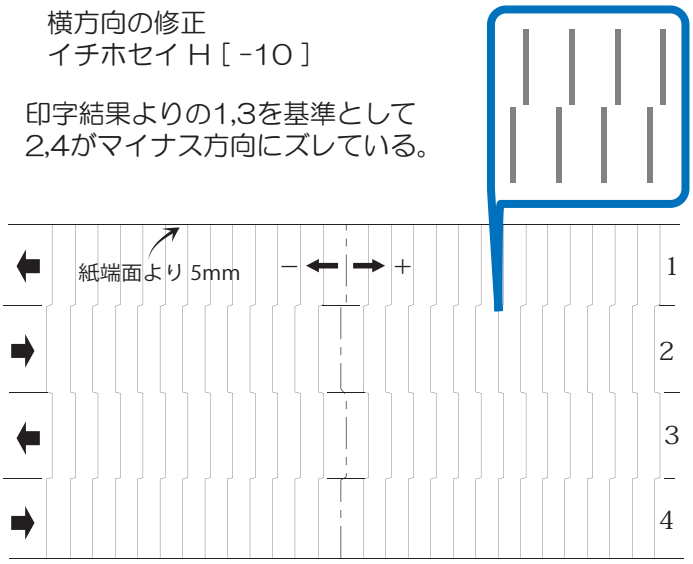
プリントヘッドの移動回数を
1,2,3,4は示しています。

印字結果の目標をイチホセイ H [0]、スイチョク イチ ホセイ V [0] として説明します。
下記の印字結果は、イチホセイの値と調整方向を説明する為の例です。

どんな傾向がみられますか？

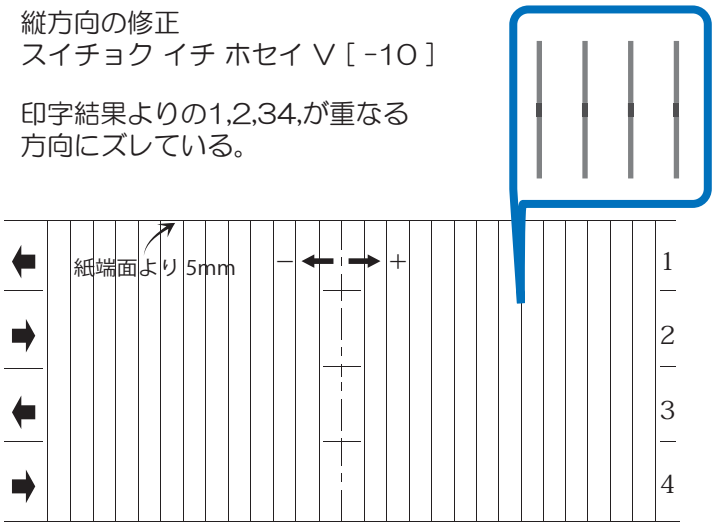
横方向の修正
イチホセイ H [-10]

印字結果よりの1,3を基準として
2,4がマイナス方向にズレている。



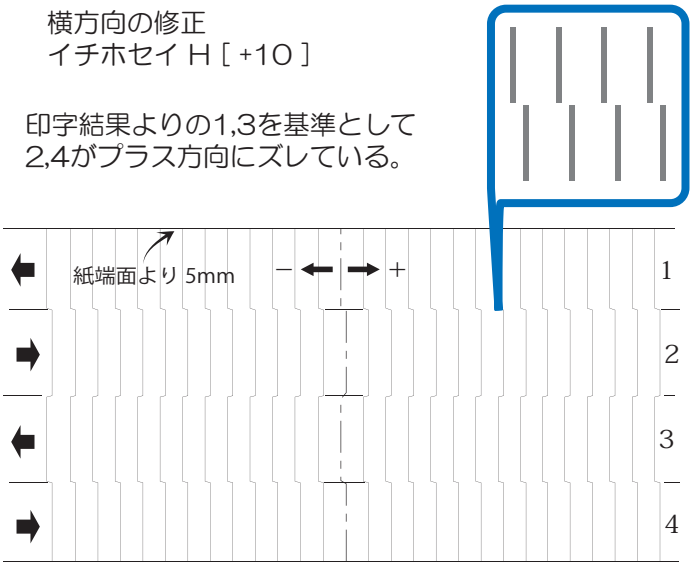
縦方向の修正
スイチョク イチ ホセイ V [-10]

印字結果よりの1,2,34,が重なる
方向にズレている。



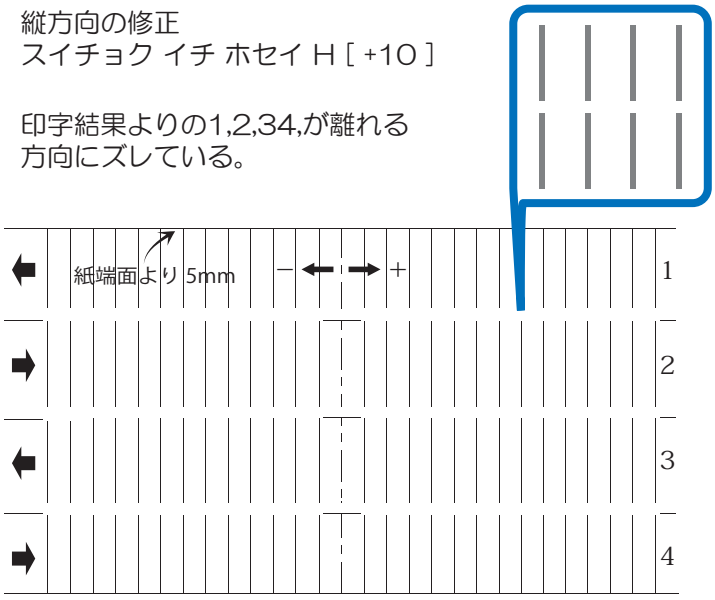
横方向の修正
イチホセイ H [+10]

印字結果よりの1,3を基準として
2,4がプラス方向にズレている。



縦方向の修正
スイチョク イチ ホセイ H [+10]

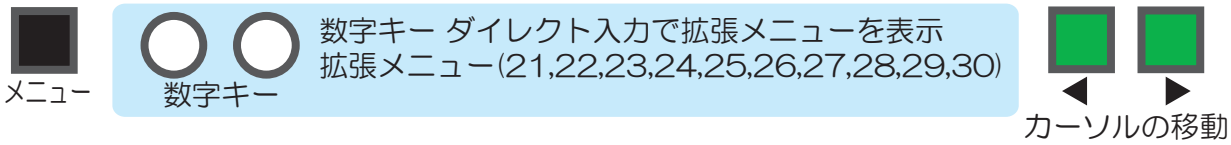
印字結果よりの1,2,34,が離れる
方向にズレている。



2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

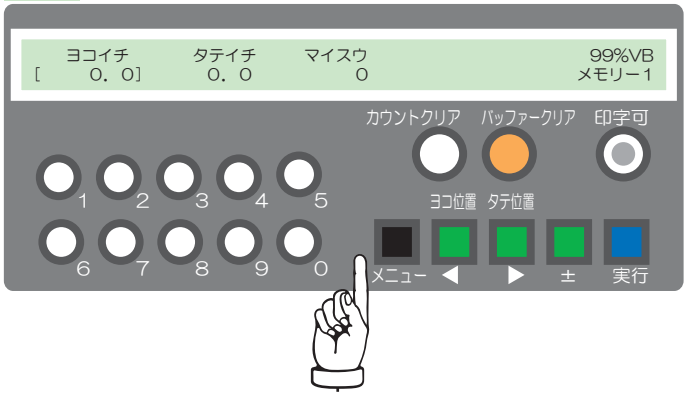
ズレ方向の調整方法

プリントヘッド位置補正の値を調整してます。
横方向の時：拡張メニュー 21:イチホセイH
縦方向の時：拡張メニュー 22:イチホセイV

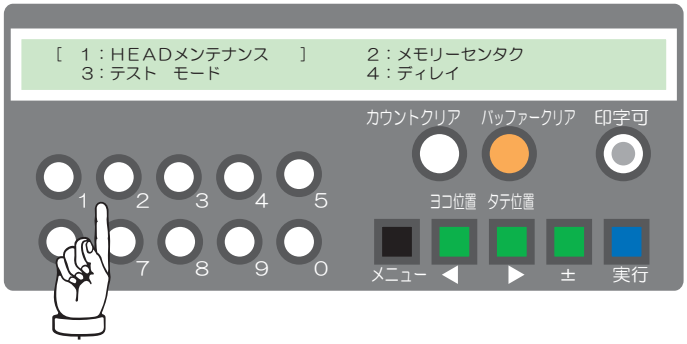


設定手順

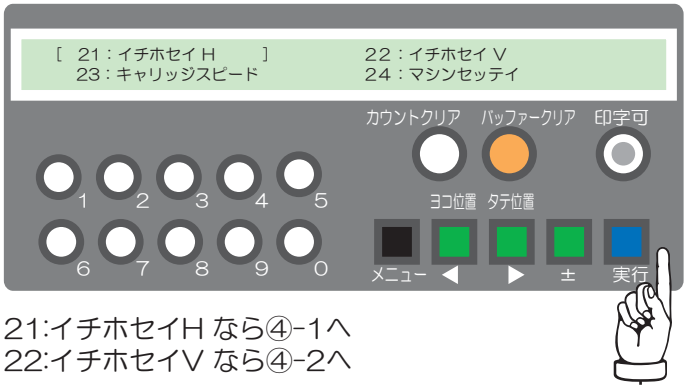
①運転画面よりメニュースイッチを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



②数字キーで21又は、22を押し拡張メニューの21:イチホセイH 又は 22:イチホセイVを呼び出します。

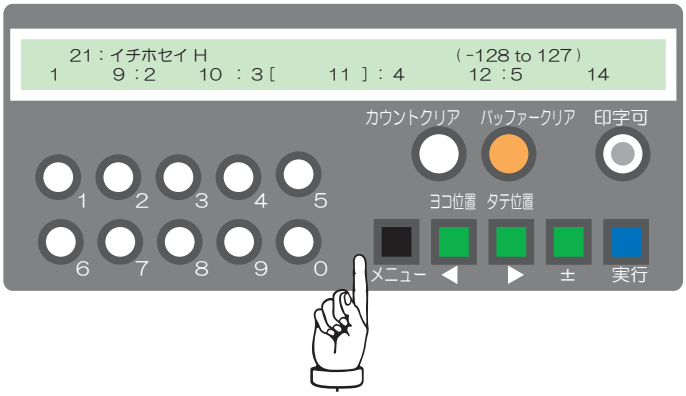


③実行キーで確定し呼び出します。
選択メニューを変更する場合はカーソルを移動し、実行キーで確定し呼び出します。

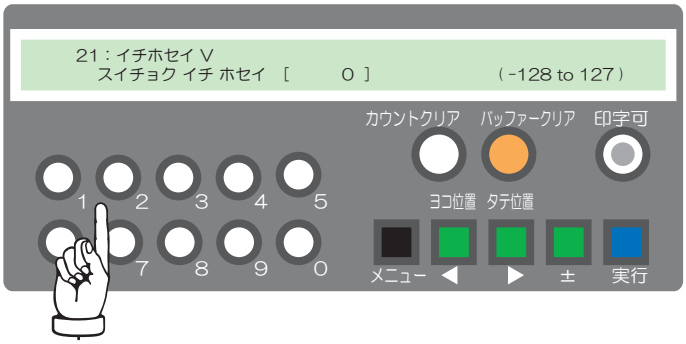


21:イチホセイH なら④-1へ
22:イチホセイV なら④-2へ

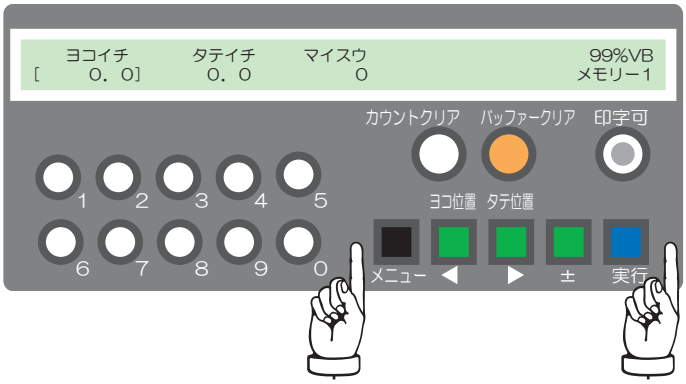
④-1拡張メニュー 21:イチホセイHを選択
カーソルで現在設定されているキャリッジスピード(デフォルト[3])の設定番号をカーソルで選択します。数字キーで設定値、±キーで符合を入力します。
(実行キーで確定、メニューキーでキャンセル)



④-2拡張メニュー 22:イチホセイVを選択
数字キーで設定値、±キーで符合を入力します。
(実行キーで確定、メニューキーでキャンセル)



⑤実行キーを押します。(確定)
メニューキーを押し運転画面に戻ります。
印字確認をして下さい。



2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

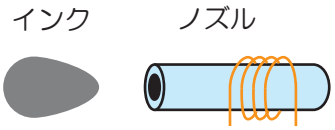
印字データの確認

アプリケーションソフトの印字データ及び印字範囲との位置を変更しプリントヘッドの改行で影響を受けない範囲内にデータを設定
印字文字サイズをプリントカートリッジのノズル幅に合わせ12.1mm以下で印字するようにプリンターにやさしいデータを作成して下さい。

プリンターの特性を理解する

参 考

インジェット方式プリンターとは
そもそもどうやって印字するのですしょう？



HP社のプリンターカートリッジを採用しております。オンデマンド型のサーマル方式

簡単に説明するとノズルをヒータで電気的に暖め気泡でインクを飛ばす方式です。

HP社のプリンターカートリッジのノズルは
何処についているの？

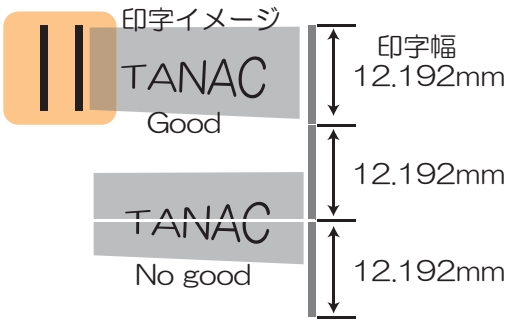
インクヘッド面にインクの跡でこの辺にあると判りますが肉眼では見えないくらい小さいです。

HP社のプリンターカートリッジにはノズルは片側150本 両側で合計で300本あります。

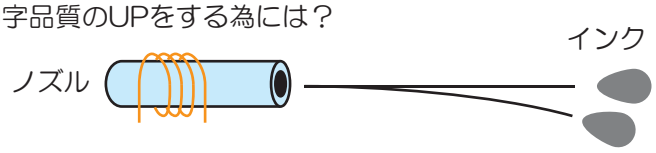
印字幅はHP社のプリンターカートリッジ仕様で決まっています。

$$\text{印字幅} = \frac{1/2\ \text{インチ}}{150} \times 144 = 12.192\text{mm}$$

印字幅は上記計算式で求められ、実際の余裕をみて12.192mm以下の12.1mmで印字幅を検討して下さい。印字品質向上の為にはプリンターの特性を理解した上でのご利用して下さい。



インジェット方式の原理は理解されたと思います。
印字速度のUP、印字品質のUPをする為には？



簡単に考えればどちらもUP可能ですよね？

例1 飛ばすインクのスピードを早くすると良いかも !!
スピードを調整する事は電気的に出来ません。
なぜなら、いつも変化していては安定した印字品質が保てません。

例2 プリントカートリッジを動かすスピードを(印字速度)
もっと早くすれば 良いかも !!
DA1500は、3段階の設定スピードで調整します。
電気的、機械的にモータを早く動かしプリントカートリッジを高速移動させる事は出来ますが、インクが用紙に到達するスピードの力と高速移動によるインクに加わる力で、インクが直球からカーブを描くようになります。不安定要素が増えます。
この為、印字速度のＵＰと印字品質のUPを両立するのは難しいのです。

2 セッティング

2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

プリンターの特性を理解する

さらなる高品質を求める場合は、印字速度が遅くなりますが下記を試して下さい。
双方向印刷から片方向印刷へ変更を試す。
基本メニュー　6:プリントホウコウ：カタホウコウ

メニュー

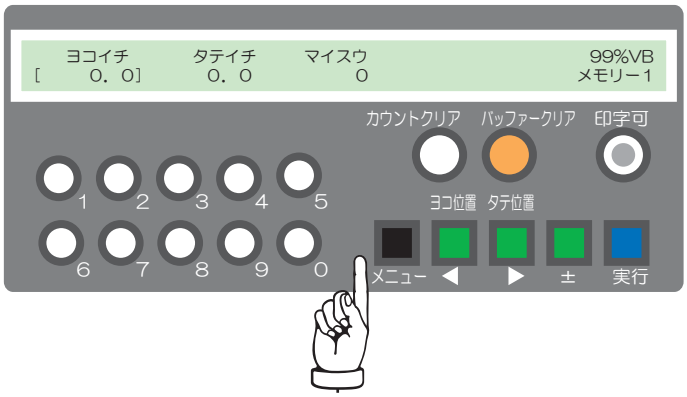
数字キー

数字キー ダイレクト入力で基本メニューを表示
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,10
11,12,13,14)

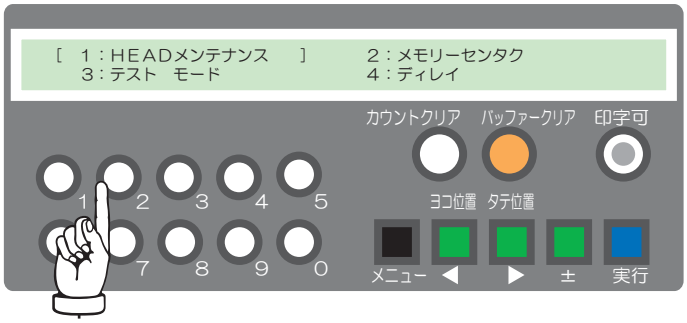
カーソルの移動

設定手順

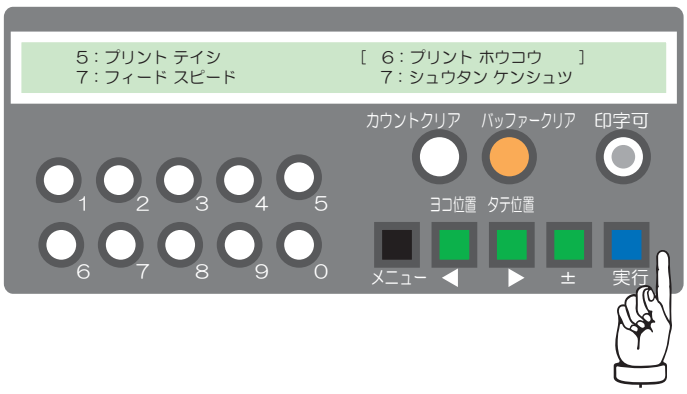
①運転画面よりメニュースイッチを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



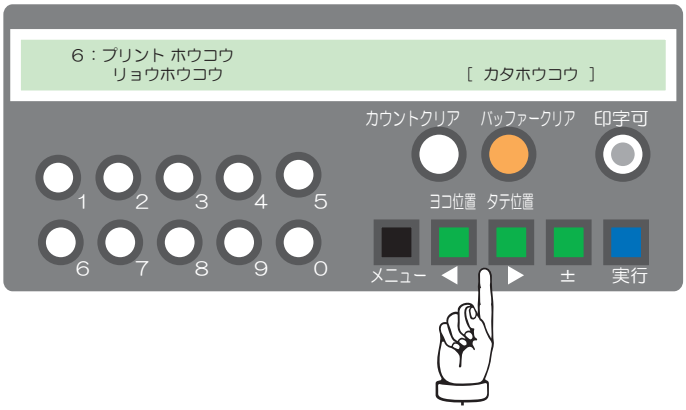
②数字キーで06を押し基本メニューの
6:プリント ホウコウ を呼び出します。



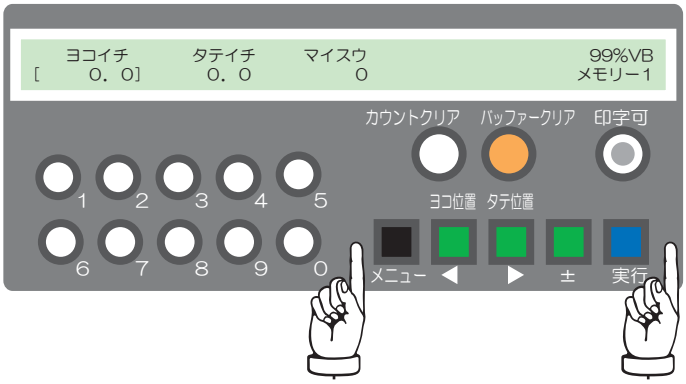
③実行キーを押し呼び出します。
又は、選択メニューを変更する場合はカーソル
を移動し、実行キーで確定し呼び出します。



④カーソルでカタホウコウを選択します。
(実行キーで確定、メニューキーでキャンセル)



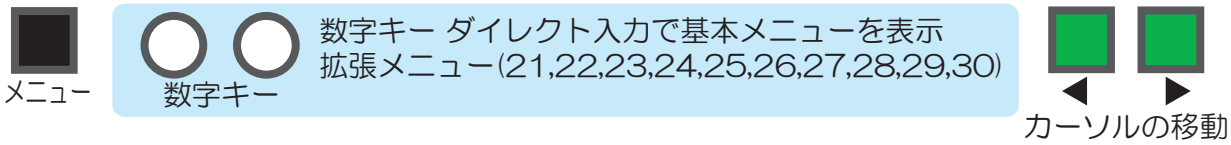
⑤実行キーを押します。(確定)
メニューキーを押し運転画面に戻ります。
印字確認をして下さい。



2-4-5 プリントカートリッジ位置補正の調整方法

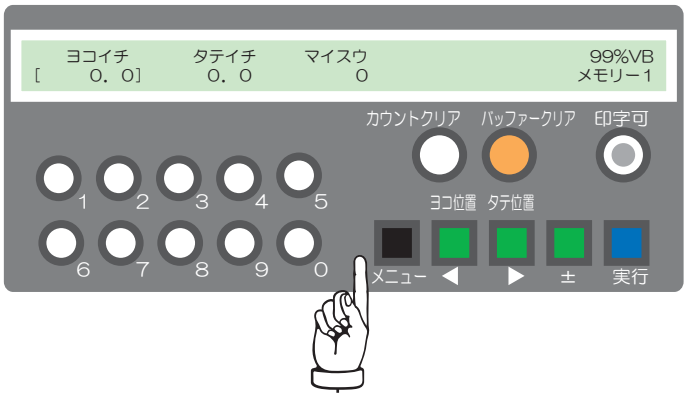
プリンターの特性を理解する

さらなる高品質を求める場合は、印字速度が遅くなりますが下記を試して下さい。
キャリッジスピードの設定変更試す。
拡張メニュー 23:キャリッジスピード　キャリッジ イドウ ソクド

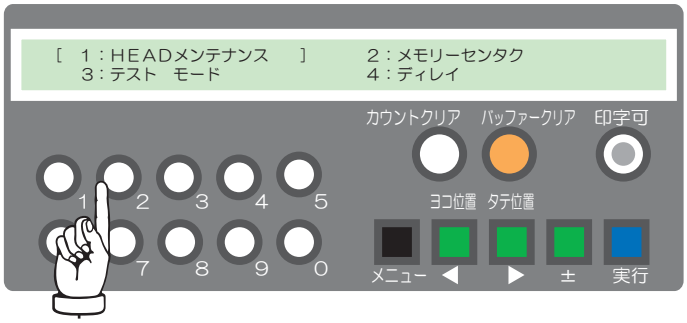


設定手順

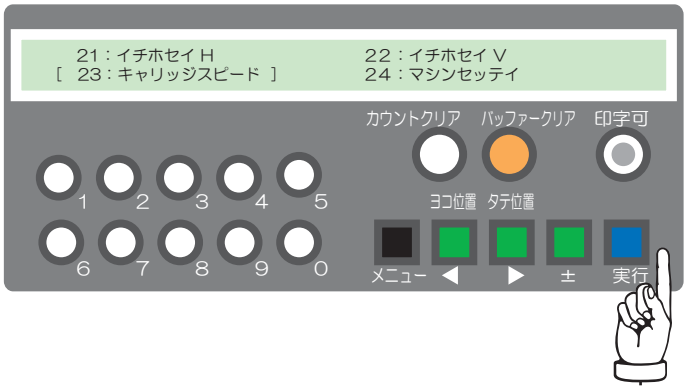
①運転画面よりメニュースイッチを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



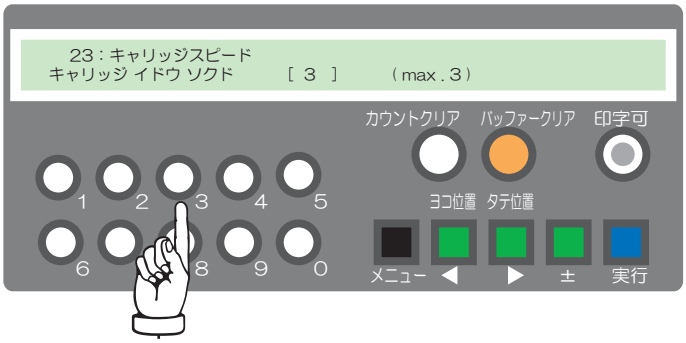
②数字キーで23を押し拡張メニューの
23:キャリッジスピード を呼び出します。



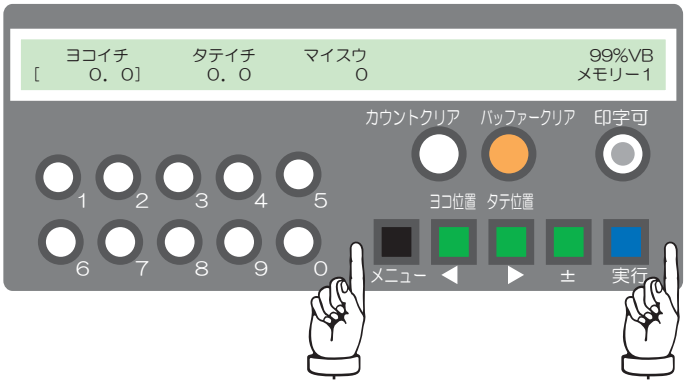
③実行キーを押し呼び出します。
又は、選択メニューを変更する場合はカーソル
を移動し、実行キーで確定し呼び出します。



④数字キーで1，2 ，3 を入力します。
遅い 1＜2＜3 早い
(実行キーで確定、メニューキーでキャンセル)



⑤実行キーを押します。(確定)
メニューキーを押し運転画面に戻ります。
印字確認をして下さい。



MN50025
Ver 1.01
Mar.2016

操作パネルの使い方

3

主な操作手順、基本的な運転方法について説明します。

3-1 操作パネルの操作説明
3-2 基本メニュー
3-3 拡張メニュー

TNK株式会社
TNK CO.,LTD.

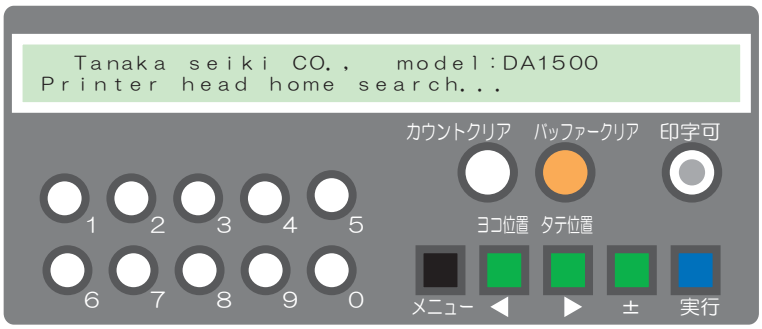
http://tnk-ltd.com

メニューの基本操作

電源投入

ON

OFF



運転画面

運転レベル

ヨコイチ　タテイチ　マイスウ　99%VB
[0.0] 0.0 0 メモリー1

メニュー

基本メニュー

基本設定レベル

数字キー

数字キー ダイレクト入力
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12,13,14)

1:HEADメンテナンス　2:メモリーセンタク
3:テストモード　4:ディレイ

5:プリントテイシ　6:プリント ホウコウ
7:フィードスピード　8:シュウタンケンシュツ

9:ユウセンジュンイ　10:クリーニングサイクル
11:インクチュウイセッテイ　12:トータルカウンター

13:バージョン　14:プリントサーバー

カーソルの移動

メニュー

数字キー

数字キー ダイレクト入力で拡張メニューを表示
拡張メニュー(21,22,23,24,25,26,27,28,29,30)

カーソルの移動

拡張メニュー

高機能設定レベル

21:イチホセイ H　22:イチホセイ V
23:キャリッジスピード　24:マシンセッテイ

25:トクシュインクセッテイ　26:インクスピットセッテイ
27:インクヨウリョウホセイ　28:トリムレベル

29:メンテナンスモード　30:セッテイホゾン

カーソルの移動

3 操作パネルの使い方

運転画面の説明

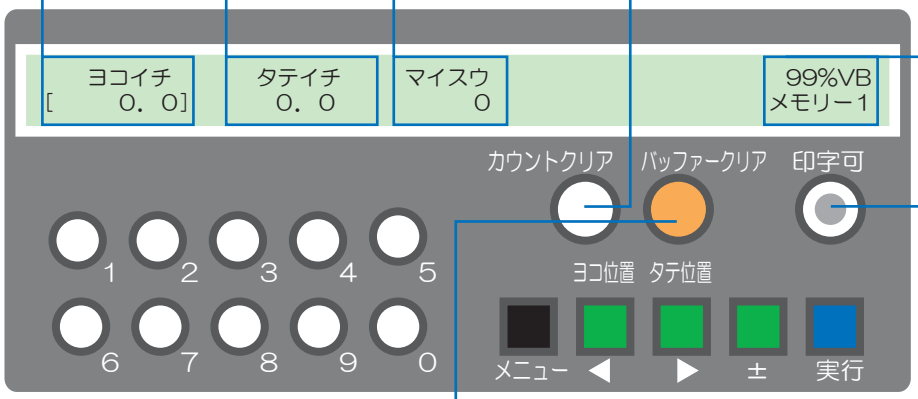
ヨコイチ・タテイチのオフセットの変更

カーソルの移動で選択し 数字を入力して下さい。　実行で確定をします。

ヨコイチ：設定範囲 -30.0～30.0(cm)
横方向の印字開始位置オフセット

タテイチ： 設定範囲 -99.9～99.9(cm)
縦方向の印字開始位置オフセット

マイスウ：印刷枚数です。
カウントクリア キーで0にします。



印字可：印字 開始/停止をします。
印字 開始 ランプ点灯
印字 停止 ランプ点灯

バッファークリア：

データをクリアする	バッファークリア キー + 実行 キー バッファークリア ランプ点滅後消灯
データが有る	バッファークリア ランプ点灯
データが無い	バッファークリア ランプ消灯

99%　　：インク残量表示
VB or AL　：インクの種類(設定により表示されない時もあります。)
メモリー＊　：メモリーセンタクで選択したメモリー番号を表示します。
メモリー番号は 0 - 9 まであります。

3
操作パネルの使い方

基本メニューの説明

1:HEADメンテナンス　　2:メモリーセンタク
3:テストモード　　4:ディレイ

1:HEADメンテナンス

チェック：　インクのチェックだけ行う 実行キーで完了

コウカン：　インク交換作業、インク種別の選択と容量の設定も行います。
25:トクシュセッテイがONであれば種別の選択と容量設定へ
OFFであれば容量設定画面へ移動します。

2:メモリーセンタク

メモリーバンゴウ［ N ］N＝0－9
デフォルト:1
メモリー番号 N を[0 - 9] 数字キーで入力し、実行キーで完了
メモリー番号ごとに保存できるデータは以下の物があります
設定画面で右上に「メモリー1」のようにメモリー番号が表示されます。
設定はメモリー番号を切り替える事でそれぞれの設定値に切り替わります。
ヨコイチ、タテイチ、ディレイ、プリントホウコウ、フィードソクド,ユウセンジュンイ

3:テストモード

オフラインテスト　：オフライン印字テスト（ＴＡＮＡＣテスト印字ＴＡＮＡＣ）

HEADテスト　　：オフライン印字テスト（アライメント調整用縦線）

フィードテスト　　：オフラインでの紙送りテスト 実行キーで開始/停止をします。

参 考

＊テスト印字は10000件のデータをバッファに貯める事で実現しています。
ここでオフラインテストやHEADテストで実行キーを押すとバッファランプが点灯しますので
その後印字画面に戻って印字可キーを押す事で印字が始まります。
テスト印字を中止するには通常の印字のように印字可キーで一時停止後、バッファクリア操作
を行って下さい。

4:ディレイ

ディレイタイム［ N.N ］sec.（max. 10.0 ）
デフォルト:0
ディレイタイムを[0 .0 -10.0] 数字キーで入力し、実行キーで完了
用紙送りの際のディレイタイマーを設定します。
メモリー番号ごとに保存できるデータです。

3
操作パネルの使い方

基本メニューの説明

5:プリントテイシ	6:プリント ホウコウ
7:フィードスピード	8:シュウタンケンシュツ

5:プリントテイシ

プリントストップカウント　［ N ］マイ (max. 9999)
デフォルト:0
設定枚数ごとに一時停止します。0に設定すると停止しません。
枚数 N を［最大9999枚］数字キーで入力し、実行キーで完了

6:プリント ホウコウ

リョウホウコウ　：両方向印刷

カタホウコウ　：片方向印刷

デフォルト:リョウホウコウ
リョウホウコウ、カタホウコウをカーソルで選択し、実行キーで完了
メモリー番号ごとに保存できるデータです

7:フィードスピード

フィードソクド［ N ］　(max. 2)
デフォルト:2
設定を[1 - 2] 数字キーで入力し、実行キーで完了
紙送りのスピードを変化出来ます。
低速ほどトルクが強くなるのでモーターが脱調した時などは数値を下げて下さい
メモリー番号ごとに保存できるデータです。

8:シュウタンケンシュツ

ケンシュツON　：紙の後端30mmのところに印刷範囲がある場合にエラーとして一時停止します。

ケンシュツOFF　：検出を行いません。

デフォルト:ケンシュツOFF
ケンシュツON、ケンシュツOFFをカーソルで選択し、実行キーで完了

3
操作パネルの使い方

基本メニューの説明

9:ユウセンジュンイ	10:クリーニングサイクル
11:インクチュウイセッテイ	12:トータルカウンター
13:バージョン	14:プリントサーバー

9:ユウセンジュンイ

ヨウシユセン　　：紙を連続で送ります。

データユウセン　：紙を排出し、次のデータがある事を確認してから次の紙を給紙します。

デフォルト:ヨウシユセン
ヨウシユセン、データユウセンをカーソルで選択し、実行キーで完了
メモリー番号ごとに保存できるデータです。

10:クリーニングサイクル

クリーニングサイクル［ N ］ マイ （max. 255）

デフォルト:50
設定を[0 - 255] 毎を数字キーで入力し、実行キーで完了
設定された枚数を印字した所で一度スピットポジションに戻ってスピット動作を行います。

11:インクチュウイセッテイ

［ N ］ %（0 - 99）

デフォルト:5
設定を[0 - 99] 数字キーで入力し、実行キーで完了
設定されたインク残量になった時に印刷を中止してメッセージを表示します 。

12:トータルカウンター

NNNNNN　　：+-キーを押すとインクヘッド交換後の総印字ドット数が表示されます。
NNN マイ　：工場出荷後に印刷された枚数を表示します。

13:バージョン

DA1500：機種名
メイン Ver.0006　0.4　　エンジン Ver.0004　8.0　:ファームウェアとバージョン番号

機種名、メインCPUとエンジン部のファームウェアとFPGAのバージョン番号を表示します。

14:プリントサーバー

ヒョウジュン　　:ほとんどのプリントサーバーはこちらで使用します。
SEH03a　　:SEH社のプリントサーバーを使用する際はこちらに設定してください。

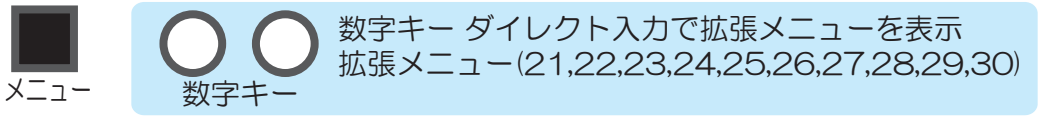
3
操作パネルの使い方

拡張メニューの説明

21:イチホセイ H　　22:イチホセイ V
23:キャリッジスピード　　24:マシンセッテイ

普段は1～13番までの基本メニューのみを表示し、拡張メニューは非表示しています。
メニューのダイレクト選択機能で21～30までを一度でも選択すると電源を切るまで
カーソルキーで拡張メニューが表示されるようになります。

ダイレクト選択機能
メニュー画面で２桁の数字を押す事によって対応するメニューにカーソルを合せる事が
出来ます。



21:イチホセイ H

（-128 to 127）
1　NNN：2　NNN　：3　NNN

-128 - +127(1/1200インチ)
デフォルト:13
キャリッジスピード毎に設定します。
キャリッジスピード(1,2,3)をカーソルで選択, 設定を[-128 ～127] 数字キーで
入力し、実行キーで完了
両方向印字時の印字ずれ補正をキャリッジ速度ごとに行います。

22:イチホセイ V

スイチョク イチ ホセイ ［NN N ］　（-128 to 127）

-128 - +127(1600pulse/rev)
デフォルト:0
設定を[-128 ～127] 数字キーで入力し、実行キーで完了
改行時の紙送り量を補正します。

23:キャリッジスピード

キャリッジ　イドウソクド　［ N ］　(max. 3)

デフォルト:3
設定を[1 - 3] 数字キーで入力し、実行キーで完了
キャリッジの移動速度を設定します。

24:マシンセッテイ

ホセイデータヨコ　：紙送り部分の中心と印刷物の中心を合せる為に使用します。
-500 - +500(1/1200インチ)

ホセイデータタテ　：紙上端と印字位置をそろえる為に使用します。
-500 - +500(1600pulse/rev)

ホセイデータ、ヨコホセイデータタテをカーソルで選択, 設定を[-500 ～500]
数字キーで　入力し、実行キーで完了

3
操作パネルの使い方

拡張メニューの説明

25:トクシュインクセッテイ 26:インクスピットセッテイ
27:インクヨウリョウホセイ 28:トリムレベル

普段は1～13番までの基本メニューのみを表示し、拡張メニューは非表示しています。
メニューのダイレクト選択機能で21～30までを一度でも選択すると電源を切るまで
カーソルキーで拡張メニューが表示されるようになります。

25:トクシュインクセッテイ

トクシュインク シヨウ キョカ　　YES　　NO

YES　　:溶剤系インクなど、トリム電圧の大きく違うインクを使用する場合に使います。
この設定にするとインク交換時にインクの種類を切り替える事が出来ます。
また、それぞれのインクごとにトリムレベル、イチホセイ Hなどのデータが
切り替わります。
印刷画面の右上にVB, ALの表示が出て現在のインク種別を知る事が出来ます。

NO　　:1 種類のインクを使用する設定です。

デフォルト:NO
YES,NOをカーソルで選択し、実行キーで完了

26:インクスピットセッテイ

ホームスピット［ NNN ］　（ 400 ）プリスピット［ NN ］　（ 20 ）

ホームスピット　　:印字開始時にスピットする回数を設定します。
デフォルト:200　　（インクを空打ちしてヘッドの詰まりを解消する動作）

プリスピット　　:印刷中にクリーニングサイクルで指定された枚数毎にスピット位置で
デフォルト:10　　スピットする回数を設定します

ホームスピット,プリスピットをカーソルで選択、設定を[1- 400] ,[1 - 20] 数字キーで入力し、実行キーで完了

27:インクヨウリョウホセイ

［ NNNN ］ Mdot（max. 9999 ）

デフォルト:1500
設定を[1 - 9999] 数字キーで入力し、実行キーで完了
新品タンクで印刷する事の出来るドット数を設定します。
この値を元にインク残量を計算しますので、もしインク残量表示がまだ多い時にインク切れ　になったりした場合はこの数値を調整する事で実際のインク量と表示を近い値にする事が出来ます。
トータルカウンター画面で+-キーを押す事で現在のインクのドット数を表示する事が出来ます。

28:トリムレベル

トリムレベル［ NN ］（max. 31 ）

デフォルト ：VBインク :26
：ALインク :17
設定を[1 - 31] 数字キーで入力し、実行キーで完了
インクヘッドの電圧トリムを調整する数値です。
数値換算は 5 + トリムレベル X 0.2の式で求められる電圧になります。

3
操作パネルの使い方

拡張メニューの説明

29:メンテナンスモード　　30:セッテイホゾン
31:イメージデータ

普段は1～13番までの基本メニューのみを表示し、拡張メニューは非表示しています。
メニューのダイレクト選択機能で21～30までを一度でも選択すると電源を切るまで
カーソルキーで拡張メニューが表示されるようになります。

29:メンテナンスモード

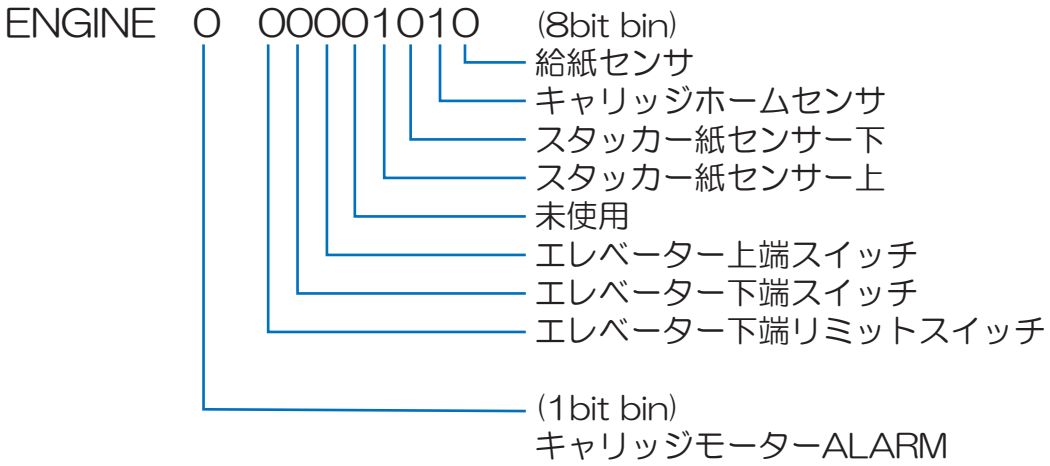
OFF 0.5A AN13 0.4V
MAIN: 800 00 00　ENGINE : 0 00001010

ステッピングモーターの駆動電流や、センサーの入力状態を表示する事が出来ます。

ステッピングモーター 駆動電流/電圧の表示 （ +-キーのON/OFFで切り替え）
ON　3.0A AN13 1.9V / OFF 0.5A AN13 0.4V

MAIN （キー入力ポート状態(16bit hex) CN23(8bit hex) CN24(8bit hex)

キーを押して確認	表示	キーを押して確認	表示
未入力	:8100 00 00	メニュー	:810B 00 00
1	:8101 00 00	◀	:810C 00 00
2	:8102 00 00	▶	:810D 00 00
3	:8103 00 00	±	:810E 00 00
4	:8104 00 00	実行	:810F 00 00
5	:8105 00 00	カウントクリア	:8120 00 00
6	:8106 00 00	バッファークリア	:8140 00 00
7	:8107 00 00	印字可	:8180 00 00
8	:8108 00 00		
9	:8109 00 00		
0	:810A 00 00		



30:セッテイホゾン
31:イメージデータ

PCカラツウシンソウサヲオコナッテクダサイ　　MENUデシュウリョウ

各種設定の保存やテストに使用します。
工場及び販売店のサービスエンジニアが使用いたします。

3
操作パネルの使い方

MN50025
Ver 1.01
Mar.2016

パソコンからの印刷

4

4-1 ドライバーのインストール方法
4-2 使用できる印刷用紙
4-3 印刷用紙のセット
4-4 印刷してみよう！

TNK株式会社
TNK CO.,LTD.

http://tnk-ltd.com

Windosw XP のインストール方法

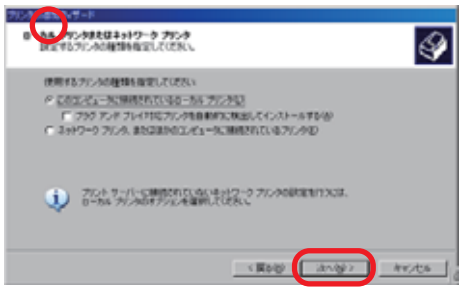
USBケーブルはまだ接続しないでください。

1: スタート／設定／プリンタとFAXをクリックします。
プリンタとFAXが開きます。

2: プリンタの追加をダブルクリックします。

3: プリンター追加ウイザードの開始

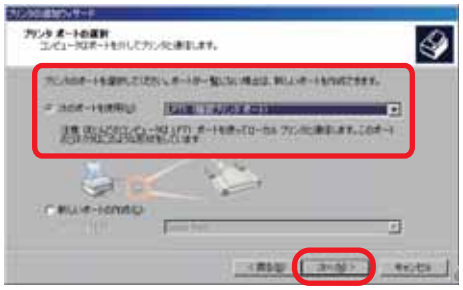
次へ をクリックします。



4: ローカルプリンタ又はネットワークプリンタ

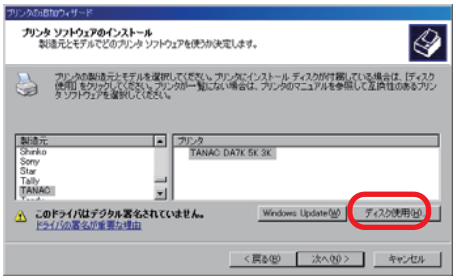
このコンピュータに接続されているローカルプリンタ

を選択し 次へ をクリックします。



5: プリンターポートの選択

Lpt1を選択し 次へ をクリックします。



6: プリンターソフトウェアのインストール

ディスク使用でCDドライブを選ぶ

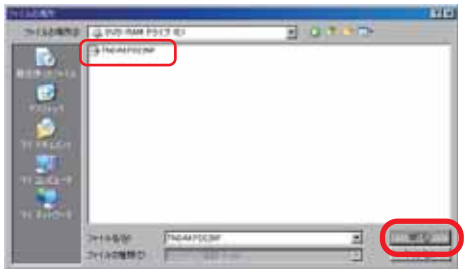
TANAC を選ぶ

4
パソコンからの印刷

4-1 ドライバーのインストール方法

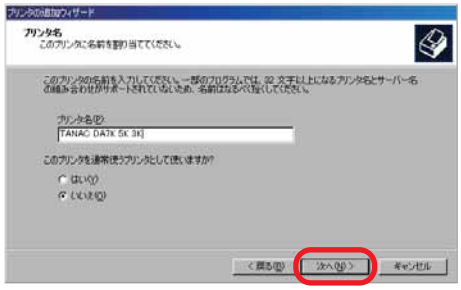
7: フロッピーディスクからインストール

OKをクリックします。



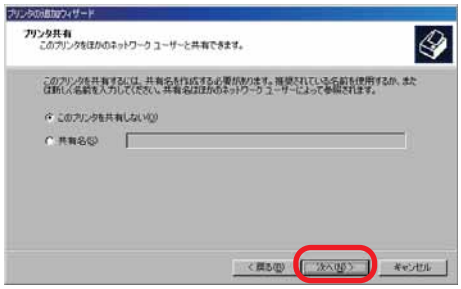
8: ファイルの場所

TNDAKP02.INF を選択し 開くをクリックします。



9: プリンター名

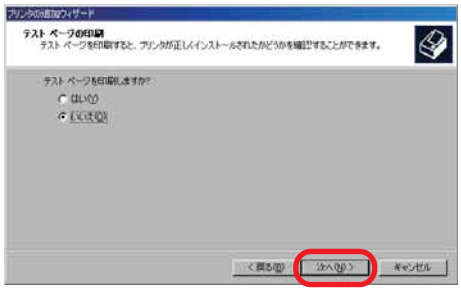
プリンター名をDA1500に変更 又はそのままで
次へ をクリックします。



10: プリンタ共有

共有名をしない 場合はそのまま 次へ をクリックします。

共有する場合 共有名　記入し 次へ をクリックします。

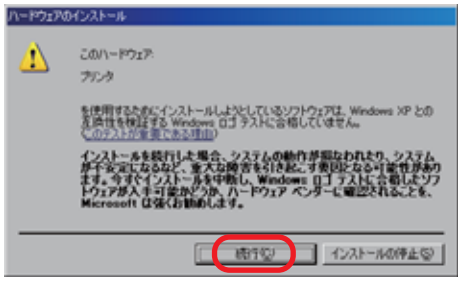


11: テストページの印字

いいえ を選択し 次へ をクリックします。

12: プリンタの追加ウイザード完了

完了を クリックします。

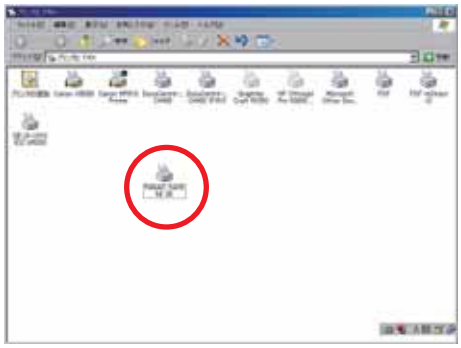


13: ハードウエアーのインストール

続行を クリックします。

4
パソコンからの印刷

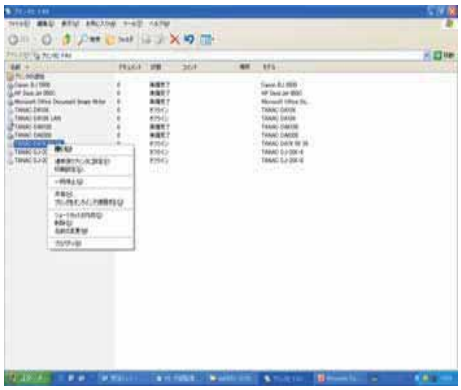
4-1 ドライバーのインストール方法



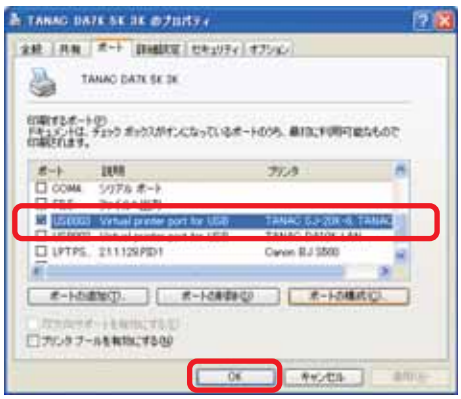
14:プリンタドライバがインストールされました。

15: パソコンとプリンタをUSBケーブルで接続してください。

プリンタの電源を投入して下さい。



16: 右クリックでプロパティをクリック



17: プロパティ
ポートをクリックしLpt1ポートかUSB001 - USB003等のVertual printer port for USB に切り替え
OK をクリックします。

4
パソコンからの印刷

4-2 使用できる印刷用紙

使用出来る用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。

サイズ使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

レター　8.5 x 11［レター］（215.9×279.4mm）
リーガル（215.9×355.6mm）
A3(297×420mm), A4(210×297mm), A5(148×210mm), A6(105×148mm)
B4(257×364mm), B5(182×257mm),B6(128×182mm),B7(91×128mm)
KG（101.6×152.4mm）
US 4 x 8（101.6×203.2mm）
US 5 x 7（127.0×177.8mm）
六切（203.2×254.0mm）
L判（89.0×127.0mm）, 2L判（127.0×178.0mm）
はがき(100×148mm) , 往復はがき (200×148mm) , 大判はがき (120×235mm)
US Comm. Env. #10［#10封筒］（104.6×241.3mm）
EUR DL Env.［DL封筒］（110.0×220.0mm）
角形0号(287×382mm),角形1号(270×382mm), 角形2号(240×332mm)
角形20号(229×324mm), 角形3号(216×277mm), 角形4号(197×267mm)
角形5号(190×240mm), 角形6号(162×229mm), 角形7号(142×205mm)
角形8号(119×197mm)
長形1号(142×332mm), 長形2号(119×277mm), 長形3号(120×235mm)
長形4号(90×205mm),長形5号(90×185mm), 長形40号(90×225mm)
長形30号(92×235mm)
洋形1号(120×176mm), 洋形2号(114×162mm), 洋形3号(98×148mm)
洋形4号(105×217mm), 洋形5号(95×217mm), 洋形6号(98×190mm)
洋形7号(92×1165mm)
洋形特1号(138×198mm), 洋形長３号(120×235mm), 洋形長4号(90×205mm)
ワイド101.6×180.6mm［ワイド］（101.6×180.6mm）

非定型：以下の範囲内で用紙サイズを設定することもできます。
最小サイズ： 幅 55.0mm×長さ 80.0mm（背当て板無し時）
最大サイズ： 幅 364.0mm×長さ 420.0mm（後トレイ）

印刷が難しいサイズ、用紙は販売店へお問い合わせ下さい。

使用出来ない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。
きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。
折れて平面にならない用紙／反りがある用紙／しわが付いて平面にならない用紙
濡れている用紙／1.0mm以上の用紙穴の開いた用紙／粉や粘着性がある用紙等は印刷出来ません。
用紙サイズは規定より小さい用紙及び大きい用紙は印刷出来ませんので、印刷可能範囲内の用紙＆封筒をご使用下さい。
印刷用紙で不明な場合は、最寄の販売会社へ問合せ下さい

4 パソコンからの印刷

4-3 印刷用紙のセット

重 要

・印刷用紙のセットの仕方は用紙供給に対して非常に重要です。
　セットの仕方が悪いと用紙が曲がって供給されたり、JAM error,FEED errorが発生します。
・印刷用紙の積載状態及び、使用用紙等により印字が傾く恐れが有ります。
　印刷をスムーズに行う為にも用紙は正しくセットしてください。

印刷用紙のセット方法

① 用紙束を揃える

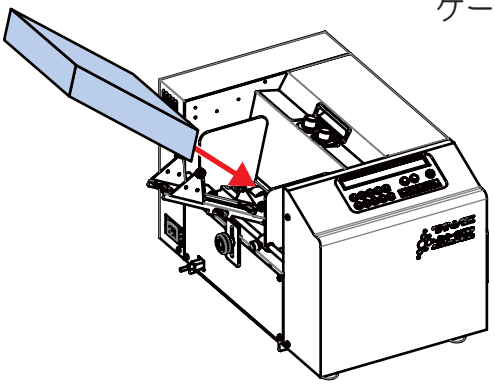
① 約1cmの用紙束を平らな面で、用紙の上下左右をきちんと揃えます。

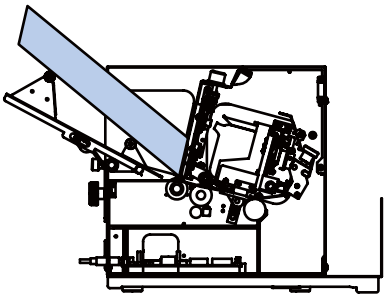
② 用紙束を矢形にする

② 揃えた用紙を手に持って前方の用紙が先端になるように矢形に揃えます。

③

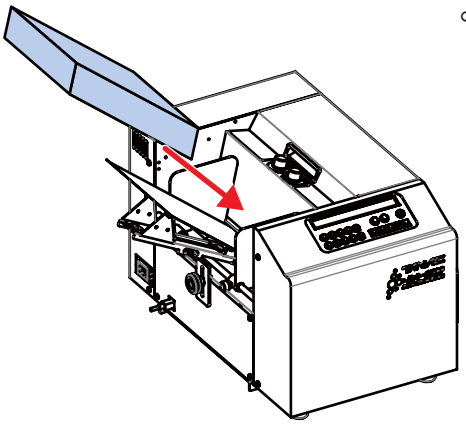
③ 矢形の先端がゲート片と給紙ローラーの間にくるようにゲート片上にセットします。





④

④ 順次用紙を整え、最初にセットした用紙の後に揃えるように給紙装置に載せます。



4
パソコンからの印刷

4-4 印刷してみよう！

印字の準備をする

パソコンにプリンター用ドライバーをインストール済みで、アプリケーションソフトにおいて
印字データを作成してある事を前提に記載しています。

印字の準備と手順

1 印刷準備をする

- □ プリンターに電源ケーブルを接続する
- □ パソコンとプリンターをUSBケーブルで
  接続する
- □ 電源が入っていることを確認
- □ テスト印字用の用紙(A4サイズ)を準備

2 プリンターの設定確認

- □ プリントカートリッジの確認(インクの状態を確認する)
- □ ノズルチェック(印字品質及び印刷位置の確認 用紙は手差しで確認)
- □ 印字方向の設定(双方向、片方向)
- □ 印字速度の設定(1,2)
- □ 優先順位の設定(用紙優先、データ優先)
- □ クリーニング　サイクルの設定
- □ インク残量警告の設定

3 パソコンの設定確認

TANAC DA1500 印刷設定(プリンターのプロパティ)

用紙
- □ 用紙サイズ(A4,A5,A6,B5,B6,はがき,封筒角型,封筒洋型,等)
- □ 印刷向き(縦、横)
- □ 印刷方向(両方向、片方向)
- □ 出力方法(標準、反転)
- □ 印刷順序(正順、逆順)

グラフィックス
- □ 解像度(300X200, 300X300, 600X300, 600X600 dpi)
- □ グラフィックパターン(デザインパターン、ハーフトーン)
  [デザインパターン(なし,粗い,細かい,ラインアート)]
- □ 文字(中間色、白黒)

アプリケーションソフトの印刷(プリンターの設定)
- □ プリンタ(プリンタ名 TANAC DA1500)
- □ 印刷範囲(すべて、現在のページ、ページ指定)
- □ 印刷部数(1 - 9999)

4 プリンターの各装置の調整

- □ 用紙の準備
- □ ゲートの調整
- □ 給紙受板の調整
- □ 用紙ガイドの調整
- □ 排出ピンチローラの調整
- □ プリントカートリッジの調整

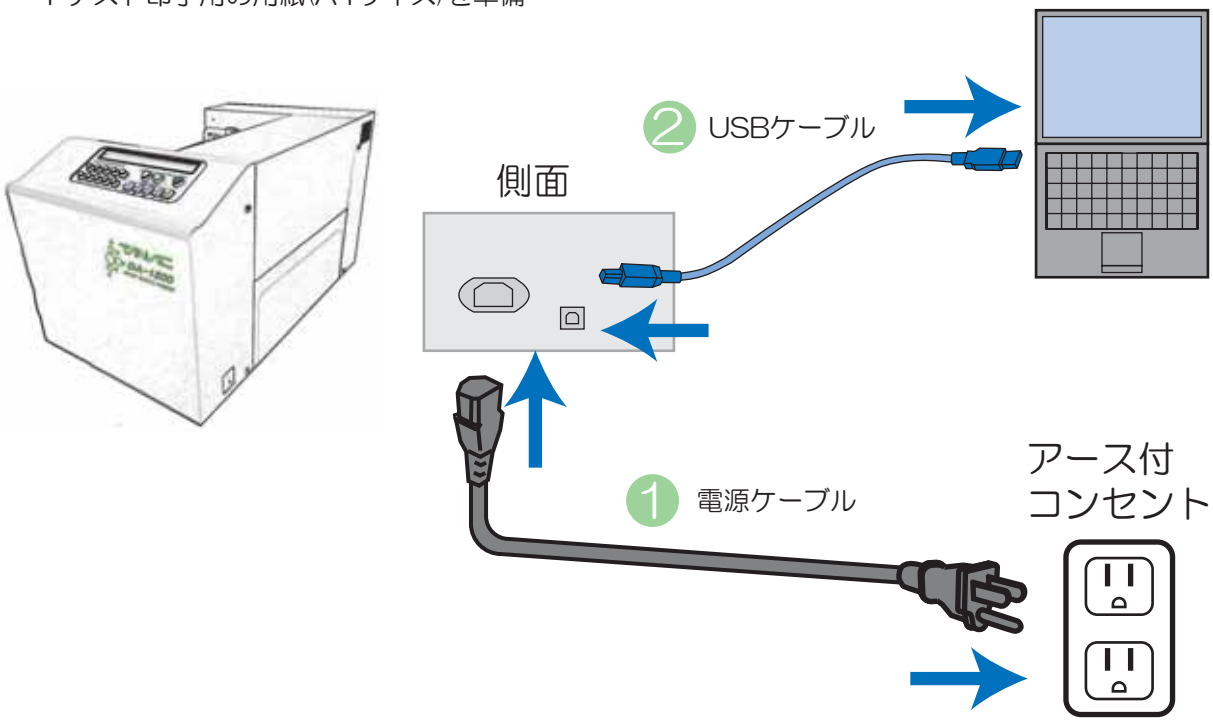
5 印字可キーで印刷開始

- □ 印字確認後終了です。

4 パソコンからの印刷

1 印刷準備をする

1 プリンターに電源ケーブルを接続する
2 パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続する
3 電源が入っていることを確認
4 テスト印字用の用紙(A4サイズ)を準備



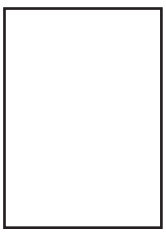
⚠ 警告 電源電圧はAC100V以外は使用しないで下さい。

電源を投入します。

ON

OFF

3 電源スイッチをONにします。



4 テスト印字用の用紙(A4サイズ)を準備
テスト印字データは、はがきサイズですが、手差しにて用紙を挿入し印字確認をする為,大きめのA4サイズの用紙をお勧めします。

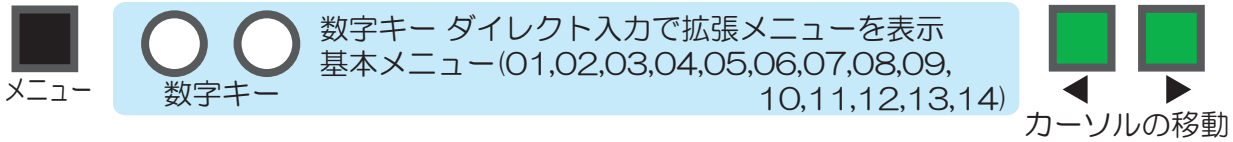
4
パソコンからの印刷

2 プリンターの設定確認

1 プリントカートリッジの確認(インクの状態を確認する)
2 ノズルチェック(印字品質及び印刷位置の確認 用紙は手差しで確認)
3 印字方向の設定(双方向、片方向)
4 印字速度の設定(1,2)
5 優先順位の設定(用紙優先、データ優先)
6 クリーニング　サイクルの設定
7 インク残量警告の設定

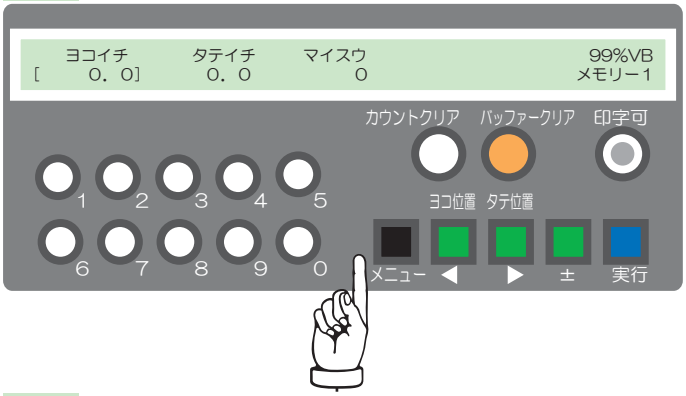
1 プリントカートリッジの確認(インクの状態を確認する)

プリントカートリッジ(インク)のセット



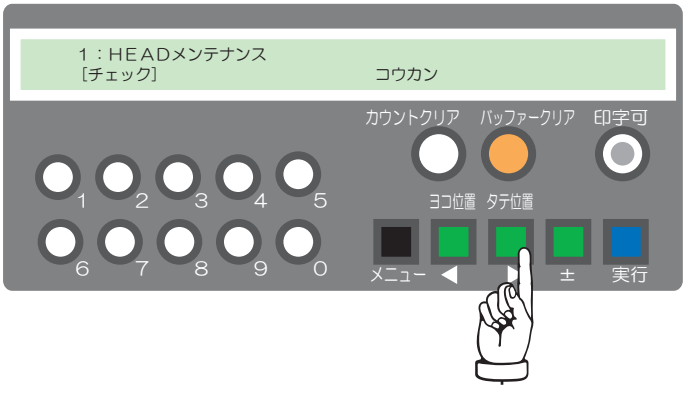
プリントカートリッジのセット手順

①運転画面よりメニュースイッチを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



②数字キーで01又は、1:HEADメンテナンス
をカーソルキーで選択後、実行キーを押します。

③1: HEADメンテナンス より
▶カーソルキーを押し[コウカン] を選択します。



④　実行キーで確定します。

確定するとプリントカートリッジが交換位置
へ移動します。

⑤ プリントカートリッジを準備する

新しいプリントカートリッジを箱より取り出し、
保護フィルム等をすべてはがします。

重要

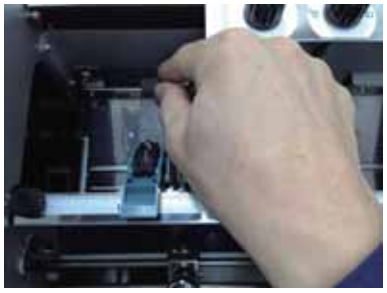
プリントカートリッジを落としたり、
力を加えたり、振ったりするなど
乱暴に扱うことは避けてください。

プリントカートリッジのセット手順

⑥ プリントカートリッジを準備する

⑥-1：固定ラッチのロック解除します。

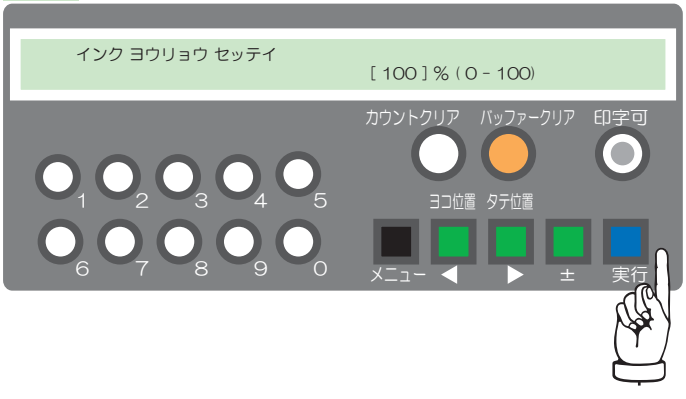
⑥-2：新しいプリトカートリッジを奥まで差込みます。



⑥-3：固定ラッチをロックします。

⑥-4：固定ラッチがロックした事を確認する。

⑦ 実行キーを押すとインクヨウリョウ設定画面が表示されます。



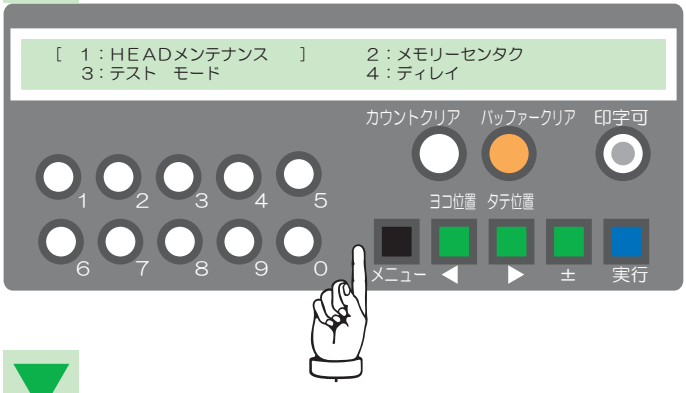
⑧ 新品のインクカートリッジを挿入した場合 インク残量を設定せずに実行キーを押して100%を設定し確定します。
使用中の物は重量測定し目安表を参考にインク容量を%単位で入力しして下さい。

目安表	
100%	115.5g
90%	111.2g
80%	106.9g
70%	102.6g
60%	98.3g
50%	94.0g
40%	89.7g
30%	85.4g
20%	81.1g
10%	76.8g
0%	72.5g

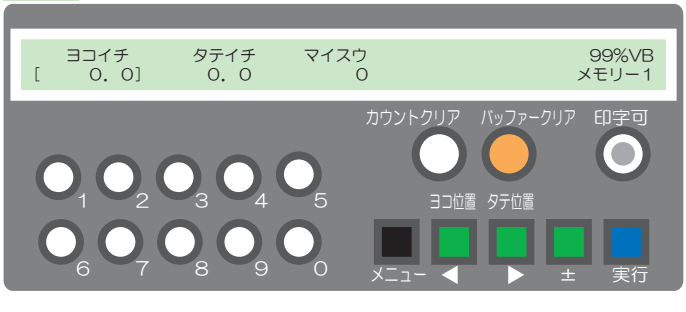
確定するとプリントカートリッジが自動でホームへ戻り待機しています。

使用中のインクカートリッジを交換する場合は、インクカートリッジの重量を計測し目安表からインク容量を%単位で設定を数字キーで入力してください。
インク容量10% = 約4.3g

⑨メニューキーを押し 運転画面に戻します。



⑩ 運転画面を表示させて終了です。



4 パソコンからの印刷

4-4 印刷してみよう！

2 プリンターの設定確認

2 ノズルチェック(印字品質及び印刷位置の確認 用紙は手差しで確認

メニュー

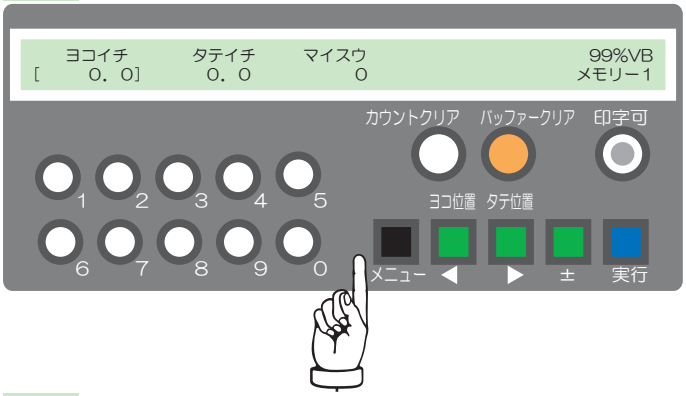
数字キー

数字キー ダイレクト入力で拡張メニューを表示
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,
10,11,12,13,14)

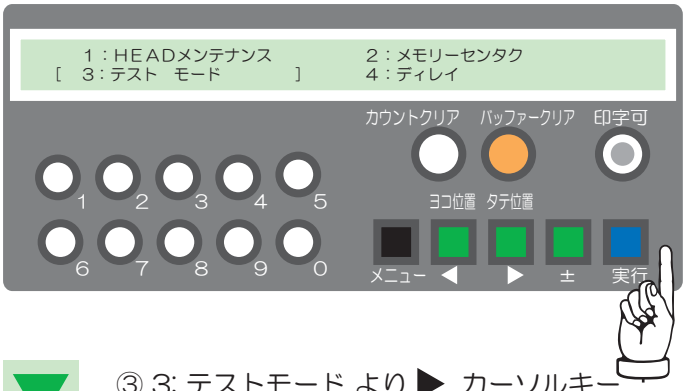
カーソルの移動

ノズルチェックの手順

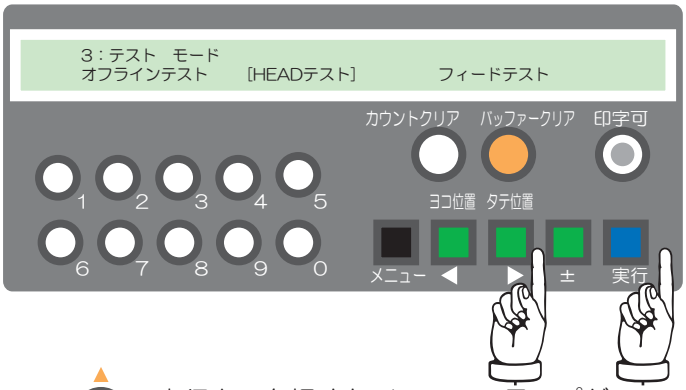
①運転画面よりメニューキーを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



②数字キーで03又は、3:テスト モードを
▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

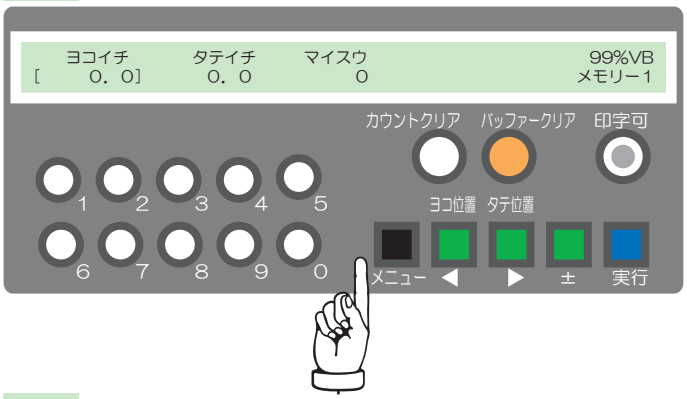


③ 3: テストモード より ▶ カーソルキー
を押し[HEADテスト] を選択します。
実行キーを押します。

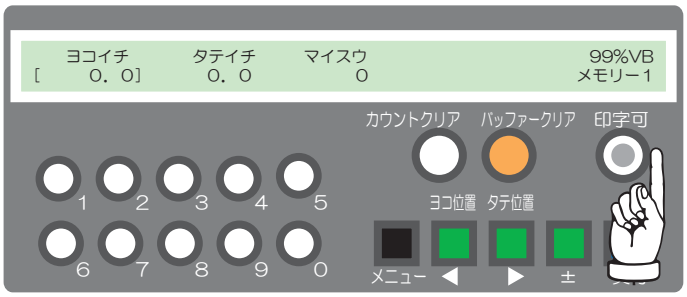


実行キーを押すとバッファーランプが
点灯します。

④ バッファーランプの点灯確認後
メニューキーを2回 押し印字画面へ戻します。



⑤ 印字確認用の用紙を準備します。
準備完了後、印字可を押し用紙を挿入すると
内蔵されているヘッド確認データが印刷されます。



テスト印字用の用紙をセンター基準で挿入して下さい。
印字確認データは、連続１００件の印刷が可能です。
テスト確認印刷枚数は１００件以内で終了する時は、
「バッファークリア」キーと「実行」キーを同時に
押してテストデータを削除します。
１００件以内で印刷を実施及び停止する場合は、
「印字可」キーを押すごとに印字及び停止を繰り返
します。

印刷状態を確認して頂き、位置補正が必要な場合は
「2-4-8プリントカートリッジ位置補正の調整方法」
を確認し、ヘッド印字調整を行ってください。

4 パソコンからの印刷

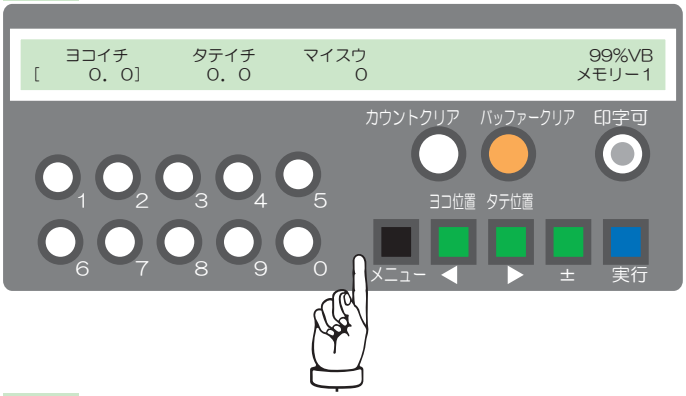
2 プリンターの設定確認

3 印字方向の設定(双方向、片方向)

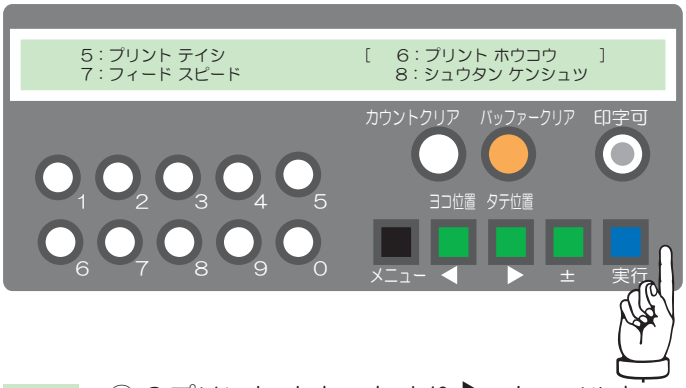
メニュー　数字キー　数字キー ダイレクト入力で拡張メニューを表示
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12,13,14)
カーソルの移動

印字方向の設定の手順

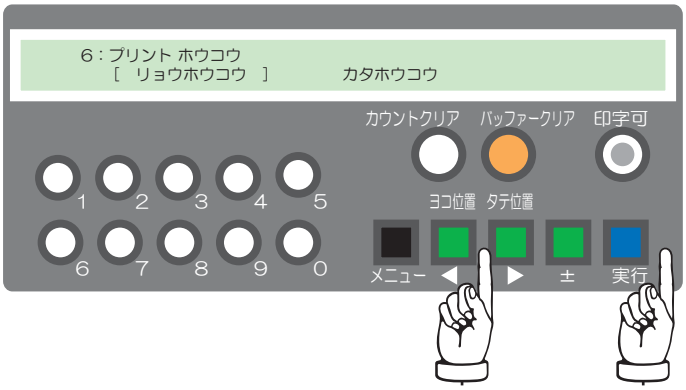
①運転画面よりメニューキーを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



②数字キーで06又は、6:プリント ホウコウを
▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

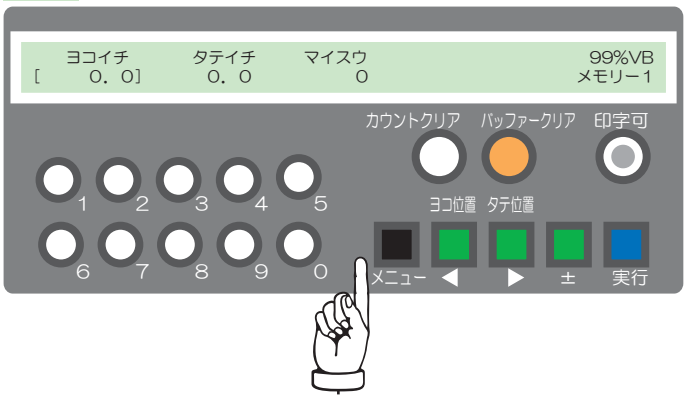


③ 6:プリント ホウコウ より ▶ カーソルキーを押し リョウホウコウ、カタホウコウ を選択します。実行キーで確定します。



デフォルトは、リョウホウコウになっています。

④ メニューキーを押し印字画面へ戻します。



4 パソコンからの印刷

2 プリンターの設定確認

4 印字速度の設定(1,2)

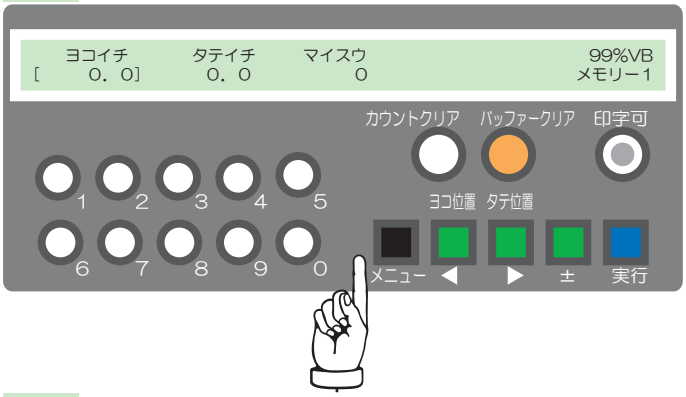
本製品の印刷速度は、2段階の速度設定が可能です。
印刷物及び印字品質に合わせて、印刷速度を設定して下さい。

メニュー　数字キー　数字キー ダイレクト入力で拡張メニューを表示
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12,13,14)

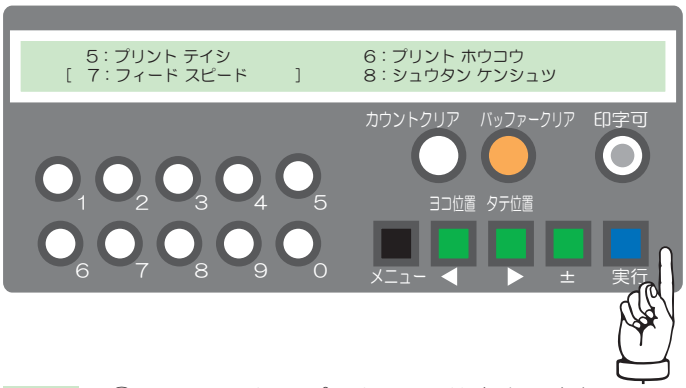
◀ ▶ カーソルの移動

印字速度の設定の手順

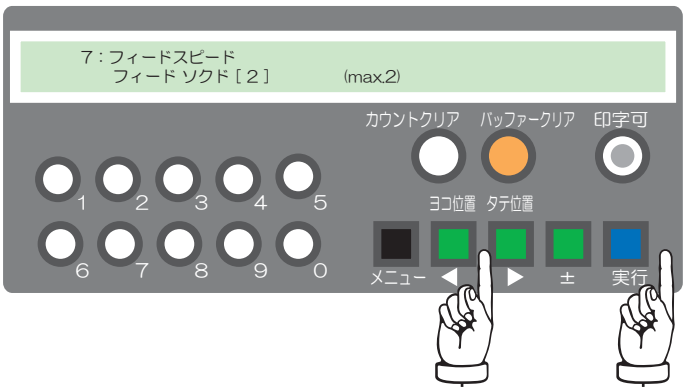
▼ ①運転画面よりメニューキーを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



▼ ②数字キーで07又は、7:フィードスピードを
▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

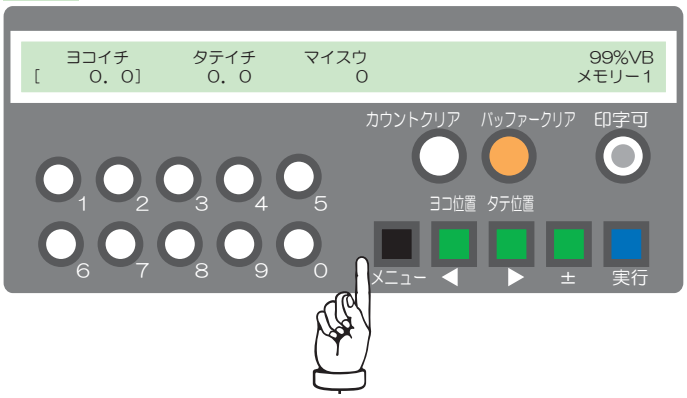


▼ ③ 7:フィードスピードより 数字キーを押し
(遅い <- 1, 2 -> 早い) 入力します。
実行キーで確定します。



デフォルトは、2になっています。

▼ ④ メニューキーを押し印字画面へ戻します。



4 パソコンからの印刷

4-4 印刷してみよう！

2 プリンターの設定確認

5 優先順位の設定(用紙優先、データ優先)

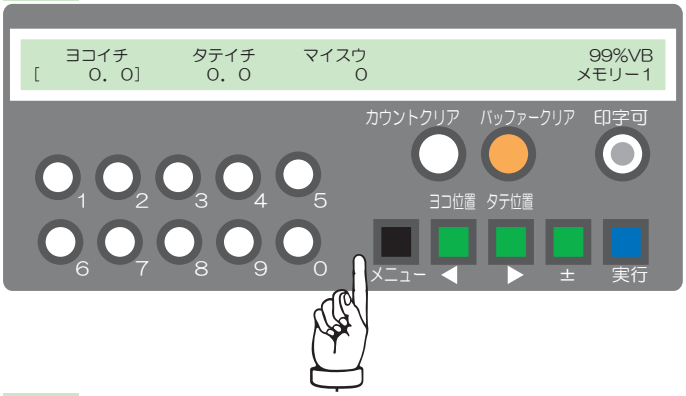
メニュー　数字キー

数字キー ダイレクト入力で拡張メニューを表示
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,
10,11,12,13,14)

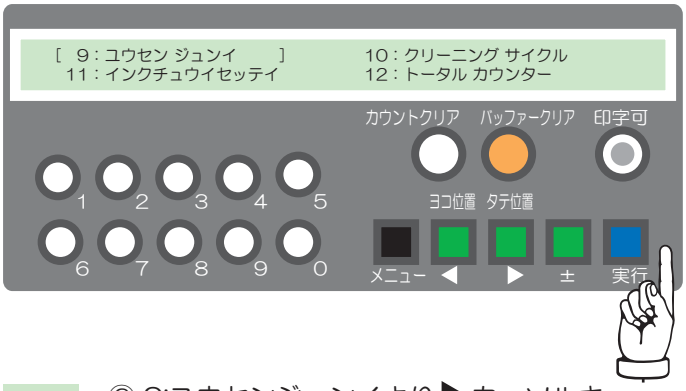
カーソルの移動

優先順位の設定の手順

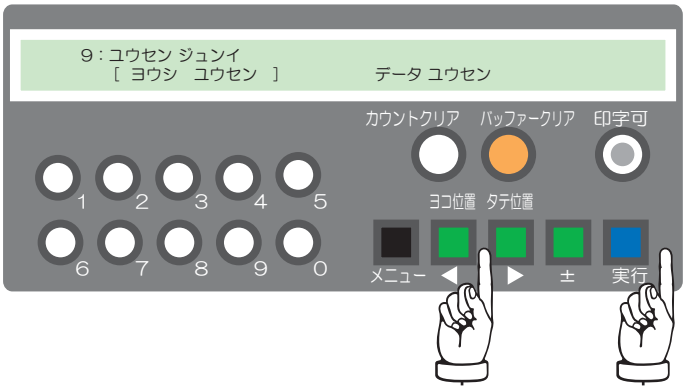
①運転画面よりメニューキーを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



②数字キーで09又は、9:ユウセンジュンイを
▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

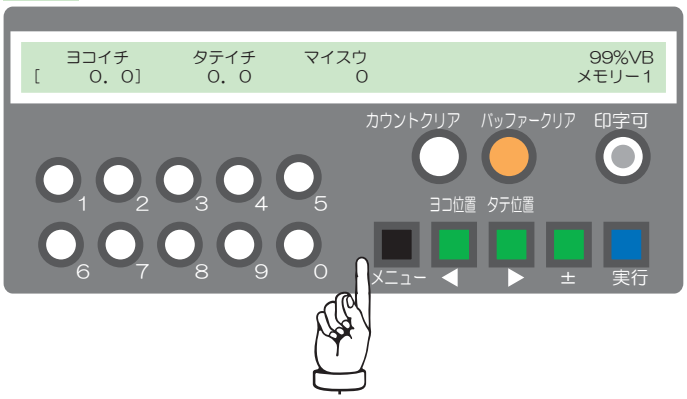


③ 9:ユウセンジュンイより▶カーソルキー
を押しヨウシユウセン、データユウセン
を選択します。実行キーで確定します。



デフォルトは、ヨウシユウセンになっています。

④ メニューキーを押し印字画面へ戻します。



「ヨウシ　ユウセン」
ＰＣ側からデータ送信される前に印刷用紙を給紙し、データが転送されるのを待っている状態となりデータ転送終了時点で印刷されます。

「データ　ユウセン」
ＰＣ側からデータ送信し、印刷機本体へデータが転送された時点で印刷用紙を給紙して印刷されます。

4 パソコンからの印刷

2 プリンターの設定確認

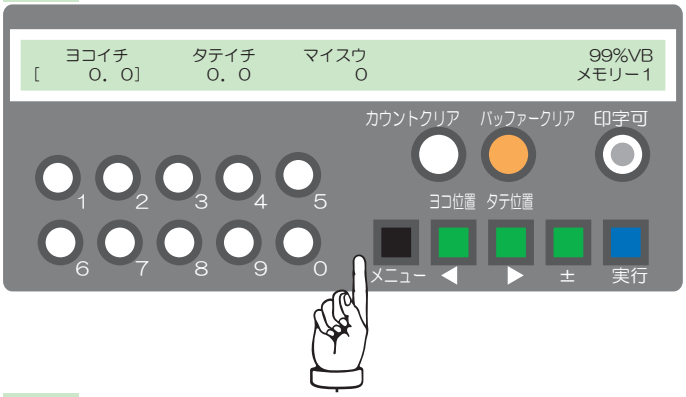
6 クリーニング　サイクルの設定

クリーニング サイクルは、きれいな印字を保てるように印刷を行っている途中にインクヘッドノズルを清掃する目的でインクヘッドノズルから少量のインクを噴出させる機能です。

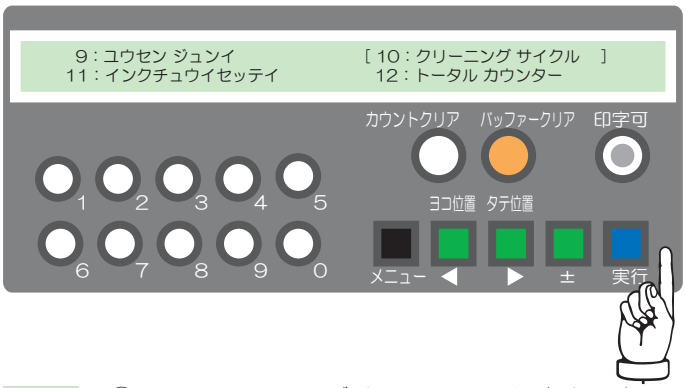
メニュー　数字キー　数字キー ダイレクト入力で拡張メニューを表示
基本メニュー(01,02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12,13,14)　◀ ▶ カーソルの移動

クリーニングサイクル設定の手順

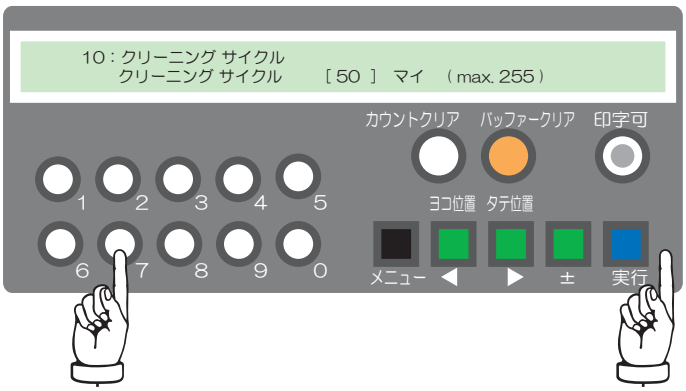
①運転画面よりメニューキーを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



②数字キーで10又は、10:クリーニングサイクルを▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

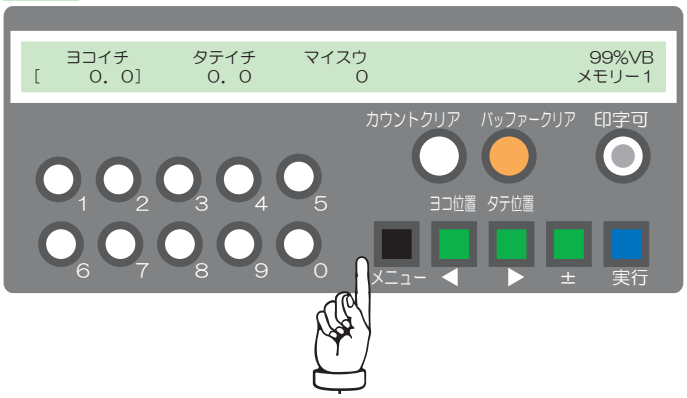


③ 10:クリーニングサイクルより数字キーを押し直接入力します。(max255)
実行キーで確定します。



デフォルトは、50になっています。

④ メニューキーを押し印字画面へ戻します。



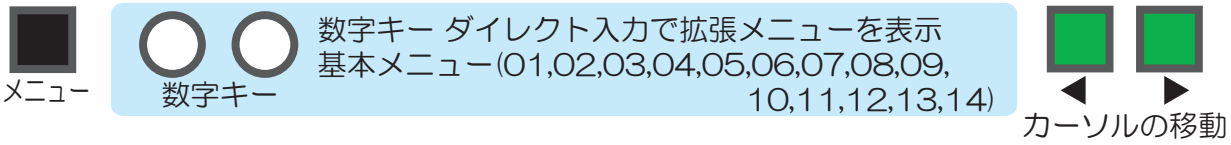
インクヘッドノズルが乾燥しカスレ等が発生する様なことが発生した場合は、クリーニングサイクル枚数を少なく設定してください。

4 パソコンからの印刷

2 プリンターの設定確認

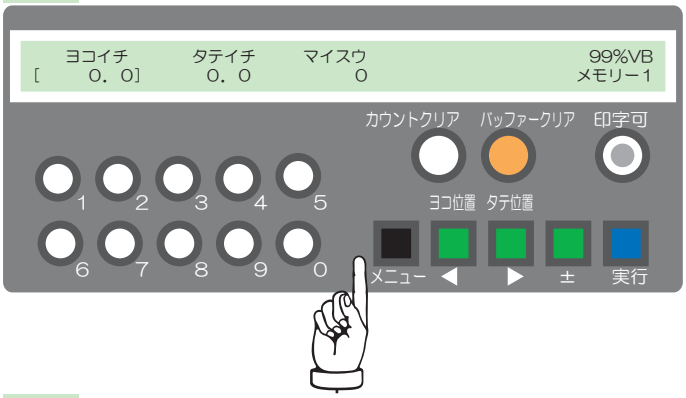
7 インク残量警告の設定

インク残量警告は、インクが無くなりカスレ印刷や印刷出来ない状態をなくすために、インクが少なくなって来ましたと言う警告を表示させる機能です。警告する設定値を入力します。% 表示

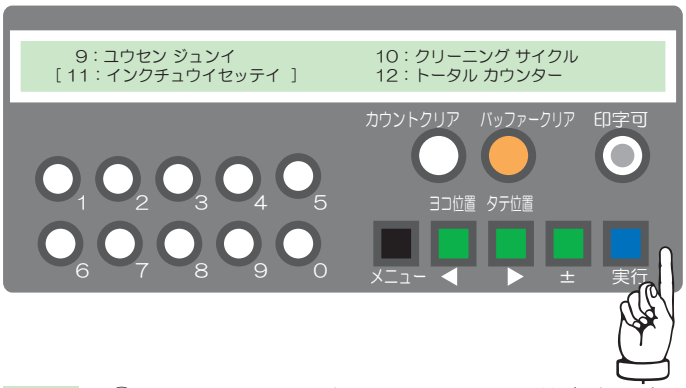


インク残量警告 設定の手順

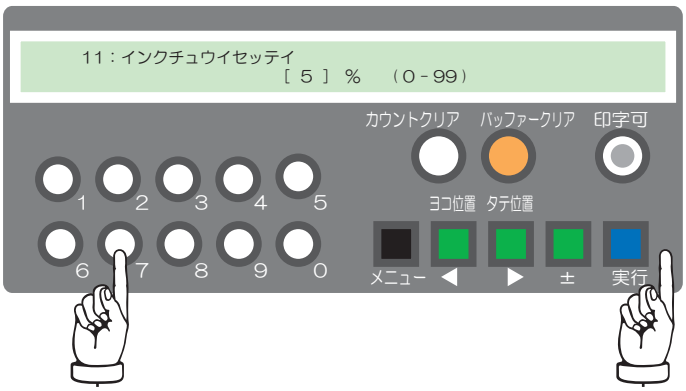
▼ ①運転画面よりメニューキーを押します。
メインメニュー画面を呼び出します。



▼ ②数字キーで11又は、11:インクチュウイセッテイを ▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

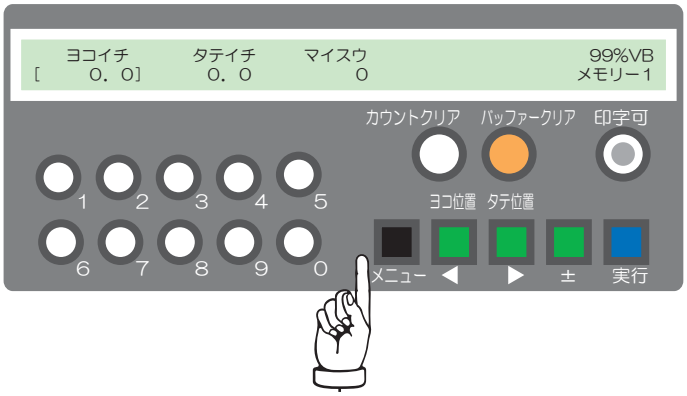


▼ ③ 11:インクチュウイセッテイより数字キーを押し直接入力します。（0 - 99）
実行キーで確定します。



デフォルトは、5になっています。

▼ ④ メニューキーを押し印字画面へ戻します。



デフォルト設定は５％で警告を表示する様になっております。梅雨時期や夏場の暑い時期の場合、ヘッドノズルが高温となりインク噴出し量が、乾燥時期より多めに噴射され多少インク残量が異なる場合もありますので、梅雨時期や夏場の暑い時期は状況に合わせて警告設定値を多めに設定してください。

上記の設定で、印刷前に必要な印刷機本体側の基本設定は終了します。

2 プリンターの設定確認　終了です。

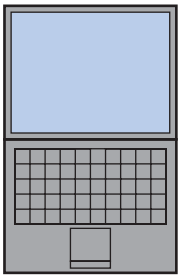
1 プリントカートリッジの確認
(インクの状態を確認する)
2 ノズルチェック
(印字品質及び印刷位置の確認 用紙は手差しで確認)
3 印字方向の設定(双方向、片方向)
4 印字速度の設定(1,2)
5 優先順位の設定(用紙優先、データ優先)
6 クリーニング　サイクルの設定
7 インク残量警告の設定

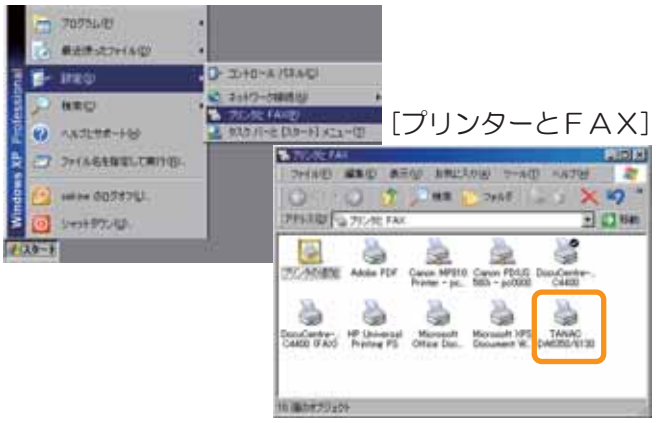
4 パソコンからの印刷

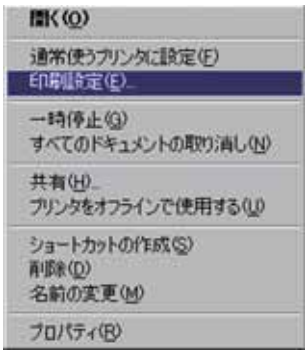
3 パソコンの設定確認

TANAC DA1500 印刷設定(プリンターのプロパティ)

パーソナルコンピュータ



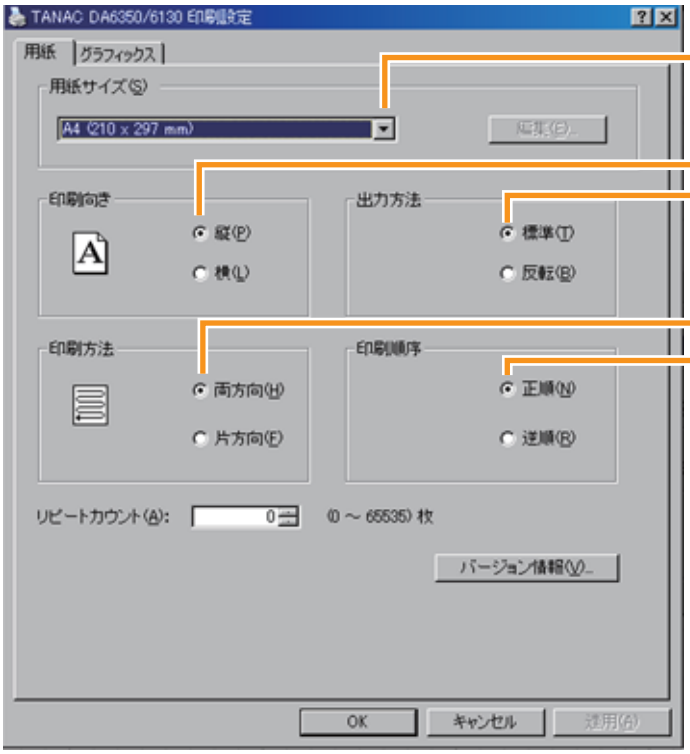




本製品のパソコン用ドライバーの設定をします。
1: Windowsの[スタートボタン]をクリックし[プリンターとＦＡＸ]を開きます。
2: [プリンターとＦＡＸ]の一覧の中より[TANAC DA1500]を選択し、右クリックで
[印刷設定]を選択します。

用紙

1 用紙サイズ(A4,A5,A6,B5,B6,はがき,封筒角型,封筒洋型,等)
2 印刷向き(縦、横)
3 印刷方向(両方向、片方向)
4 出力方法(標準、反転)
5 印刷順序(正順、逆順)



① 印刷用紙サイズを選択し設定します。
② 印刷向き(縦、横)を選択し設定します。
④ 出力方法(標準、反転)を選択し設定します。
③ 印刷方向(両方向、片方向)を選択し設定します。
⑤ 印刷順序(正順、逆順)を選択し設定します。

4
パソコンからの印刷

3 パソコンの設定確認

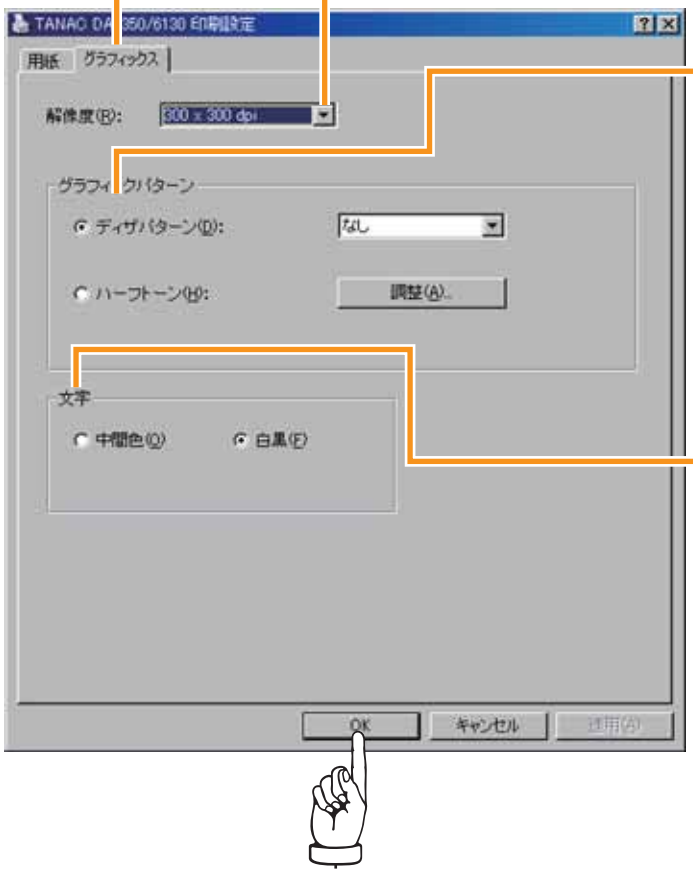
グラフィックス

6 解像度(300X200, 300X300, 600X300, 600X600 dpi)
7 グラフィックパターン(デザインパターン、ハーフトーン)
［デザインパターン(なし,粗い,細かい,ラインアート)］
8 文字(中間色、白黒)

⑥ 解像度を選択し設定します。
印刷物に合わせた解像度を選択し設定します。
３００×２００dpi (標準より少し薄く粗い印刷時)
３００×３００dpi (標準印刷)
６００×３００dpi (標準より少し濃く細い印刷時)
６００×６００dpi (高品質印刷時)

解像度を標準より細かな解像度に設定を行うと、きれいな印刷が出来ますがデータ量が多くなるため印刷速度は標準に対して遅い印刷速度となりますのでご理解ください。

グラフィックス



⑦グラフックパターン
写真等の絵などを印刷する場合
(ディザパターン、ハーフトーン)を選択し設定します。
パターンタイプの中から(なし,粗い,細かい,ラインアート)の中から印刷に適したタイプを選択し設定します。

通常文字印刷では、パターンタイプを「なし」を設定します。

⑧ 文字（中間色、白黒）を選択し設定します。
通常印刷では、「白黒」に設定します。

［ OK ］でTANAC DA1500 印刷設定は設定終了です。

4 パソコンからの印刷

3 パソコンの設定確認

アプリケーションソフトの印刷(プリンターの設定)

使用される特定のアプリケーションソフトについて明記いたしません。
ご使用されていますアプリケーションソフトついての質問及び問題点はアプリケーションソフトメーカーのご相談窓口にご相談下さい。

9 プリンタ(プリンタ名 TANAC DA1500)
10 印刷範囲(すべて、現在のページ、ページ指定)
11 印刷部数(1 - 9999)

ご使用のアプリケーションソフトより　-> [ファイル] -> [印刷] 又は [プリント]を開きます。

⑨ プリンタ(プリンタ名 TANAC DA1500)を選択し設定します。

プロパティでTANAC DA1500のプロパティを確認できます。

印刷が開きます。

[OK] をクリックすると印刷データが転送され印刷が可能となります。
印刷機の操作パネル「バッファークリア」ボタンがオレンジ色で点灯しデータが転送されたことを表示します。

⑪ 印刷部数(1 - 9999)を入力し設定ます。
印刷データすべてを希望部数の印刷をする場合に、希望部数を入力すると希望部数が印刷されます。
最大印刷部数は、9999部に設定されていますので設定以上の部数を印刷される場合は、設定部数内で数回に分けて印刷をしてください。

⑩ 印刷範囲(すべて、現在のページ、ページ指定)をクリックし選択し設定ます。

3 パソコンの設定確認 終了です。

TANAC DA1500 印刷設定(プリンターのプロパティ)
用紙
1 用紙サイズ(A4,A5,A6,B5,B6,はがき,封筒角型,封筒洋型,等)
2 印刷向き(縦、横)
3 印刷方向(両方向、片方向)
4 出力方法(標準、反転)
5 印刷順序(正順、逆順)
グラフィックス
6 解像度(300X200, 300X300, 600X300, 600X600 dpi)
7 グラフィックパターン(デザインパターン、ハーフトーン)
　[デザインパターン(なし,粗い,細かい,ラインアート)]
8 文字(中間色、白黒)
アプリケーションソフトの印刷(プリンターの設定)
9 プリンタ(プリンタ名 TANAC DA1500)
10 印刷範囲(すべて、現在のページ、ページ指定)
11 印刷部数(1 - 9999)

4
パソコンからの印刷

4 プリンターの各装置の調整

1 用紙の準備
2 ゲートの調整
3 給紙受板の調整
4 用紙ガイドの調整
5 排出ピンチローラの調整

用紙の準備

＜印刷用用紙を準備します＞
印刷物に合わせて各装置の調整が必要です。各装置調整用に数枚準備下さい。
印刷用にも別途必要分ご準備下さい。

ゲートの調整

＜ゲートのスキマ調整をします。＞
印刷用紙に合わせて、ゲート調整を行います。
ゲート調整をせずに給紙した場合、[FEED error!!]フィードエラーや[JAM errrer!!]ジャムエラー・用紙詰まり等が発生しますので、必ず印刷用紙が変更となる場合は調整をしてください。

ゲート調整方法は、「２－４－１ゲート調整方法」を参照し調整してください。

給紙受板の調整

＜給紙受板の角度とローラの位置を調整をします。＞
印刷物に合わせて、給紙受板の角度とローラの位置調整をします。

給紙受板の詳細調整方法は、「２－４－2 給紙受板の調整方法」を参照し調整してください。

用紙ガイドの調整

＜用紙ガイドの幅の調整をします。＞
印刷用紙に合わせて、用紙ガイドの位置を調整します。
用紙を変形させない為に、隙間を0.5-1.0mmくらいになるように調整して下さい。

調整方法は、「２－４－３ 用紙ガイドの調整方法」を参照し調整してください。

排出ローラの調整

＜排出ピンチローラの位置調整をします。＞
印刷用紙が印刷中にインクヘッドと干渉及び用紙排出時のシワ防止するために適正位置に調整します。
また、印刷直後のインクで汚れを防止するためにも適正な場所に調整する必要がありますので、
調整方法は、「2-4-6 排出ローラの調整方法」を参照しセットしてください。

印刷用紙のセット

＜印刷用紙をセットします＞
印刷用紙は、用紙受板の中央を基準に左右対称にセットします。
「4-3 印刷用紙のセットを参照して下さい。
本体印刷範囲中央に、用紙引き出しローラが中央対象に２個設置されていますので、引き出しローラから外れないようにセットします。
＊引き出しローラから印刷部のセットが外れると、用紙を給紙出来ない場合がありますので、必ず中央にセットし引き出しローラから外れていないことを確認してください。
調整方法は、「2-4-3 用紙ガイドの調整方法」を参照してください。

4
パソコンからの印刷

4 プリンターの各装置の調整 終了です。

1 用紙の準備
2 ゲートの調整
3 給紙受板の調整
4 用紙ガイドの調整
5 排出ピンチローラの調整

以上で印刷機本体及びＰＣ側の設定が終了となりますので、印刷前の調整及び設定が終了です。

5 印字可キーで印刷開始

印刷機本体の操作パネルの「バッファーランプ」ランプが点灯していることを確認し、
「印字可」キーを押すと印刷が始まります。

4
パソコンからの印刷

MN50025
Ver 1.01
Mar.2016

お手入れ

インクがなくなったときのプリントカートリッジの交換方法
印刷がかすれたときのクリーニングの方法
用紙がうまく送られない場合の対処方法などについて説明します。

5

5-1 プリントカートリッジの交換
5-2 ノズルチエックとヘッドクリーニング
5-3 給油について
5-4 給紙ローラ交換方法

TNK株式会社
TNK CO.,LTD.

http://tnk-ltd.com

5-1 プリントカートリッジの交換

参 考

本製品で使用できるプリントカートリッジの番号については、本書の裏表紙を参照してください
インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、5-2 ノズルチエックと
ヘッドクリーニングを参照してください。

重 要

・最適な印刷品質を保つため、プリントカートリッジに記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後・6ヶ月以内に使い切るようにしてください。
（本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします）
・プリントカートリッジは生産工場、ロットの違いにより本体寸法に固体差が生じます。
脱着回数が多いプリントカートリッジも本体が摩り減り誤差が生じます。
交換後は必ず印字ズレの確認をし位置修正後してから印字をして下さい。
・本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設定されており、使用済みプリントカートリッジ内に多少のインクが残ります。

例：20101115
取付期限：2010年11月15日
開封後　：6ヶ月

⚠ 警告

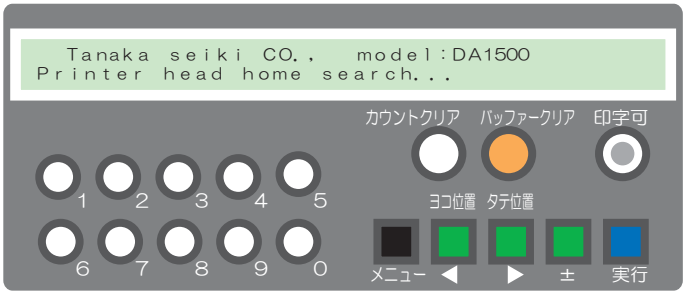
リサイクルインクの使用禁止、正規品のプリントカートリッジをご使用下さい。
リサイクルインクを使用した不具合報告が多数発生しております。
エンドユーザー様の責任ですので保証期間内でも、修理対応しません。

5
お手入れ

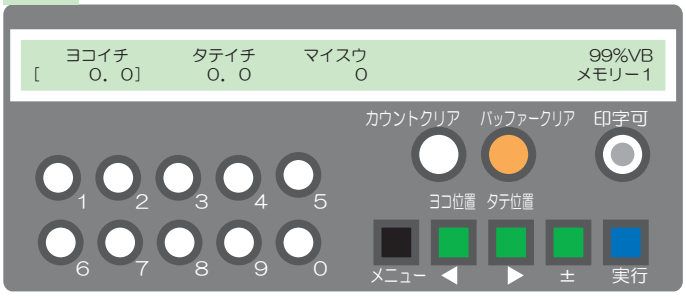
5-1 プリントカートリッジの交換

① カバーを開け、電源スイッチをONにします。

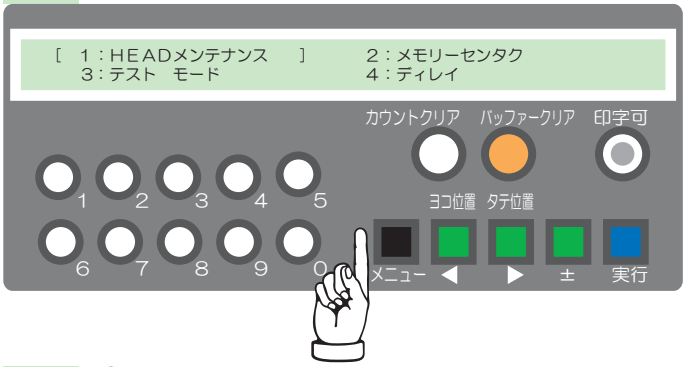
起動中の画面表示



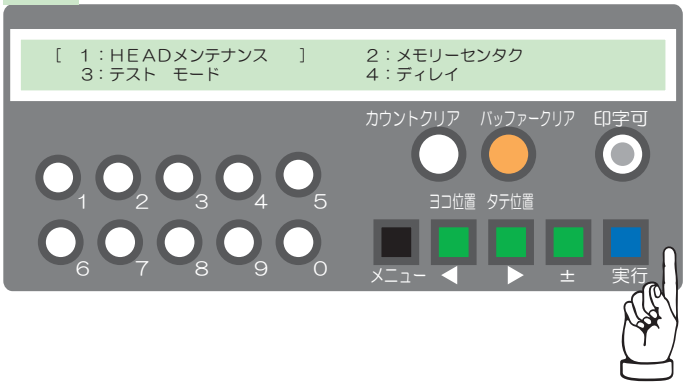
起動後の画面表示



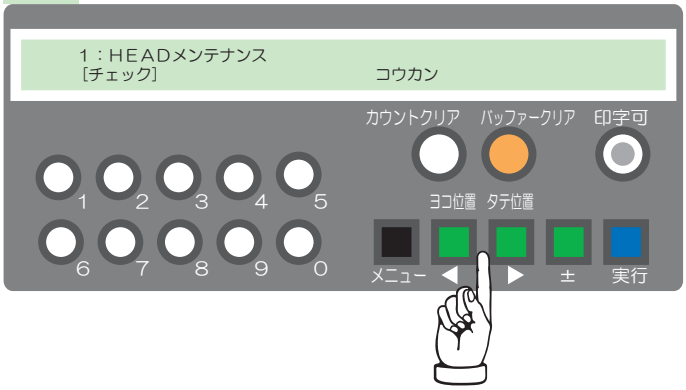
②メニュー キーを押し、基本メニュー画面を呼び出します。



③ 数字キーで01又は、1:HEADメンテナンスをカーソルキーで選択後、実行キーを押します。



④ 1: HEADメンテナンス より ▶カーソルキー押し [コウカン] を選択します。



⑤ 実行キーを押し 確定します。

確定するとプリントカートリッジが交換位置へ移動します。

⑥ プリントカートリッジを準備する

新しいプリントカートリッジを箱より取り出し、保護フィルム等をすべてはがします。

重 要

プリントカートリッジを落としたり、力を加えたり、振ったりするなど乱暴に扱うことは避けてください。

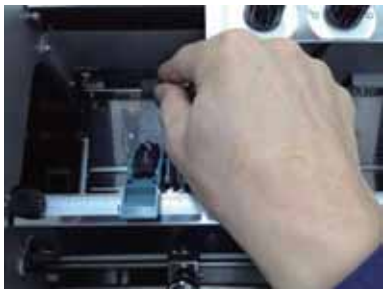
5 お手入れ

5-1 プリントカートリッジの交換

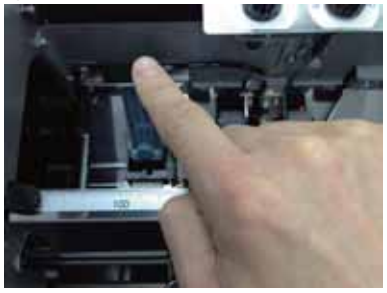
⑦ プリントカートリッジを準備する

⑦-1：固定ラッチのロック解除します。

⑦-2：新しいプリトカートリッジを奥まで差込みます。

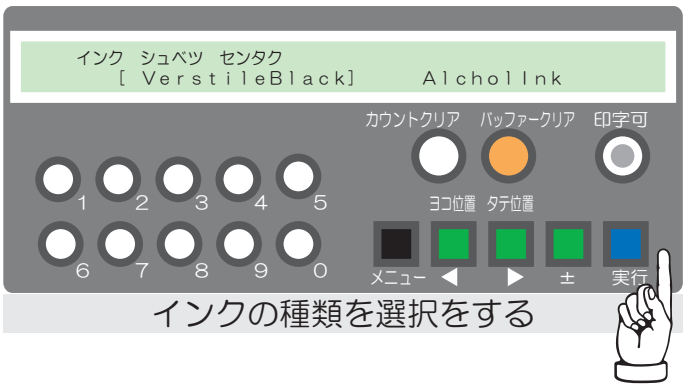


⑦-3：固定ラッチをロックします。



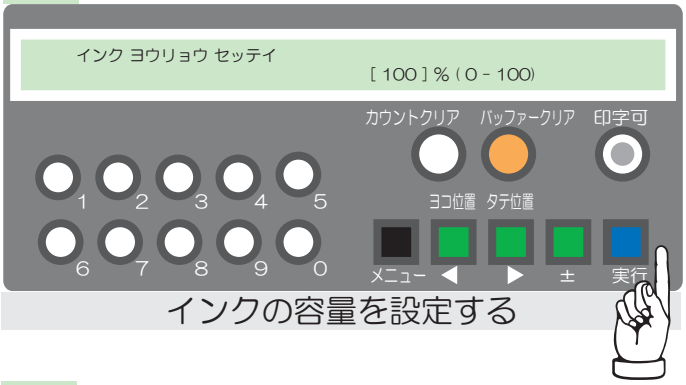
⑦-4：固定ラッチがロックした事を確認する。

⑧ ご使用するインクの種類を選択して下さい。
VerstileBlak 又は,Alchollnk を◀▶ カーソルキーで選択し 実行キーを押し 確定します。
設定により表示されない場合もあります。



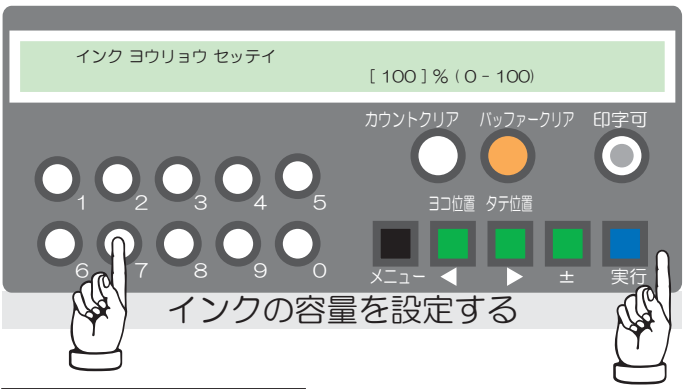
インクの種類を選択をする

⑨ 実行キーを押すとインクヨウリョウ設定画面が表示されます。



インクの容量を設定する

⑩ 新品のインクカートリッジを交換した場合はインク残量を設定せずに実行キーを押して100%を設定し確定ます。新品は100%です。
使用中のインクカートリッジと交換する場合はインクカートリッジの重量を計測し目安表からインクヨウリョウ設定を数字キーで入力します。
実行キーを押して確定して下さい。



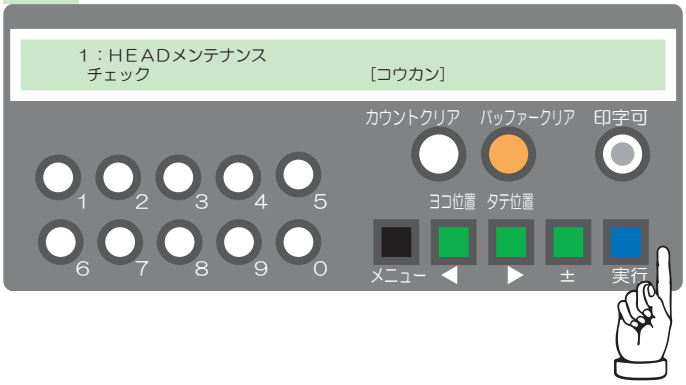
インクの容量を設定する

目安表	
100%	115.5g
90%	111.2g
80%	106.9g
70%	102.6g
60%	98.3g
50%	94.0g
40%	89.7g
30%	85.4g
20%	81.1g
10%	76.8g
0%	72.5g

使用中のインクカートリッジを交換する場合は、インクカートリッジの重量を計測し目安表からインク容量を%単位で設定を数字キーで入力してください。
インク容量10% = 約4.3g

5 お手入れ

⑪ 実行キーを押します。

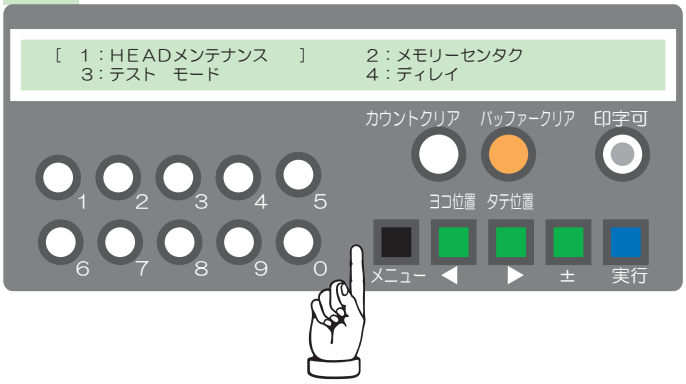


インクヘッド 交換位置

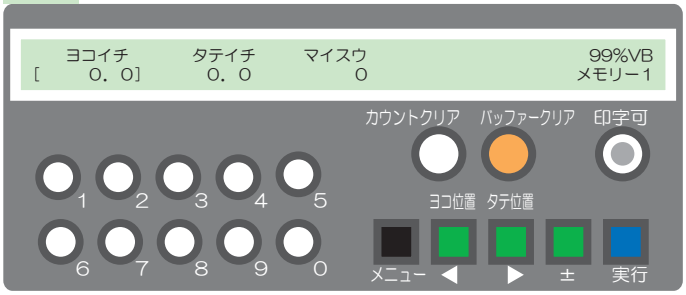
インクヘッドの待機位置

実行キーを押した後にインクヘッドが交換位置より待機位置へ移動したのを確認して下さい。
カバーを取付けてください。
以上でインクヘッド交換作業は終了です。

⑫メニューキーを押し 運転画面に戻します。



⑬ 運転画面を表示させて終了です。



5
お手入れ

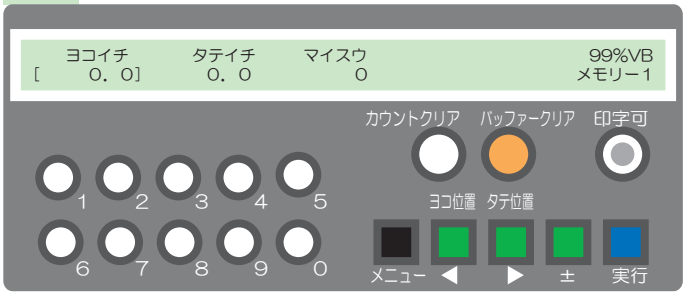
5-2 ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントカートリッジのクリーニング

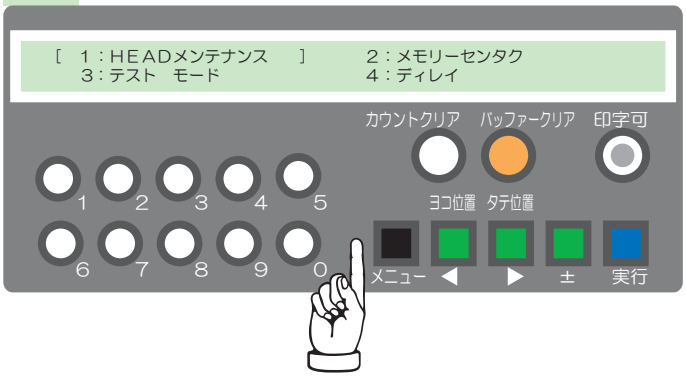
ヘッド部(ノズル)の汚れ、つまりの現象が印字にてカスレとして確認できた場合には
クリーニング作業が必要です。
プリントカートリッジのクリーニングの方法について説明します。

① カバーを開け、電源スイッチをONにします。

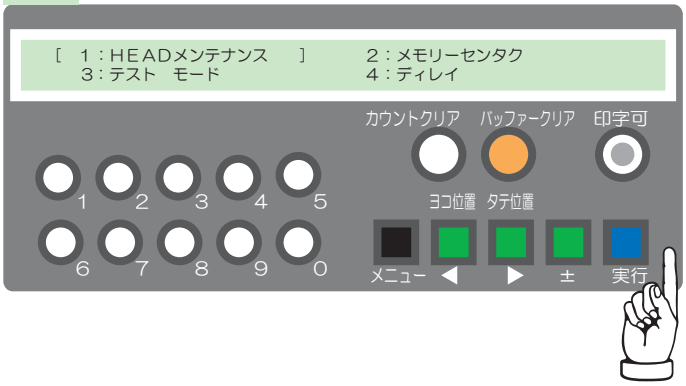
起動後の画面表示



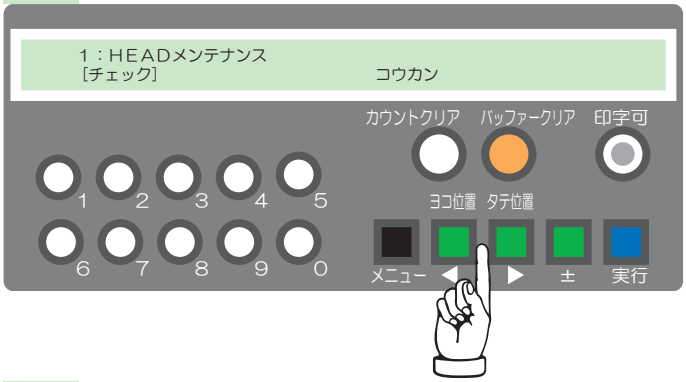
②メニュー キーを押し、基本メニュー画面
を呼び出します。



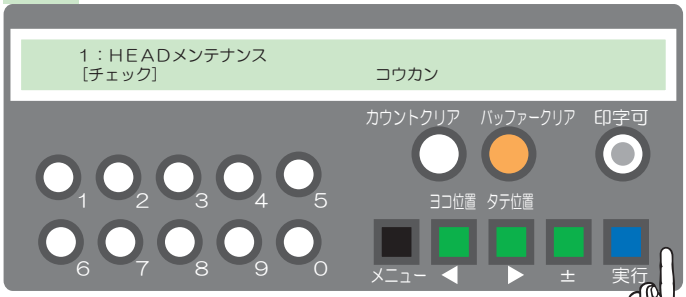
③ 数字キーで01又は、1:HEADメンテナンスを
カーソルキーで選択後、実行キーを押します。



④ 1:HEADメンテナンス より▶ カーソルキー
を押し [チェック] を選択します。



⑤ 実行キーを押し 確定します。

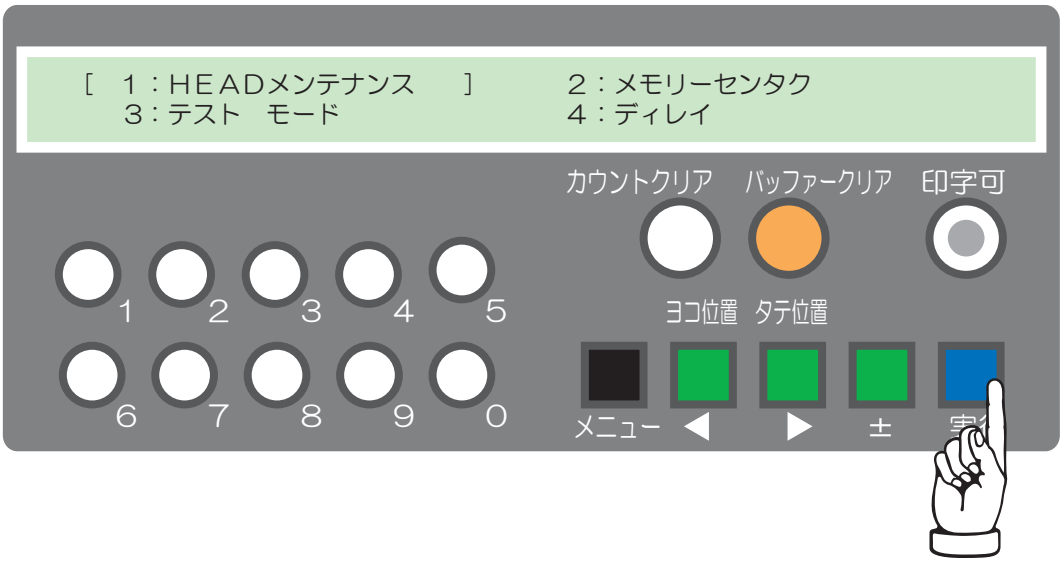


確定するとプリントカートリッジが交換位置
へ移動します。

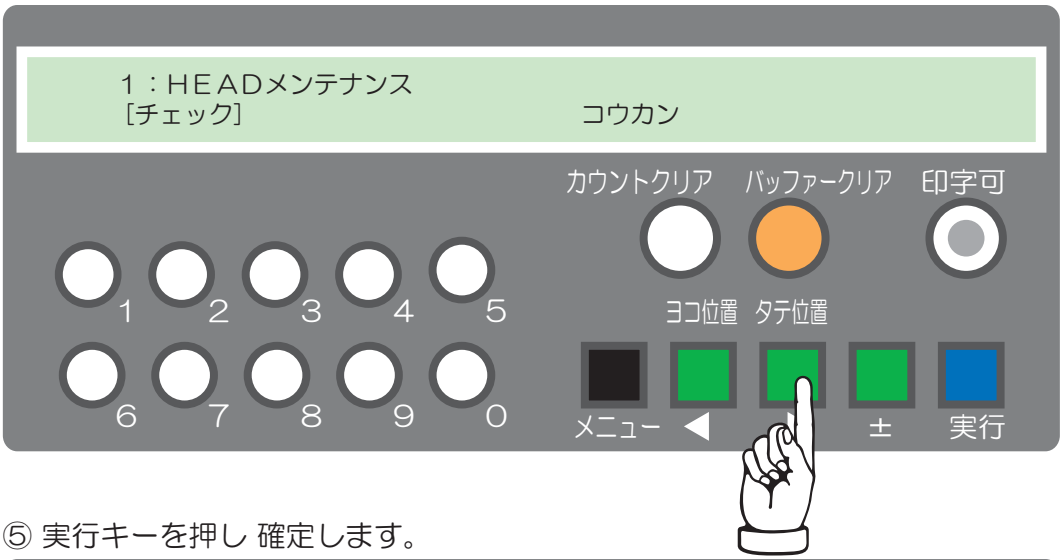
5 お手入れ

5-2 ノズルチェックとヘッドクリーニング

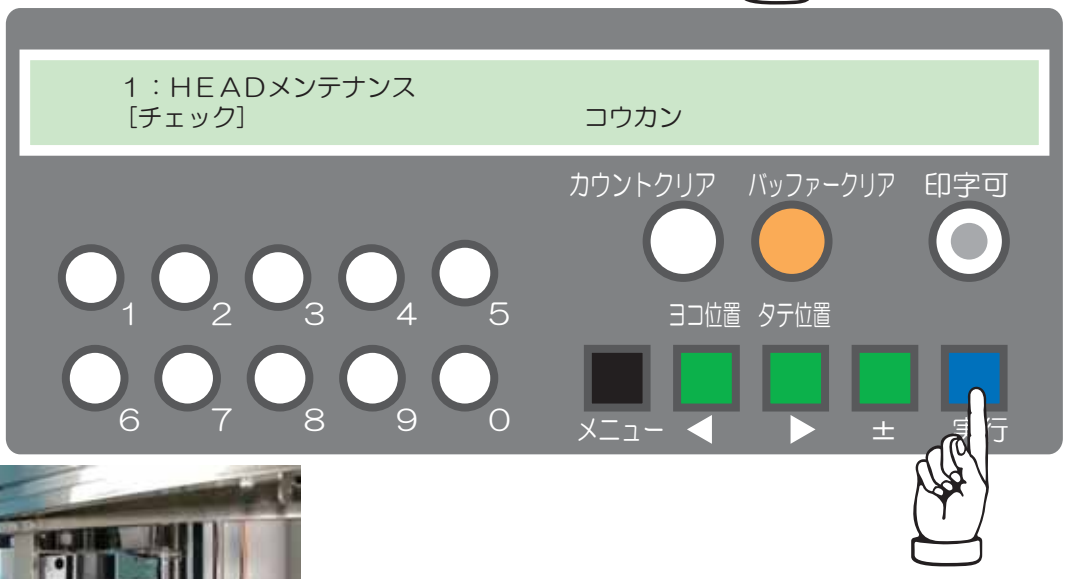
③ 1:HEADメンテナンス を選択し 実行キーします。



④ 1: HEADメンテナンス より ▶ キー押し［ チェック ］を選択します。



⑤ 実行キーを押し 確定します。



実行するとプリントカートリッジが交換位置へ移動します。

5 お手入れ

5-2 ノズルチェックとヘッドクリーニング

⑥ 汚れ、つまりのプリントカートリッジを取り出します。

ヘッド部のノズル部分を ぬるま湯で浸した ウエス(メーカー指定 TexWipe又は同等品)で、清掃時は、ノズル面に対してあまり力を入れてこすらないようにしてください。
ノズル面を強くこすったりすると、付着していたインクがノズルを塞ぎ、インクが出なくなる場合がありますので、ヘッドを下向きにして軽く押す程度で、なぞるように清掃してください。
(同等品:日本製紙クレシア製 キッチンタオルボックスを推奨しております。)

5 お手入れ

注 意

一度インクヘッドのクリーニングに使用したウエスを再度使用しないで下さい。
付着したインクでノズルを傷つける恐れがあります。

⑦ プリントカートリッジを正しく取り付け後、実行キーを押します。

実行するとプリントカートリッジがホーム位置へ移動します。

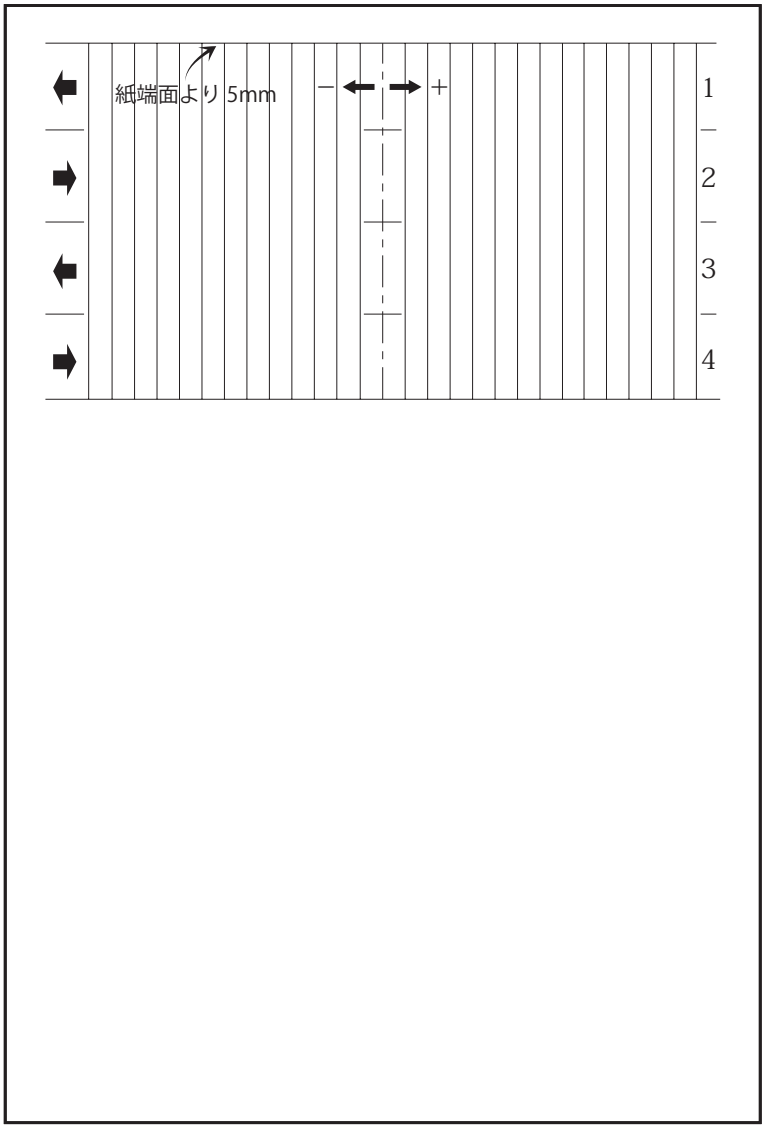
5 お手入れ

5-2 ノズルチェックとヘッドクリーニング

プリントカートリッジのノズルチェック

ヘッド部(ノズル)の汚れ、つまりの現象が印字にて確認できた場合クリーニング作業が必要です。
プリントカートリッジのヘッドクリーニング後、ノズルの確認方法について説明します。

確認用のデータを使用する、しない、実際のデータで印字しながら確認するなどはお客様の判断で行なってください。
プリンター本体での確認方法を説明します。(データ はがきサイズです。)



調整用の縦線(オフライン印字テスト)

重 要

印字状態を必ず確認してください。
ノズルのつまりが確認される場合は再度ヘッドクリーニングを行いって下さい。
上手くヘッドクリーニングが出来ない場合は新しいプリントカートリッジに交換して下さい。

5 お手入れ

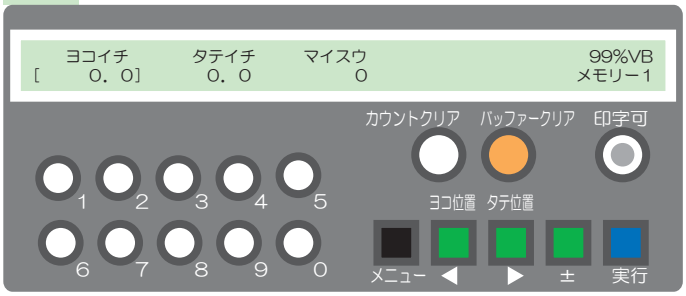
5-2 ノズルチェックとヘッドクリーニング

① 電源スイッチをONにします。

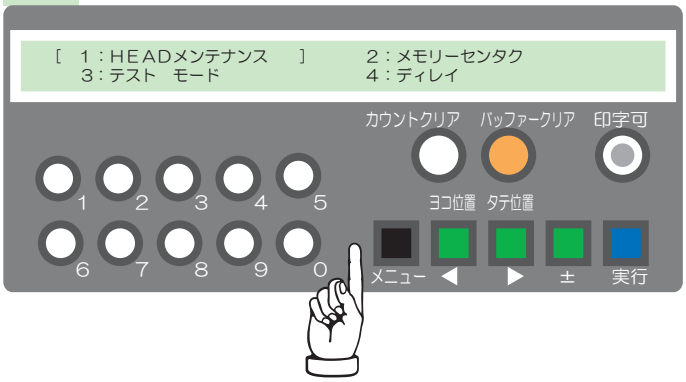
ON

OFF

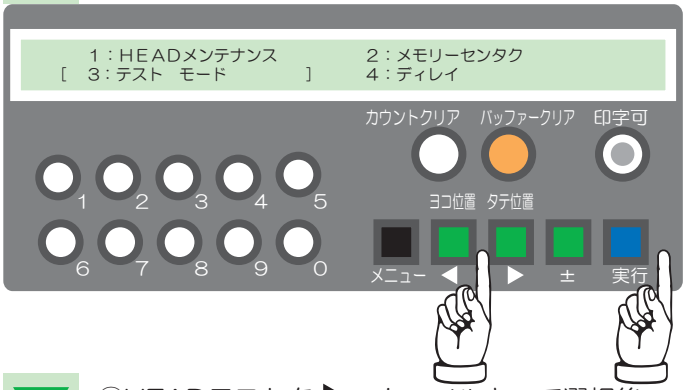
起動後の画面表示



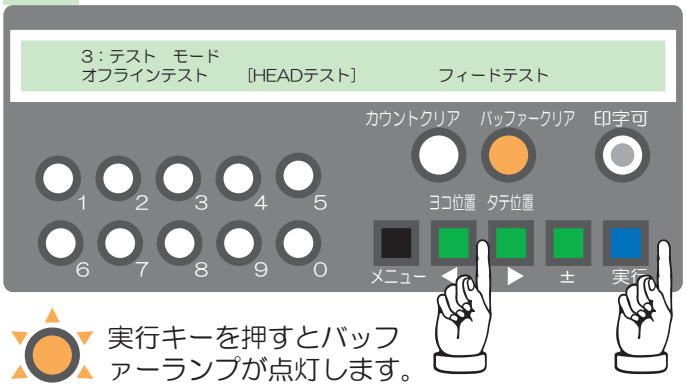
②メニュー スイッチを押し、基本メニュー画面を呼び出します。



③数字キーで03又は、3:テストモードを▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

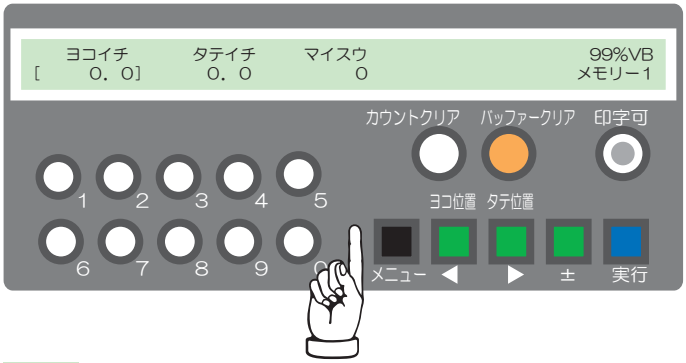


④HEADテストを▶ カーソルキーで選択後し実行キーを押します。

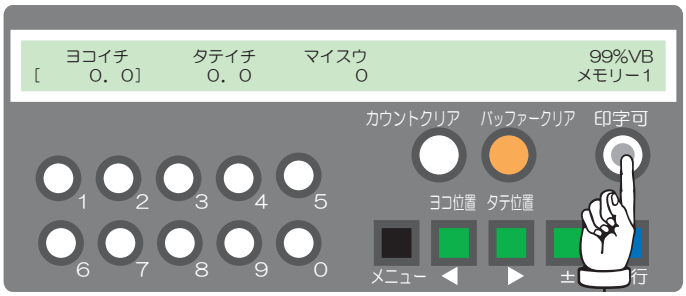


実行キーを押すとバッファーランプが点灯します。

⑤ バッファーランプの点灯確認後
メニューキーを2回 押し印字画面へ戻します。



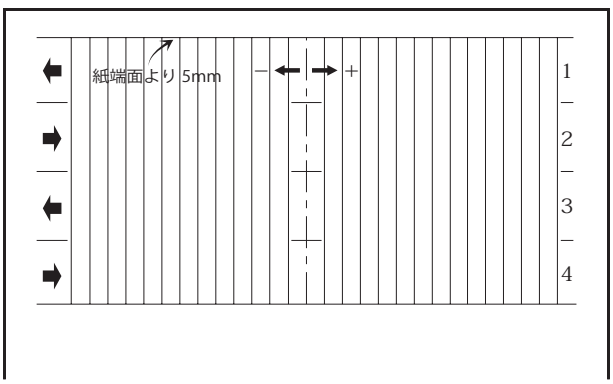
⑥ 印字確認用の用紙を準備します。
準備完了後、印字可を押し用紙を挿入すると
内蔵されているヘッド確認データが印刷されます。



テスト印字用の用紙をセンター基準で挿入して下さい。
印字確認データは、連続１００件の印刷が可能です。
テスト確認印刷枚数は１００件以内で終了する時は、
「バッファークリア」キーと「実行」キーを同時に
押してテストデータを削除します。
１００件以内で印刷を実施及び停止する場合は、
「印字可」キーを押すごとに印字及び停止を繰り返
します。

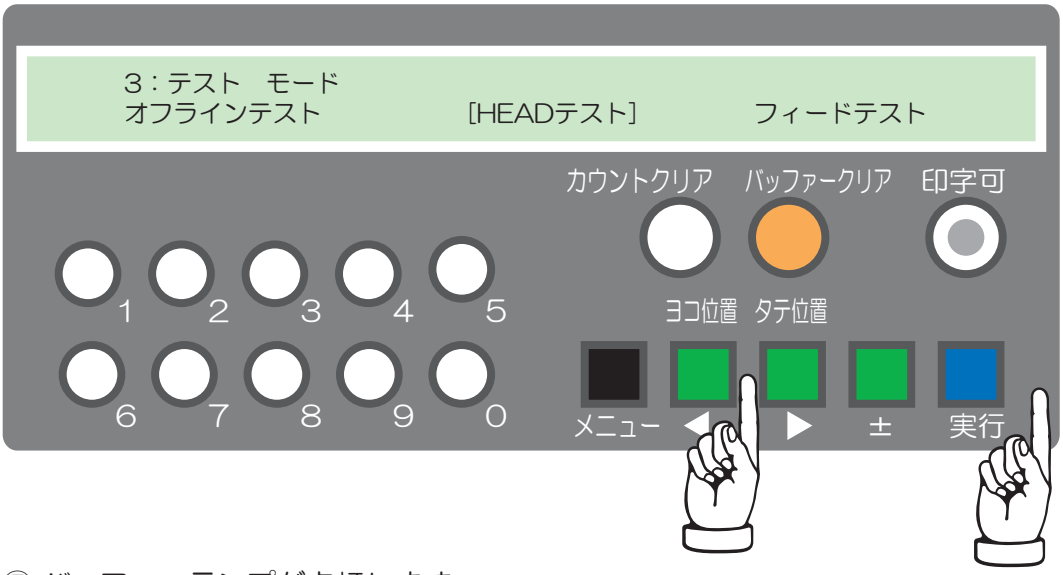
印字状態を確認して下さい。
上手く行かない場合は、再度プリントカートリッジ
のクリーニングを行なうか新しいプリントカートリッジ
と交換して下さい。

印字データは はがきサイズです。

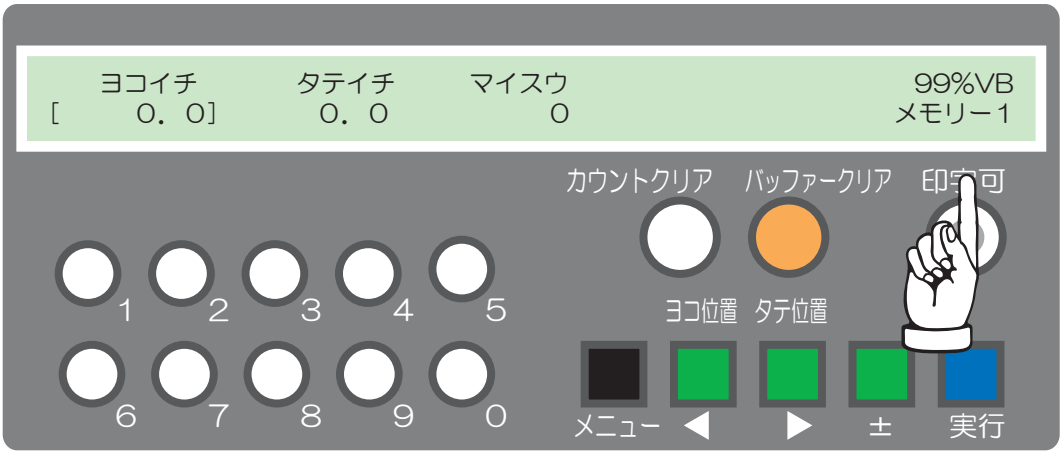


5 お手入れ

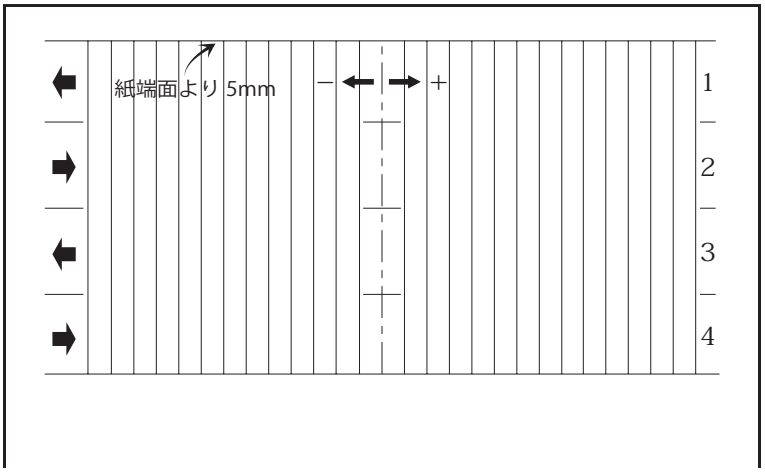
④HEADテストを選択し実行キーを押します。



⑤ バッファーランプが点灯します。
メニューキーを押し印字画面へ戻し、印字確認用の用紙を準備します。
準備完了後、印字可を押すと印字を開始します。



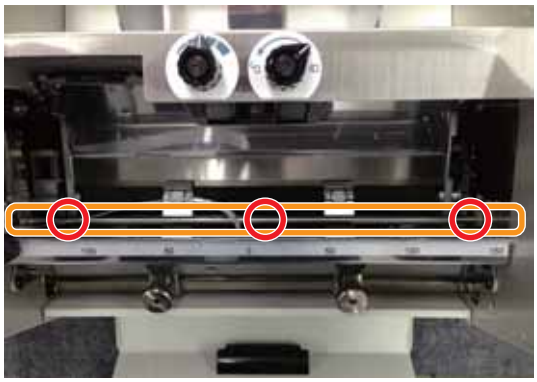
印字状態を確認して下さい。
上手く行かない場合は、再度プリントカートリッジのクリーニングを行なうか新しいプリントカートリッジと交換して下さい。



5
お手入れ

5-3 給油について

プリンターを快適に末永くお使いいただく為に、定期的に給油が必要です。
付属品のミシン油を定期的に給油してください。



給油箇所及び給油するシャフト

給油手順

1：電源遮断します。
2：付属品のミシン油をインクヘッドが動作するリニヤシャフトに3箇所1滴づつ
　垂らします。　（中央部と両端）
3：ヘッドを手で数回左右に動かしミシン油をなじませて下さい。
4：給油後、ミシン油が垂れない事を確認します。（印字物の汚れになります。）
　垂れそうであれば拭きとって下さい。

給油周期

給油点検期間は使用頻度によって異なります。

汚れなどが多い環境　　：週1回 又は 2週1回
（用紙カス）

比較的きれいな環境　　：2週1回 、月1回 又はサービスマンの来社時

5 お手入れ

5-4 給紙ローラの交換

① 安全の為に、電源スイッチをOFFにします。
作業中にゲート片が板に当たる可能性がある為、ゲート間隔固定ツマミをフリーにしゲート片を上方に移動後、ロックし当たらない様にします。

② 用紙ガイドを両端に移動して下さい。

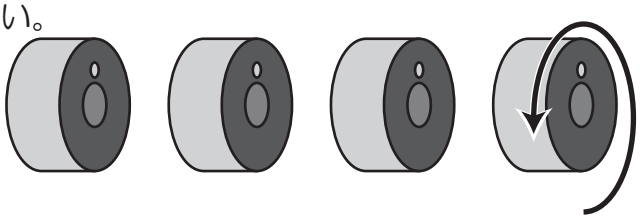
③ 角度調整用ノブ、給紙受板を外して下さい。

④ +ドライバーでネジ2ヵ所外して下さい。

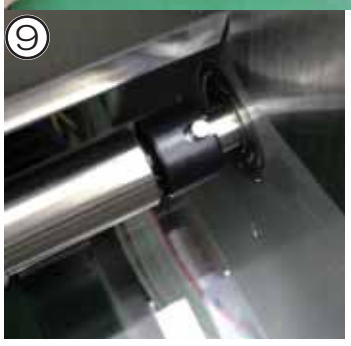
⑤ カバーを外すと給紙ローラーが見えます。
カバーを外した状態

⑥ 給紙ローラーのシャフトの右側を持ち、左方向へ押しながら外します。

⑦ 給紙ローラーをシャフトから外して交換して下さい。
ローラーの右側面に印(白色のポイント)が来る様に組み立てて下さい。



⑧ シャフトピンを付け忘れに注意！



⑨ ローラ交換際に位置決めピンに合わせて挿入して下さい。
ローラー交換後、逆の手順で組んで下さい。
動作確認をし不具合が無い事を確認して下さい。

5
お手入れ

MN50025
Ver 1.01
Mar.2016

困ったときは

6-1 用紙つまり
6-2 メッセージが表示されたら
 6-2-1 エラーメッセージ一覧
 6-2-2 トラブルと対応
6-3 こんなときはどうするの！

6

TNK株式会社
TNK CO.,LTD.

http://tnk-ltd.com

6-1 用紙つまり

重 要

・つまった用紙を無理やりひっぱったりしないで下さい。
・給紙側につまり、排出側につまり、インクヘットが接触しているなどの状況が考えられます。
・つまった用紙を強引に引き抜きますとプリンター内部が変形する場合があります。
　不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。

つまった用紙を無理やり引っぱらないで下さい。

給紙側で用紙つまり
1：電源スイッチはOFFにしないで下さい。
2：印字中の用紙つまり場合 インクヘッドの位置にも拠りますが、取り外せる場合は外して下さい。
　無理に動かすとインクヘッドに傷つき使用出来なくなる恐れがあります。
3：用紙を外す為に、つまった原因の見極めをします。
　（給紙側、排出側、インクヘッドなのか ）
4：プリンターを壊さない為にも、外せる物は外しましょう。

　供給側　　用紙を下ろし、ゲートを緩めカバー等を外します。
　　つまった用紙を出来るだけ真直ぐにします。（途中で切れない為）
　　ノブを用紙の引き抜く方向に回し、つまった用紙を取り除きます。

　排出側　　用紙を下ろし、カバー、排出ピンチローラなどを移動します。
　　つまった用紙を出来るだけ真直ぐにします。（途中で切れない為）
　　ノブを用紙の引き抜く方向に回し、つまった用紙を取り除きます。

　インクヘッド側　用紙を下ろし、カバー、排出ピンチローラなどを移動します。
　　つまった用紙を出来るだけ真直ぐにします。（途中で切れない為）
　　ノブを用紙の引き抜く方向に回し、つまった用紙を取り除きます。

5：用紙を取り出しましたらつまった原因の見極めを元に再度、調整をしなおして下さい。
　何度も同じ現象が出る場合などは印字範囲を反転するなども検討して下さい。

6 困ったときは

6-2-1 エラーメッセージ一覧

液晶モニターにてエラー表示確認をしてください。

マシンセッテイ error!!
データブロックヘッダー error!!
データクギリコード error!!
ページヘッダー error!!
ラインヘッダー error!!
インサツハンイ error!!
ページデータオーバーフロー error!!
シュウタンケンシュツ error!!
JAM error!! ジャムエラー
HOME search error!! ホームサーチエラー
FEED error!! フィードエラー
ペンドライバー error! CODE=04 Power OFFシテクダサイ
プリントストップ
インクザンリョウ error!!

6 困ったときは

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー/確認メッセージ	対処方法
マシンセッテイ error!!	機械位置調整用の数値などに範囲外のデータが含まれています。 機械の初期化が必要な場合もありますので販売店にお問い合わせ下さい。
データブロックヘッダー error!!	ＰＣから送られた印字データに範囲を超えた数値が含まれています。ＤＡ1500用のプリンタードライバーで印字しているか確認して下さい。
データクギリコード error!!	
ページヘッダー error!!	
ラインヘッダー error!!	
インサツハンイ error!!	印刷範囲がＤＡ1500の印字可能領域を超えています。 ヨコイチの調整と、印字データで印字可能領域２９０mmに収まるように調整してください。
ページデータオーバーフロー error!!	１ページの印字データが２Mバイトを超えている。 印字可キーでエラークリア バッファクリアを行い、印字データが２Mバイト以下になるように調整してからデータをＰＣから再送信して下さい。
シュウタンケンシュツ error!!	検出ＯＮの設定の時に用紙後端３０mmの所に印字データーが入っていた。
JAM error!! ジャムエラー	用紙とヘッドが干渉してインクヘッドの移動モーターがアラームを発生しました。 用紙を取り除いてから印字可キーを押してエラークリア。
HOME search error!! ホームサーチエラー	インクヘッドのホームサーチ中にエラー発生 インクヘッドが動けない原因を取り除いてから 実行ボタンでリトライ。
FEED error!! フィードエラー	用紙供給エラー 印字可ボタンを押してエラークリア
ペンドライバー error! CODE=04 Power OFFシテクダサイ	インクヘッドからCODE=に続くエラーコードが返った。 エラーコードを記録して電源を切ってください。
プリントストップ	設定された印字枚数になったので一時停止している 印字可ボタンを押してエラークリア
インクザンリョウ error!!	設定されたインク残量に達したのでエラー停止 印字可ボタンを押してエラークリア インク残量を再設定するかインクを交換してから印字再開

6 困ったときは

液晶モニターにエラー／確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー/確認メッセージ	対処方法
Buffer clearing now... バッファクリア中	表示が消えるまでお待ち下さい。 ＰＣからデータを大量に送っている場合はバッファクリアに時間がかかります。その場合はＰＣ側のプリンタードライバー側からも印字のキャンセルを行ってください。
Tanaka seiki co., ltd. model:DA1500 Startup initialization...	起動中です。
Waiting answerback from ENGINE CPU...	エンジンと通信を行い起動を確認する
Printer head home search...	ヘッドのホームサーチを行う
Sending mechanical parameter to sub CPU.	エンジンに機械位置パラメータを送信する。

6
困ったときは

6-3 こんなときどうするの！

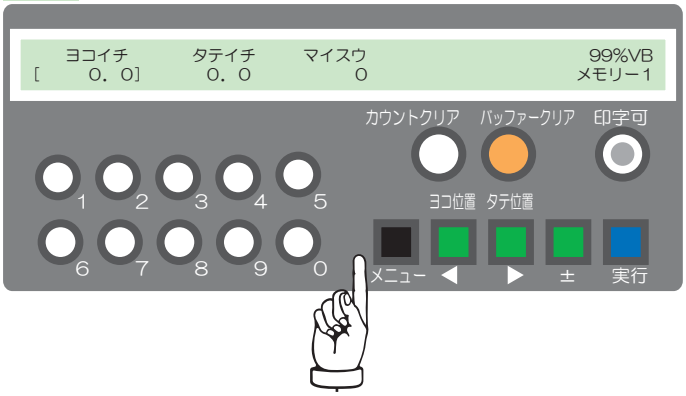
1 印刷したインクが乾燥せずに、他の印刷物がインクで汚れてしまう。

光沢のある印刷用紙及びインクが付着しにくい用紙の場合、インクが乾燥するまでに時間が必要な場合があります。この場合、インクが乾燥するまでの時間、次の印字を開始しない[ディレイ]機能をご利用下さい。ただし、[ディレイ]を設定した場合は、印刷処理枚数が遅くなりますのでご理解の上ご使用下さい。

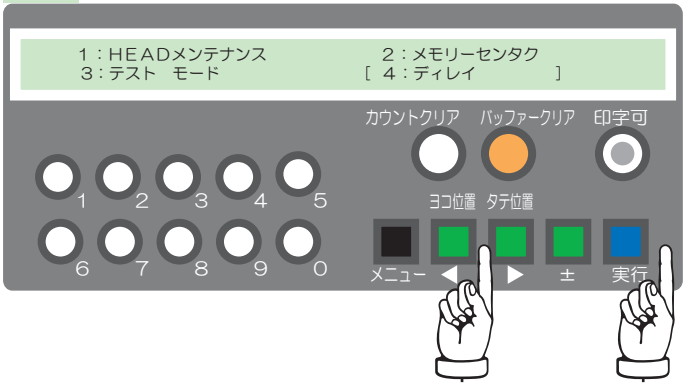
ディレイ機能を使用しても、インクが付着する場合はご使用の「バーサタイルインク」以外に特殊指定の「溶剤インク」も最寄りの販売店でお取り扱いしておりますので、ご相談して下さい。一部設定条件等の変更が必要となりますので、お気軽に最寄りの販売店へ問い合わせください

ディレイのセット手順

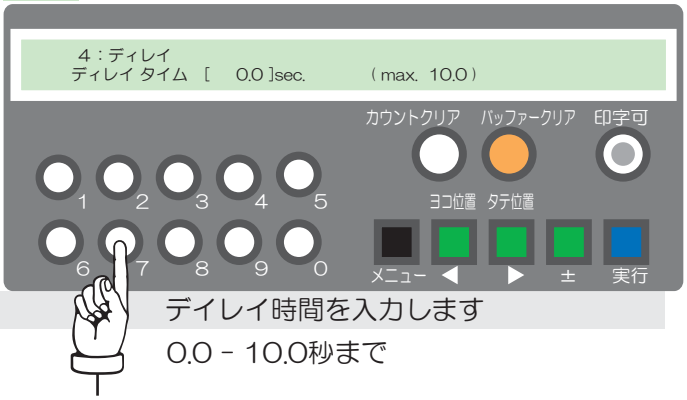
①運転画面よりメニューキーを押します。
基本メニュー画面を呼び出します。



②数字キーで04又は、4:ディレイを
▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。

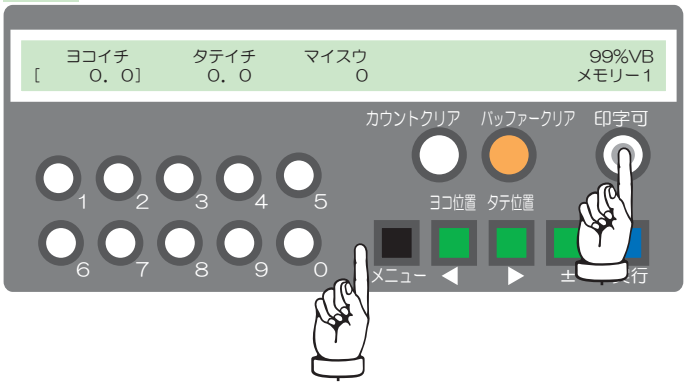


③4:ディレイ より　数字キーを押し乾燥するまでの時間を入力します。実行キーで確定します。



デイレイ時間を入力します
0.0 - 10.0秒まで

④メニューキーを2回押し、運転画面にします。
印字可キーを押して印字を開始します。



6 困ったときは

6-3 こんなときどうするの！

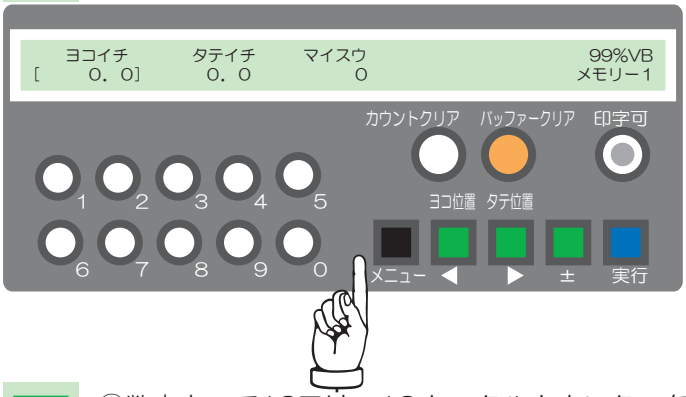
2 数枚ずつ印刷を行ったら合計印刷枚数が分からなくなった。

印刷枚数は、運転画面で「マイスウ」の下に印刷した枚数を表示しますので、ご確認下さい。
ただし、印刷枚数を確認前に主電源を「OFF」にすると枚数カウンターが消えますので主電源を遮断する場合に注意して下さい。
印刷機本体で印刷した合計印刷枚数を知りたい場合は、下記の様にご確認ください。

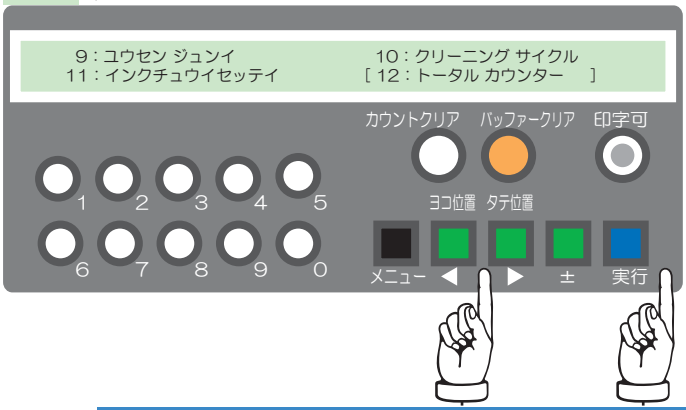
このトータルカウンター枚数は、主電源を「ＯＦＦ」にしても削除されません。

トータルカウンターの確認手順

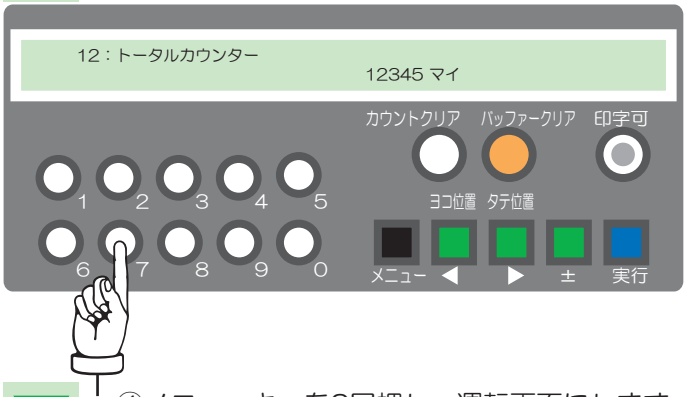
①運転画面よりメニューキーを押します。
基本メニュー画面を呼び出します。



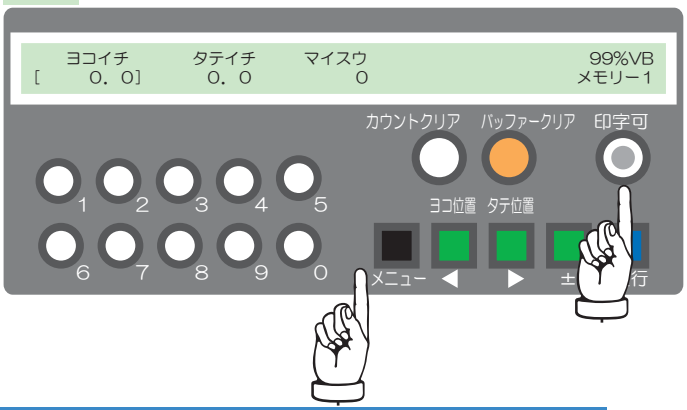
②数字キーで12又は、12:トータルカウンターを▶カーソルキーで選択後、実行キーを押します。



③12:トータルカウンター
トータル枚数を表示します。



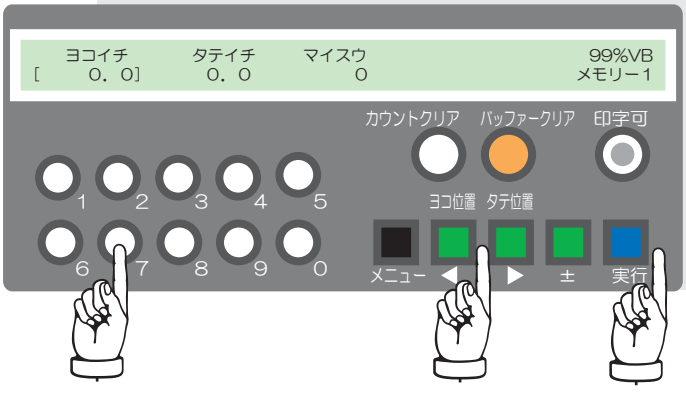
④メニューキーを2回押し、運転画面にします。
印字可キーを押して印字を開始します。



3 希望の印刷位置に修正したい。

作成した印刷データを変更しないで希望の位置に修正する機能があります、印刷位置補正を行い希望の印刷位置へ設定して下さい。
1 運転画面に「ヨコイチ」「タテイチ」項目があります。
2 カーソルキーを押して、修正したい[ヨコイチ][タテイチ]を選択します。
[ヨコイチ]を１０mm操作パネル側へ変更する場合は、[ヨコイチ]を選択し移動したい[10]を数字キーで入力し、±キーを押して[-1.0]と設定します。

注意　印刷中央を基準に奥側が「＋」方向、操作パネル側が「－」方向です。
入力数字はmm単位で入力しますが、操作パネルへ表示されるのはｃｍ単位で表示されます。
[-0.1]と表示されたら入力した後、実行キーを押して設定します。



3 移動したい移動量を設定した後、「印字可」キーを押すと設定した分が移動されて印刷されます。
同様に、[タテイチ]も変更したい場合も移動量を設定し、移動し印刷を行ってください。
([タテイチ]と[ヨコイチ]変更は同時に変更可能です)
印刷位置修正は、「３－１パネルの操作説明」を参照し調整してください

6 困ったときは

お問い合わせ

パソコンなどのシステムの問題は？

本製品が正常に動作し、ドライバーのインストールも問題なければ、接続ケーブルやパソコンシステム（OS、メモリー、ハードディスク、インターフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーにご相談ください

特定のアプリケーションソフトで起こる場合は？

特定のアプリケーションソフトで起きるトラブルは、ドライバーを最新のバージョンにバージョンアップすると問題が解決する場合があります。また、アプリケーションソフト固有の問題が考えられます。

アプリケーションソフトメーカーの相談窓口にご相談ください。

本製品の故障の場合は？

どのような対処をしても本製品が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本製品の故障と判断されます。
販売元、販売店まで修理を依頼してください。

販売元、販売店までご相談ください。

その他のお困り事は？

どこに問題があるか判断できない場合やその他のお困り事は、販売元、販売店までご相談ください。

販売元、販売店までご相談ください。

本製品のお問い合わせは下記の、販売元、販売店までお問い合わせ下さい。

発売元

タナック（株）
〒105-0014
東京都港区芝 2-22-3
tel 03-3454-4141

（株）タナック
〒541-0052
大阪府大阪市中央区安土町1-8-6
大永ビル２Ｆ
tel 06-6264-1135

九州タナック（株）
〒812-0034
福岡県福岡市博多区豊 1-10-50
tel 092-451-3135

発売店